

第七十六回帝國議會 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第十回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 農地開發法案(政府提出)(第八〇號)

會議

昭和十六年二月二十一日(金曜日)午前十時 十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 村上 國吉君

理事愛野時一郎君 理事吉植 庄亮君

理事成島 勇君 理事松浦 伊平君

池田七郎兵衛君 石井徳久次君

石坂 繁君 小串 清一君

大石 大君 長野 綱良君

釘本 衛雄君 小平 重吉君

坂下仙一郎君 須永 好君

鈴木 文治君 土田 莊助君

平野 力三君 松田喜三郎君

服部 岩吉君 小畑虎之助君

出席政府委員左ノ如シ

内務省警保局長 橋本 清吉君

内務省土木局長 成田 一郎君

大藏省主稅局長 松隈 秀雄君

陸軍主計中將 石川半三郎君

司法省民事局長 坂野 千里君

農林次官 井野 碩哉君

農林省總務局長 周東 英雄君

農林省農政局長 岸 良一君

電氣廳部長 森 秀君

厚生省衛生局長 加藤於菟丸君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

農地開發法案(政府提出)

○村上委員長 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマ

ス——小平君

○小平委員 連日各委員カラ御質問ガアリ

マシタノデ、大體了解致シテ居リマスガ、私ハ簡單ニ二、三ノ點ニ付テ御尋ネラシマス、先ヅ農林次官ガオイデニナリマスカラ、次官ニ御尋ネラシマス、現在農林省關係ノ國策會社が大分出來テ居リマスガ、國策會社ニ對スル農民ノ怨嗟ノ聲、是ハ他ノ委員會デモ多分話ガアツタラウト思ヒマスガ、殊ニ私ノ方ノ關係ノアル原麻會社ノ問題ニ付キマシテハ、農民ハ非常ニ怨嗟ノ聲ヲ放ツテ居リマス、此ノ國策會社ニ對シテ、改組ヲ命ズル御意思ガアルカナイカト云フコトニ付テ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマスガ、御承知ノヤウニ、私ハ栃木縣デアリマスガ、栃木縣ノ麻ノ生産ハ全國ニ冠タルモノデアアル、一箇年約七、八百萬圓ノ産額ヲ出シテ居ル、從來ハ是ガ自由販賣ヲ許サレテ居ツタノデアリマシテ、是等ノ賣買ト云フモノハ地方ニハ仲買人ガアリ、都市ニハ問屋ガアツテ、是ガ需要方面ニ配給サレルト云フヤウナ状態ニナツテ居ツタノデアリマスガ、此ノ會社ガ創立ヲ致シマシテ以後ト云フモノハ、サウ云フ方面ノ仲買人、或ハ問屋ト云フモノモ殆下失職シテ居リマス、是ハ經濟統制ノ結果デゴザイマスカラ致シ方ガナイノデアリマスガ、一番困ル問題ハ國策會社ハ國家ノ機關トシテ、國策ニ順應スル仕事ヲシナケレバナラヌノデアリマシテ、勿論普通ノ會社ヨリモ利潤ト云フ方面ニ付テハ、相當少イ程度ニ於テ取ルベキガ當然ダト考ヘテ居ル、所ガ現在ノ國策會社ノ扱ヒ手數料ト云フモノハ、從來ノ自由經濟時代ノ仲買

人若シクハ問屋ノ取ツタ利潤ニ比較致シマスト、恐ラク二倍若シクハ三倍ノ利潤ヲ得テ居ル、現ニ是ハ私ガ栃木縣ニ付テ調べテ見タノデアリマスガ、一貫目四十圓ノ麻ガ、ソレヲ賣渡ス場合ニハ四十四圓ト云フヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、栃木縣デソレダケノ麻ヲ産出致シマスガ、其ノ中栃木縣デ消費サレテ居ル量ト云フモノガ非常ニ多イノデアリマス、是ハ栃木ヲ中心トスル苧繩業者ト云フモノガ、土地カラ生産スル麻ヲ以チマシテ鼻緒ヲ造ツテ居ル、ソレカラ一方ニハ農村ノ副業トシテ、下都賀郡ヲ中心トシタ所デハ、精麻ニシナイ苧麻ト云フモノヲ以テ繩ヲ綯ツテ、通俗ニ農家デハ蘆ト云ツテ居リマスガ、サウ云フモノヲ製造シテ居ル、今マデハ自分ノ家デ生産シタモノヲ直チニ繩ニシテ、サウシテ蘆トカ庭トカ云フモノヲ造ツテ居ツタノデアリマスガ、今度ハ國策會社ノ集荷一元化ニ依リマシテ、一旦ソレヲ産業組合ニ集荷スル、其ノ集荷サレタモノヲ農村ガ又買フト云フヤウナコトニナリマシテ、其ノ手數料モ驚ク勿レ一割カラ一割五分取ツテ居ル、四十圓ノモノデ四圓カラ五圓ノ手數料ヲ取ツテ居ル、農村デハ實ニ此ノ問題デハ悲鳴ヲ上

ゲテ居ル、國策會社デアアルカラサウ云フ手數料ニ付キマシテハ十貫目ニ對シテ一圓トカ五十錢ト云フ料金デアルベキガ當然デハナイカ、然レソレガ四圓モ五圓モ取ラレテ居ル、殆下帳面的ニ付ケルダケデサウ云フ風ナ金ヲ取ツテ居ル、自由經濟時代ニ仲買人ノ手ヲ經マシテモ、十貫目ノ苧麻ト云フモノノ手數料ハ五十錢若シクハ一圓デアツタ、然ルニ今度ハソレガ四圓モ四圓五十錢モ會社ニ取ラレテ居ル、ソレガ爲ニ此ノ庭ノ生産地デアアル所ノ栃木縣方面デハ非常ニ悲鳴ヲ上ゲテ居ルノデアリマス、ドウシテ自由經濟時代ノモノヨリ此ノ國策會社ガ餘計ニ利益ヲ得ナケレバナラヌカト云フコトヲ私共ガ調ベテ見マス、ソコニ非常ナ原因ガアルト思フ、此ノ會社ハ御承知ノ通り昭和十五年三月ノ創立デアリマシテ、資本金ハ五百万圓デアリマスガ、是等ノ役員ハ軍部方面ト官吏ノ古手ガ入ツテ居ルヤウデアリマシテ、五百万圓ノ資本ノ會社ニ對シテ、社長ガ年俸一萬六千圓取ツテ居リ、專務ガ一萬五千圓取ツテ居リ、常務ガ一萬二千圓取ツテ居ルト云フ話デアアル、吾々ガ常識カラ考ヘマシテモ、五百万圓ノ會社デ社長ガ一萬六千圓ト云フヤウナコトデハ實ニ法外極マルト思フ、少クモ五百万圓ノ會社デアアルナラバ、先ヅ年俸二千圓トカ或ハ三千圓トカ云フナラバ聞エルノデアリマス、普通ノ民間會社ニ於キマシテモ、五百万圓位ノ會社デハ一萬五、六千圓ナント云フ報酬ヲ拂ツテ居ル會社ハ恐ラクナカラウト私ハ思フ、而モ國策會社ニ於テ左様ナ高給ヲ取ツテ居ルト云フノラドウ云フ譯デ農林省ガ默認サレテ居ルノカ、私共ハ甚ダ不思議ニ堪ヘナイ、サウ云フ狀況デカラ、農村カラ麻ヲ集荷スルニ付テモ、或ハソレヲ販賣スルニ付テモ、相當高額ナ利益ヲ取ラナ

ト云フモノハ、從來ノ自由經濟時代ノ仲買

ナ金ヲ取ツテ居ル、自由經濟時代ニ仲買人ノ

手ヲ經マシテモ、十貫目ノ苧麻ト云フモノノ

ケレバ會社ガヤツテ行ケナイト云フヤウナ原因ダラウト思フ、是非非常ニ農村ガ困ツテ居ル問題デアリマスカラ、至急ニ會社ノ内容ヲ改組致シマシテ、サウシテ農村方面ニ於テ需要スルモノニ付テハ相當廉價ニ之ヲ農村ニ還元スルト云フヤウナ方法ヲ執ツテ戴キタイト思ヒマス、之ニ對スル次官ノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○井野政府委員 原麻會社ノ問題ニ付キマシテハ、度々委員會等ニ於テ色々御議論ガアルヤウデアリマスカラ、何分此ノ會社ハ、只今小平委員ノ御話ノ通り、最近設立サレタバカリデアリマシテ、當初ニ於キマシテハ其ノ事務上色々圓滑ヲ缺イテ居ル點モアツタヤウデアリマス、併シ段々ト職員一同努力致サレマシテ、最近ニ於テハ各方面ニ於テ大體軌道ニ乘ツテ來タヤウニ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ尙外國策會社トシマシテ行届カナイ點ガゴザイマスレバ、是ハ十分ニ吾々モ監督上指導シテ直シテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、只今御話ノ手數料ノ點モ、一割モ取ツテ居ルト云フ御話デアリマスカラ、吾々ノ方デ聞イテ居リマス所デハ、手數料ハ一分五厘カラ三分ト云フコトニナツテ居リマス、ソレ以上取ツテ居ルヤウニ私共ハ考ヘラレナイノデアリマスカレドモ、サウ云フ事實ガゴザイマスレバ能ク一ツ調べマシテ、一割モ取ツテ居ルヤウナコトデアレバ是ハ洵ニ遺憾ト思ヒマスカラ、十分監督ヲ致シタイト思ヒマス、何分此ノ會社ハ御承知ノヤウニ軍需品ガ主デアリマシテ、軍ニ納メルノデアリマスカラ、サウ云フ高イ手數料ヲ取ツテ軍ニ納メルト云フコトハ、軍ノ監督上カラモサウ云フコトハ許スベカラザルコトデアリマ

スカラ、サウ云フコトハナイト信ズルノデアリマスカレドモ、今申上ゲマシタヤウニ、若シモサウ云フ事實ガアリマスレバ、能ク調べマシテサウ云フ點ハ是正致シタイト考ヘテ居リマス、又、ナゼソナニ取ラナケレバ此ノ會社ガヤツテ行ケナイカト云フ原因ヲ、役員ノ報酬等ニ付テ御話ガゴザイマシタガ、社長ノ俸給等モ今御述ベニナツタヤウナソナ高額ヲ俸給ハ取ツテ居ナイヤウニ私共ハ聞イテ居リマス、其ノ半分程度ノモノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマスカレドモ、併シ何分斯ウツタヤウナ會社ニ良イ人ヲ得マスニハ、ヤハリサウヒドイ俸給ヲ得ルト云フ譯ニモ行カナイノデアリマス、デスカラ他ノ色々ナ會社ノ振合ヲ見マシテ、サウシテ吾々ノ方デハ大體俸給ト云フモノヲ監督シテ認可シテ居ルノデアリマスカラ、サウ無茶苦茶ニ高イ俸給ヲ出スト云フコトハ致サセナイ積リデ居リマスカラ、左様御諒承願ヒタイト思ヒマス

○小平委員 次官ノ御説明ニ依リマスト、一分若シクハ三分ト云フヤウナ御話デアリマスカラ、是ハ實際私ノ方ノ農村ニ於キマシテ、菟麻ヲ産業組合ニ買取ラレル値段ト、農村ガ之ヲ買受ケル値段トガ、チヤント吾吾ハ分ツテ居リマス、其ノ値開キガ三圓若シクハ四圓デアアル、デスカラ是ハ一割以上ニ付イテ居リマス、此ノ點ハ間違ヒナイト思ヒマス、私ハ縣ニ於テ調べマシタ、一分ヤ三分ノ口錢デアリマシタナラバ文句ハナイ、併シ一割トカ或ハ一割五分トカ云フヤウナコトニナリマスト、問題ガ起キマス、此ノ點ハ篤ト御調べノ上ニ是正ヲ御願ヒ致シマス

ソレカラ次ニ御伺ヒシタイトコトハ、農業保

險法ヲ改正スル意思ガナイカト云フコトデアリマス、現在ノ農業保險法ニ依リマスト、地方的「ブロック」ニナツテ居リマシテ、地方的ノ保險金ノ收金額ガ被害程度ニ滿タナイト云フヤウナ場合ニハ、支拂ノ方法ガナイト云フヤウナ現狀ニナツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、昨年ノ關東方面ニ於ケル大災害ニ對シマシテモ實ニ困ツテ居リマス、私ノ方ノ縣ナドハ被害ガ十二万幾ラカニナツテ居ルト思ヒマス、其ノ中保險金ノ收金ハ一萬圓位ニシカナツテ居ナイ、十萬圓以上ノ支拂ガ出來ナイト云フヤウナ現狀ニナツテ居リマス、農村デハ保險料ヲ掛ケレバ當然保險金ハ支拂ハレルト云フヤウニ安心シテ居リマス、所ガ一朝斯ウ云フコトニナリマスト、縣ノ方デハ支拂ガ出來ナイト云フヤウナコトニナル、農民ハ非常ニ落膽シテ居ル現狀デアリマスカラ、斯様ナ不備ナ法律ハ當然法の根據ヲ改正致シマシテ、サウシテ保險金ヲ早速支拂ハレルヤウナ方法ニ是正シナケレバナラヌト私ハ考ヘテ居リマスカラ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ次官ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○井野政府委員 農業保險法ヲ當初制定致シマス際ニハ、色々危険率其ノ他ノ點カラ中々保險ト云フモノガ難シイト云フコトハ、吾々モ考慮致シタノデアリマス、隨テ保險法ヲ制定致シマス際ニ、成べく農民カラ安イ保險料ヲ徴ツテ、斯ウ云フ事業ヲ行ヒタイト云フコトカラ致シマシタノデ、多少危険率ノ算定等ニ於テモ無理ガアツタト私共モ思フノデアリマス、併シ何トシテモ此ノ保險ト云フモノハ必要デアリマスコトデ、二、三年ヤツテ見テ、愈、イケナケレバ改正モ必要デアラウト云フコトカラ始メテ

見タノデアリマスカラ、最近保險法ヲ作リマシテカラ早害其ノ他ノ非常災害ガ洵ニ多イ爲ニ、保險トシテハ相當苦シイ狀態ニ陥ツタコトハ御承知ノ通りデアリマス、隨テ政府トシマシテモ之ニ對シテ國庫カラ相當ノ補給金モ昨年致シ、又借入金ニ對スル利子ノ補給ト云フコトモ致シマシテ、今日デハ大體辻褄ヲ合ハシテ來テ居ルノデアリマス、併シ斯ウ言ツタヤウナ狀態ガドン／＼續クヤウデハ、吾々モ考ヘナケレバナラヌト思ツテ居リマス、隨テ農業保險法ノ改正ト云フコトモ一ツ研究シテ見タイト考ヘテ居リマス

○小平委員 次官ノ御意見ヲ拜聽致シマシテ満足致シマスカラ、昨年度ノ保險金支拂不能ニ對シテ、ドウ云フ御處置ヲ御執リニナルノデアリマセウカ

○井野政府委員 借入金ニ對シマシテ利子補給ノ方法ヲ執リタイト考ヘテ居リマス

○小平委員 次ニ御聽キ致シタイトコトハ、農地管理令ノ發動ニ依リマシテ、戰時食糧確保ノ見地カラ、直接食糧ニ關係ノナイ所ノ作物ヲ、米麥重點主義ニ轉換セシムル御意思ガアルカナイカト云フコトニ付テ承リタイトデアリマス、現下ノ非常時局ニ於テ、食糧ノ確保ト云フコトノ必要ハ申スマデモナイニモ拘ラズ、現在ノ農村ニ於ケル所ノ耕作狀況ヲ見マスト、直接食糧ニ關係ノナイ所ノ、所謂特用作物ノ果樹或ハ其ノ他ノ作物ガ餘程アルト私ハ考ヘテ居リマス、私ハ統計的ニ調べテハ見マセマスカラ、之ヲ統計的ニ調べテ見マシタナラバ、相當ナ面積ニ達スルト考ヘテ居リマス、假ニ果樹園ニ致シマシテモ、或ハ嗜好品ノ煙草ニ致シマシテモ、西瓜ノヤウナモノニ致シマシテモ、私ノ縣デハ乾瓢ガ相當出來テ居リマスカラ、

見タノデアリマスカラ、最近保險法ヲ作リマシテカラ早害其ノ他ノ非常災害ガ洵ニ多イ爲ニ、保險トシテハ相當苦シイ狀態ニ陥ツタコトハ御承知ノ通りデアリマス、隨テ政府トシマシテモ之ニ對シテ國庫カラ相當ノ補給金モ昨年致シ、又借入金ニ對スル利子ノ補給ト云フコトモ致シマシテ、今日デハ大體辻褄ヲ合ハシテ來テ居ルノデアリマス、併シ斯ウ言ツタヤウナ狀態ガドン／＼續クヤウデハ、吾々モ考ヘナケレバナラヌト思ツテ居リマス、隨テ農業保險法ノ改正ト云フコトモ一ツ研究シテ見タイト考ヘテ居リマス

是等ニ致シマシテモ相當ナ面積ニナツテ居  
ルト思ヒマス、此ノ急場ヲ救フ爲ニ是等ヲ  
米麥ニ轉換セシムルト云フコトガ、目下ノ  
急務ナリト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス  
ガ、此ノ點ニ對スル御意見ヲ拜聽致シタイ  
ト思ヒマス

○井野政府委員 農地管理令ニ基キマス作  
物ノ轉換命令ニ關シテノ御質問デアリマス  
ガ、政府トシマシテモ斯ウ云フ非常時局デ  
アリマスカラ、出來ルダケ米麥其ノ他雜穀ヲ  
中心ニシテノ増産施設ヲ致シタイト考ヘテ、  
過般來色々ノ施設ヲ講ジテ居ル次第デアリ  
マス、桑園ヲ整理致シマシテ六万六千町歩  
ノ甘藷、馬鈴薯、麻類ノ獎勵ヲスルト云フ  
コトモ其ノ現ハレノ一ツデアリマス、是ハ  
農地管理令ニ基キテ命令ヲ致スノハ、最後ノ  
手段デアルト吾々ハ考ヘテ居リマス、出來  
ルダケ農民ニ對シテハ、獎勵ニ依ツテサウ  
云フ方向ヲ執ツテ参リタイト考ヘマシテ、  
桑園整理ニ付キマシテモ、一反歩二十圓ノ  
獎勵金ヲ出スコトニ依リマシテ、他ノ作物  
ノ轉換ヲ獎勵シテ居リマス、大體ソレデ目  
的ヲ達シテ居リマス、併シ萬一サウ云フ行  
キ方デイケマセヌ時ハ、農地管理令ノ發動  
ヲ致シタイト思ヒマス、本年ハ西瓜ナドハ  
相當ニ考ヘナケレバナラヌト思ツテ居リマ  
ス、又煙草等ニ付テモ考ヘル必要ガアリマ  
スガ、煙草ハ私共ノ記憶デハ四、五万町歩  
デアリマシテ、是レ以上ノ煙草製造ハコチ  
ラトシテハ止メテ居リマス、隨テ之ヲ下ノ  
程度他ニ換ヘルカト云フコトニ付テハ、農  
林省ノ主管ダケノ問題デアリマセヌノデ  
色々研究致シテ居リマスガ、西瓜其ノ他ニ  
付テハ考ヘタイト思ツテ居リマス

○小平委員 次官ニ對スル質問ハ此ノ程度  
ニ止メテ……  
○村上委員長 小平君ニ申上ゲマス、大藏  
次官ハ御出席ナリ兼ネルト云フノデ、主税  
局長ガオイデニナツテ居リマス、此ノ際其  
ノ質問ヲナサレタラ如何デスカ  
○小平委員 ソレデハ大藏當局ニ質問致シ  
マス、實ハ此ノ委員會ニ於テ、先日農林大  
臣ニ對シマシテ農村ニ濁酒ノ製造ヲ許サナ  
イカト云フ質問ヲ申上ゲタノデアリマスガ、  
農林大臣モ、農村ニ於テ米カラ尙ホ加工シ  
テサウ云フモノガ出來ルコトハ、農村ノ經  
費ヲ節約スル上ニ於テモ結構ト思フガ、是  
ハ大藏省ニ關係ノアルコトデアリマス、カラ、  
大藏省ト相談シナケレバ言明出來ナイト云  
フ御答辯ガアツタヤウニ思ヒマス、私ハ此  
ノ答辯ニ對シマシテ諒承ハ致シマシタガ、  
ソコデ大藏當局ニ御伺ヒ致シマス、現在ノ  
農村ニ於ケル酒ノ狀況ヲ先ツ申上ゲテ見タ  
イ、農村ニ於キマシテハ相當ノ實績ノアツ  
タ農家デモ、一箇月ニ一升ノ酒シカ配給ニナ  
ラナイ、正月デモ大神宮様ニ御神酒ヲ上ゲ  
ルコトガ出來ナイト云フ現狀デアアル、正月  
ガサウ云フ狀況デアリマスカラ、農繁期ニ  
於テハ到底問題ニナラナイ、恐ラク相當ノ  
家庭デモ五合若シクハ一升ノ配給ニナルノ  
ハ難カシイト云フ現狀デアアル、農村ハ御承  
知ノ通り事變以來相當ナ努力ヲシテ居ル、  
食糧生産ノ爲ニ、恐ラク各階級ノ國民ガ全  
力ヲ傾注シテ此ノ事變ヲ乗り切レ爲ニ盡力  
致シテ居リマスガ、此ノ各業界ヲ通ジテ農  
村程今日非常ナ努力ヲ拂ツテ居ル狀態ハナ  
イノデハナイカト考ヘテ居リマス、農村ニ  
於テハ資材、勞力、肥料ガ足りナイニモ拘  
ラズ非常ナ努力ヲ拂ツテ居ル、朝早くカラ  
夜遅くマデ勞働シテ、家ヘ歸ツテ來テモ酒

一杯飲メナイト云フ現狀デアアル、實ニ氣ノ  
毒デアルト私ハ考ヘテ居リマス、此ノ反面  
ニ酒ガドウ云フ所ニ配給サレテ居ルカト考  
ヘマス、先ツ東京アタリニ來テ料理店ニ  
行ツテ見マスト酒ガアル、是ハ農村ノ家庭  
ト大都市ノ家庭ト比較シテ見マスト、私  
モ東京ニ家ヲ持ツテ居リマスガ、大都市ノ  
家庭ノ方ガ酒ガ廻ルノデアリマス、殊ニ大  
都市デハ六時若シクハ七時ノ電車ナドニ乗  
リマスト、大半赤イ額ヲシテ乗ツテ居ル人  
ガ多イ、ソレ程酒ガ市街地ニ多ク廻ツテ居  
ルト見テ差支ヘナイト思フ、然ルニ農村ニ  
ハ今申上ゲル通り殆ド酒ガ廻ラナイ、而モ  
此ノ非常時ニ命懸ケデ國策ニ順應シテ働イ  
テ居ル、サウ云フ狀況ヲ見マスト、是ハ政  
府モ何トカ親心ヲ出シテ考ヘテヤラナケレ  
バナラス、斯ウ私ハ考ヘテ居リマス、ソコ  
デ私共ノ考ヘルノニ、然ラバ此ノ酒ヲ農村  
ノ方ニ餘計廻セト申上ゲテモ今ノ現狀デハ  
到底廻ラナイ、御承知ノ通り醸造ノ量ガ非  
常ニ少イノデアリマスカラ、之ヲ農村ニ廻  
セト言ツテモ申上ゲテモ、デアリマスカラ  
酒ハ廻サナクテモ宜シイガ、農村ハ農村ト  
シテ或ル程度濁酒ヲ製造スルコトヲ默許シ  
テ貰ヒタイト云フ希望ヲ私ハ持つテ居リマ  
ス、之ニ對シテ大藏當局ノ御意見ヲ拜聽シ  
タイト思ヒマス

○松隈政府委員 農民ニ自家用濁酒ヲ許シ  
テ貰ヒタイト云フ問題ハ、多年ノ懸案デア  
リマシテ、今日ニ始マツタ問題デアナイノ  
デアリマスルガ、今マデ大藏當局ト致シマ  
シテハソレニ遠ニ賛意ヲ表シテ居ラナイ  
ノデゴザイマス、農民ガ現金經濟カラ離レ  
テ、出來ルダケ自給自足致シマスト云  
フ其ノ根本方針ニ付テハ贊成致シテ居ルノ  
デアリマスルガ、其ノ具體的ノ適用ニナリ  
マスルト、自家用ノ醬油ヲ作ルトカ、自家  
用ノ麴ヲ作ルト云フ場合ト、自家用ノ煙草  
ヲ作ツテ喫ム、自家用ノ濁酒ヲ作ツテ飲ム  
ト云フ場合トデハ相當ノ開キガアルノ  
デ、考ヘテ違ヘナケレバナラナイト存ジマ  
ス、ソレハ御承知ノ通り、煙草ハ專賣品デ  
アリ、相當消費稅ニ相當スルモノヲ國家  
ガ負擔セシメテ居リマスシ、濁酒ニ付テモ稅  
金ガ相當高クナツテ居リマスルノデ、若  
シ自家用濁酒ヲ許シテ免稅スルト云フコ  
トニナリマスレバ、他ノモノトノ權衡ヲ失  
スルト云フ所カラ遠カニ贊成出來ナイノ  
デアリマス、ソレカラ單ニ稅收入ノ上カラ  
言ツテノミ自家用濁酒ニ反對ヲ致シテ居ル  
ノデハナクシテ、自家用濁酒ヲ免稅スルコ  
トニ對スル反對ノ一ツノ理由トシテハ、國  
民ノ保健衛生ト云フ點モ考慮サレテ居ルノ  
デアリマス、自家用濁酒デアリマスルト、  
製造技術ガ不完全デアリマスル爲ニ、良イ  
濁酒ガ出來ナイ、隨テ之ヲ常用スルト云フ  
コトハ健康ニ害ガアル、ソレカラ自家用デ  
自分ノ家ニ濁酒ガアルト云フコトニナルト、  
ツイ女、子供マデ之ヲ常用スルト云フコト  
ニナリ勝チデアリマスルノデ、是ハ國民衛  
生上宜シクナイト云フ點カラ、從來贊成致シ  
テ居ラナイノデゴザイマス、尙ホ只今御述  
ベニナリマシタ酒ノ配給ガ農家方面ニ少イ  
ト云フ實情ハ、私共モ言ヒ聞カサレテ居リ  
マシテ、之ニ對シテハ非常ニ苦心致シテ居  
ルノデゴザイマス、大體配給方法ト致シマ  
シテハ、實績ノ四割マデハ行渡ルヤウニ指  
示致シテ居リマシテ、生産者カラ卸業者、  
小賣業者マデハ大體稅務當局ノ監督ガ行届  
キマスノデ、其處マデハ参リマスルケレド

モ、ソレカラ先實際消費者が買フ段取りニナルト、今ノ所自由競争ノヤウナ形ニナツテ居リマスノデ、買漁リガ行ハレテ、酒ヲ非常ニ必要トスル方面ガ酒ヲ優先的ニ持ツテ行ツテシマフト云フ點ニ缺陷ガアルノデゴザイマス、隨テ配給機構ノ改善ヲシテ、然ルベク「ブロック」毎ニ相當數量ガ行渡ルヤウニスルト云フコトニ付テハ、目下研究中デアリマシテ、近ク成案ヲ得テ實行ニ移シタイト思ツテ居リマスノデ、其ノ點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小平委員 濁酒ノ製造ニ對シテハ、大藏當局ハ反對ト云フ御意見デアリマス、是ハ色々ノ觀點カラ見マシテ已ムヲ得ナイカモ知レマセヌ、然ラバ配給機構ノ問題ニ付テ、必要ナル方面ニ餘計ニ酒ヲ廻スコトニ付テ御盡力ヲ願ハナケレバナリマセヌ、只今ノ御説明ニ依リマスト、配給機構ヲ改善スルト云フ御話デアリマスガ、是ハ至急ニヤツテ戴キタイト思ヒマス、中間ノ配給機構ダケヲ改善致シタダケデハ駄目デアリマスカラ、本當ニ必要ナル方面ニ重點主義デ配給スル、殊ニ農村方面ニ對シテハ實績デナク、本當ニ實需ヲ計算シテ配給スルヤウニシテ欲シイト思ヒマス、炭礦方面ノ坑夫ニ酒ヲ餘計ニ配給スルヤウナコトモ聞イテ居リマスガ、炭礦ノ坑夫ト農村ニ於ケル労働者ハ、私ハ同様ニ待遇スベキモノダト思フ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、將來酒ノ配給ニ付テハ至急ニ配給機構ヲ改善致シマシテ、農村デ少クモ上リ酒ノ一パイ位ハ飲メルヤウナ方法ニシテ戴キタイト云フコトヲ特ニ御願ヒシテ置キマス

○松隈政府委員 酒ノ配給機構ノ改善案ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタ通り目下研究中デアリマスガ、出來マスレバ政府ノ天下リ的統制ヨリモ、業者ノ自治的統制ガ望マシイコト存ジマシテ、目下生産者、卸賣業者、小賣業者ニ命ジテ、各、配給機構ノ改善案ヲ立テサセテ居リマス、唯各生産者、卸賣業者、小賣業者ノ立場々々ガアリマシテ、自分達デ立テタ案デハ自分達ニ利益ノ點ヲ考ヘマスル爲ニ、三者ヲ一貫シタ配給機構ガ出來ニクイ點ガゴザイマスノデ、サウ云フ點ニ付キマシテハ、政府ガ公平ナ立場カラ判斷ヲシテ、讓ルベキ所ハ讓ラセタ方ガ大體ニ於テ配給機構ガ完備スルノデハナイカト思ツテ、今其ノ方向ニ進ミツツアリマス、尙ホ實績ヲ基礎トシテノ配給デアリマスルガ、農家方面ニハ、實績以上ノ配給ヲシテ欲シイト云フコトデゴザイマスケレドモ、合成酒等ノ増産ニ依リマスル分ハ、炭礦、工場労働者方面ニハ特別ニ配給ヲ致シテ居リマスルガ、農村方面ニ對シテハ未ダ其ノ計畫ガゴザイマセヌ、御趣旨ノ點ヲ能ク考慮致シマシテ、出來レバ餘分ニ配給ノ出來マスルヤウニ計畫致シタイト存ジマス

○村上委員 小平君濟ミマシタカ  
○小平委員 大藏省關係ハ是デ打切りマシテ居リマス、今ノニ關聯シテ——合成酒ノ方ハ將來ハドウ云フ御考ヘデ進マレルノデアリマスガ、從來ノ日本酒ハ此ノ儘ニ置イテ、合成酒ノ方ヲ殖ヤスト云フ御意見デアリマスガ、又日本酒ノ方ハ減産サスノデアルカ、増産サスノデアルカ、合成酒ノ方ヲドウ云フヤウニ殖ヤスノカ、其ノ邊ノコトヲ仰シヤツテ戴キタイ

○松隈政府委員 清酒ニ付キマシテハ、御承知ノ通り主たる原料ノ米ガ米穀ノ需給關係カラ規正セラレマシテ、昭和十四酒造年

度ニ對シマシテハ、二百万石ノ酒造米ガ割當テラレタノデアリマス、昭和十五年酒造年度、即チ目下造リ込ミ中ノ酒造年度デアリマスガ、之ニ對シマシテモ前年度同様ノ二百万石ト云フ割當ニナツテ居リマス、將來此ノ二百万石ト云フ割當ガ維持出來ルカドウカ、或ハソレガ少シ増シテ貰ヘルカ、或ハ更ニ之ヲ減ラサナケレバナラナイヤウナ狀況ニ立至ルカドウカト云フコトハ、今後ニ於ケル米穀ノ需給狀況ト對比シテ考ヘラ

ルベキ問題デアアルト思ヒマスガ、大體ノ見透シト致シマシテハ、二百万石程度ノ割當ハ受ケ得ルモノデハナイカト存ジマス、斯ウ申シマスト、日本酒ハ大體從來ヨリモ四割八分程度製造ガ減ツテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ狀態ガ當分續クヤウニ考ヘラレルノデアリマス、合成酒ノ方面ニ付キマシテハ、從來ハ日本酒ヲ壓迫スルト云フ建前カラシテ、餘リ之ヲ伸バサセナイト云フ方針ヲ採ツタ時代モゴザイマスケレドモ、只今申上ゲマシタヤウニ、日本酒ノ方ガ酒造米ヲ制限サレテ減産ニナツテ居リマスノ

○松田(喜)委員 今ノニ關聯シテ——合成酒ノ方ハ將來ハドウ云フ御考ヘデ進マレルノデアリマスガ、從來ノ日本酒ハ此ノ儘ニ置イテ、合成酒ノ方ヲ殖ヤスト云フ御意見デアリマスガ、又日本酒ノ方ハ減産サスノデアルカ、増産サスノデアルカ、合成酒ノ方ヲドウ云フヤウニ殖ヤスノカ、其ノ邊ノコトヲ仰シヤツテ戴キタイ

デ、之ヲ補給シマスル意味ニ於テ、今日ハ寧ろ合成酒ハ出來ルダケ之ヲ伸バシタイ、増産サセタイト云フ方針デ居リマス、唯合成酒ノ原料ニナリマスルモノガ、甘藷、馬鈴薯等、同じク食糧品デアリマスコトハ、困難ナ問題ニ逢着スル次第デアリマシテ、今日ハ甘藷、馬鈴薯等モ出來ルダケ食糧ノ方ニ廻ハシタイ、斯ウ云フ時期デアリマスル爲ニ、是等ヲ澤山合成酒原料ニ消費スルコトハ許サレナイノデアリマス、ソコデ目下合成酒ヲ増産シテモ宜シイト云フ方針

ハ、米ヲ使ハナイ、甘藷、馬鈴薯ヲ使ハナイデ、其ノ他ノ原料ヲ持ツテ居ツテ増産ノ出來ル分ハ、差支ノナイ限り増産ヲ認メル、斯ウ云フ方針ニシテ居リマス、サウシマスト結局ドウ云フモノヲ使フカト云フコトニナレバ、酒屋サンガ酒造ニ際シテ得マシタ米糠デアルトカ或ハ清酒粕ヲ使フ、是等モ例ヘバ清酒粕デアリマスト、漬物屋サンノ方ニモ相當廻サナケレバナラナイカラ、全部合成酒ニ廻シテハイカヌ、少クトモ從來ノ實績ノ半分ハ、從來ノ需要ノ方ニ廻セト云フコトニナツテ居リマスカラ、殘リダケシカ使ヘマセヌ、ソレカラ團栗デアルトカ、蘇鐵ノ實デアルトカ云ツタヤウナ澱粉原料カラ造ルノデアレバ、勿論是ハ認メラレマス、ソレカラ滿洲等カラ高粱其ノ他ノ澱粉原料ガ得ラレルト云フヤウナ便宜ヲ持ツテ居ルト云フ者ニ付テハ、其ノ澱粉原料ヲ以テ合成酒ヲ増産スルコトハ認メテ居リマス、併シ只今申上ゲマシタヤウニ、原料ノ方面ノ手當ガ十分付イテ居ラナイノ

ト、ソレカラ技術的ニ申シテ、合成酒モ一朝一夕ニ優良品ガ出來ル譯デアリマセヌカラシテ、合成酒ヲ伸バスト云フ方面ニモ、餘リ多クノ期待ヲ掛ケルコトガ困難カト思ツテ居リマス

○松田(喜)委員 其ノ合成酒ノ方ノ量デゴザイマスガ、清酒ノ方ハ四割八分減シマシタ、即チ五割二分ニ減ツテ居リマス、ソレデ合成酒ノ方デドレ位「カバ」スルト云フコトニナツテ居リマスガ、又清酒ノ四割八分減スト云フ量ガ幾ラデアツテ、ソレカラ今後ドウ云フヤウナ狀態ヲ殖ヤシテ行クノデアルカ、聽カシテ貰ヒタイト思ヒマス

○松隈政府委員 合成酒ハツイ近年マデハ大體十萬石程度ノ生産ガアツタノデゴザイマス、今日ニ於キマシテハ、先程申上ゲマ

シテハ、先程申上ゲマシタ通り目下研究中デアリマスガ、出來マスレバ政府ノ天下リ的統制ヨリモ、業者ノ自治的統制ガ望マシイコト存ジマシテ、目下生産者、卸賣業者、小賣業者ニ命ジテ、各、配給機構ノ改善案ヲ立テサセテ居リマス、唯各生産者、卸賣業者、小賣業者ノ立場々々ガアリマシテ、自分達デ立テタ案デハ自分達ニ利益ノ點ヲ考ヘマスル爲ニ、三者ヲ一貫シタ配給機構ガ出來ニクイ點ガゴザイマスノデ、サウ云フ點ニ付キマシテハ、政府ガ公平ナ立場カラ判斷ヲシテ、讓ルベキ所ハ讓ラセタ方ガ大體ニ於テ配給機構ガ完備スルノデハナイカト思ツテ、今其ノ方向ニ進ミツツアリマス、尙ホ實績ヲ基礎トシテノ配給デアリマスルガ、農家方面ニハ、實績以上ノ配給ヲシテ欲シイト云フコトデゴザイマスケレドモ、合成酒等ノ増産ニ依リマスル分ハ、炭礦、工場労働者方面ニハ特別ニ配給ヲ致シテ居リマスルガ、農村方面ニ對シテハ未ダ其ノ計畫ガゴザイマセヌ、御趣旨ノ點ヲ能ク考慮致シマシテ、出來レバ餘分ニ配給ノ出來マスルヤウニ計畫致シタイト存ジマス

○松田(喜)委員 其ノ合成酒ノ方ノ量デゴザイマスガ、清酒ノ方ハ四割八分減シマシタ、即チ五割二分ニ減ツテ居リマス、ソレデ合成酒ノ方デドレ位「カバ」スルト云フコトニナツテ居リマスガ、又清酒ノ四割八分減スト云フ量ガ幾ラデアツテ、ソレカラ今後ドウ云フヤウナ狀態ヲ殖ヤシテ行クノデアルカ、聽カシテ貰ヒタイト思ヒマス

○松隈政府委員 合成酒ハツイ近年マデハ大體十萬石程度ノ生産ガアツタノデゴザイマス、今日ニ於キマシテハ、先程申上ゲマ

シタ通り、食糧原料ト衝突シナイヤウナ原料デアレバ増産ヲ許ス、ソレカラ技術的ニ障礙ノナイモノデアレバ増産ヲ許スト云フ風ニ、制限ヲ緩和シテ居リマスノデ、大體三十万石程度ノ生産ヲ豫想シ得ル程度ニナツテ居リマスガ、十萬石カラ比ベルト、約三倍ニハナツテ居リマスガ、何シロ基本石數ガ少イノデアリマスカラ、其ノ數量ガ非常ニ多クナツテ、清酒ノ減ヲ「カバ」スルト云フ所マデハ、マダ餘程間ガアルト思ヒマス

### ○村上委員長

小平君ニ申上ゲマスガ、内務省、逓信省ノ政府委員ガ見エテ居リマスノデ、ソチヲ方ノ質問ヲ先ニ濟マスコト

ニ致シタイト思ヒマスノデ、暫ク御辛抱ヲ願ヒマス、尙ホ服部君ニ申上ゲマスガ、内務大臣、逓信大臣、共ニ御差支ヘガアツテ一寸出席出來ニクイト云フコトデ、内務省カラハ土木局長、逓信省カラハ電氣廳ノ部長ガ見エテ居リマスカラ、ドウゾ其ノ方ニ御質問ヲシテ戴クヤウ希望致シマスガ、此ノ際平野君カラ簡單ニ警保局長ニ對シテアルサウデスカラ、之ヲ許シマス、——平野君

### ○平野力委員

簡單ニ御伺ヒ致シマスガ、豫算總會ニ於キマシテ、新潟縣ノ盡忠會ノ件ニ關シ警保局長ニ御質問申上ゲマシテ、御調ベノ上適當ナル機會ニ御答辯ヲ願フト云フコトニナツテ居リマスガ、外ノ委員會ニ於テモ適當ナル機會ガアリマセズ、此ノ委員會ニ於テハ、土地問題等ノ關係モゴザイマスノデ御伺ヒ致シマス、其ノ意味ハ、其ノ後向フ方ニ於キマシテ、色々ノ問題ガ重要問題ニナリマシテ、關係農民等ノ間ニ於テモ、當局カラ色々御調ベニナツタリ

シタヤウナコトモ現ハレテ、其ノ結末ヲハツキリシテ置キマセスト、今後ノ問題ニ付テ、私ガ委員會ニ於テ申上ゲマシタコトハ徹底シタイト思ヒマスカラ、此ノ際一ツ御答ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

### ○橋本政府委員

御答ヘ申上ゲマス、平野

サンノ御話ガアリマシタノデ、早速實情ヲ調査致シマシタガ、概括シテ申上ゲマスト、新潟縣ニ於ケル農業盡忠會ハ、何ト申シマスカ、農業報國精神ヲ基調ト致シマシテ、農村内ノ階級對立ヲ成タケ少クシテ、皆一致シテ職域奉公ニ邁進スルト云フヤウナ、大體ニ於キマシテハ好イ成績ヲ擧ゲテ居ルヤウニ存ジテ居ルノデゴザイマス、尙ホ農村方面ノ側カラ申シマシテモ、相當喜バレテ居ルヤウナ傾向ニアルノデハナカラウカ、大體論ト致シマシテハ、一應左様ニ存ジテ居リマスガ、中ニ——率直ニ申上ゲマスト

### ○平野力委員

率直ニ申上ゲマスト

ガ、豫算總會デ色々御示シナリマシタ通り、又私ノ申上ゲマシタ通り、警察官ガ立入ルノハ安寧保持ノ觀點ヨリ如何デアルカト云フコトト、ソレカラ尙ホ御言葉ニアリマシタヤウニ、是ガ小作爭議等ニ介入致シマスル場合ハ、警察官自身ガ、御言葉ニアリマシタル通り、専門的知識ガナイノデアアルカラ、専門的知識ノアル所ノ小作官、或ハ其ノ他ノ關係ノ人トノ連絡ヲ宜クシテ行ケト云フ點ニ於キマシテハ、或ハ一、二足ラザル所ガナカツタデモナイト云フヤウニ存ジテ居リマス、尙ホ今御言葉ニアリマシタル通り、是ハ具體的ニ申上ゲマスト、特別高課長ガアソコニ非常ニ長ク居ルノデアリマスガ、幸ヒ警察部長ガ最近參リマシタノデ、ザツクバランニ申シマスト、實ハ一昨日警察部長ヲコチラニ呼ビマシテ、色々

### ○平野力委員

是ガ誤解ノナイヤウニ、其ノ趣旨ヲ十分申

シマシテ、サウシテ良イ方面ハ益、助長シテ行ケ、ソレカラ出過ぎノ點ハ、面目ニ因ハルコトナク直シテ行ケ、其ノ爲ニ只今申上ゲマシタヤウナ、農村ニ對シテ好イ結果ガ出ルト云フヤウニ、從來ノ面目ヲ離レテ、君ガ本當ニ新シイ觀點ニ立ツテ、此ノ問題ヲ處理シテ行ケト云フコトヲ、申渡シタヤウナ次第ゴザイマシテ、恐ラクハ之ニ依リマシテ只今御話ノアリマシタヤウナ誤解トカ、サウ云フ問題モ消滅シ、段々ト好イ結果ヲ結ンデ行クノデハナカラウカト、斯様ニ存ジテ居ル次第デアリマス

### ○平野力委員

只今ノ御答辯ニ依リマシ

テ、大變安心ヲ致シマシタノデアリマスガ、尙ホ此ノ際一言希望ヲ申上ゲ、且又御參考ニ供シ置キタイト思フノデアリマス、此ノ盡忠會ノ綱領ノ第二ニ、農事ノ改良研究ニ關スル事項ト云フノガ、ヤハリ事業ニナツテ居ル、是等ハ實ヲ申シマスト、農事實行組合ノ事業ニ屬スルコトデアリマシテ、單ニ抽象的ニ村ニ於ケル親睦、親和ト云フヤウナ程度ニ於ケル、精神運動ダケデアルト致シマスルナラバ、理論カラ申シマスト、農事實行組合等トハ抵觸ヲ致シマス、殊ニ農林當局ノ方針ト致シマシテモ、農業團體ノ統制ト云フヤウナコトヲ言ウテ居ラレマスル時ニ、地方ノソコニ色々ノ事情モアリマセウケレドモ、斯ウ云フ目的ノ團體ガ、署長サンノ指令ノ下ニ、ドシ／＼出來ルト云フ事態ニナリマスト、ヤハリ相當ニ問題ガ起ルノモ當然デゴザイマセウ、ソレカラ尙ホ斯ウ云フ問題デアリマスルカラ、ヤハリ農民ノ間ニハ、盡忠會ヲ相當批判スルヤウナ諸君ノアルコトモ當然デアリマスル

ガ、ソレ等ノ諸君ニ對スル新潟當局ノ態度ハ、相當峻烈ヲ極メテ居ルノデゴザイマシテ、是等モヤハリ併セテ非常ニ心配シテ居リマスノデ、只今ノ御答辯ニアリマシタヤウニ、能ク警察部長ニ御話願ツタサウデアリマスカラ、今後此ノ問題ニ付テ萬全ヲ期セラレルヤウニ希望致シマスルコトトモウ一點ハ、ヤハリ何ト申シマシテモ農業ニ關シマスコトハ、農林省ノ所管ト内務省ノ所管ト云フモノハ、常ニ此ノ問題以外ニモ相當地方ニ於テ摩擦ヲ起シ、或ハ理論上ニ於テ色々食違ヒ等ヲ生ズル場合モアリマスノデ、今後内務省ノ系統ニ於テ、地方ニ新タナル農業ノ團體ヲ作ラルル場合ハ、能ク農林當局トモ御打合せノ上デヤツテ貰ヒタイト云フコトヲ、此ノ際希望致シタイト思ヒマス、只今ノ御答辯ニ依リマシテ、警察部長ニ對シテ御話願ヒマシタト云フコトハ、大變感謝致シマス、警保局長ニ對シテハ是デオ終ヒデアリマス

### ○村上委員長

服部君

○服部(岩)委員 私ハ琵琶湖ノ治水問題ニ付キマシテ、内務當局ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス、琵琶湖ノ治水ニ付キマシテハ、私ガ申上ゲルマデモナク、單ニ此ノ琵琶湖ノ治水ト云フコトハ、滋賀縣ノミニ關スル問題デナク、京都府、大阪府兩府ニ跨リマス重大ナル關係ヲ持ツテ居ルノデアリマス、琵琶湖ノ治水ニ關シマシテハ、内務省ノ監督下ニアツテ、而モ内務省ハ特別琵琶湖ノ治水ニ關シマシテハ、内務省ノ土木出張所ヲ大阪ニ設ケラレマシテ、琵琶湖ト云フモノト淀川ト云フモノトヲ相關聯サセレマシテ、常ニ監督指導ヲサレテ居ラレマスコトハ、深く地方民トシテ感謝致シテ

居ル者デアリマスガ、此ノ琵琶湖ノ治水ニ關シマシテハ、内務省ト致シマシテハ、滋賀縣其ノモノニ對シマシテハ、或ハ其ノ水源ニ對シマシテ砂防工事、或ハ森林ノ保護植栽、又農林省方面ニ於キマシテモ、特ニ砂防工事其ノ他造林ノ獎勵ヲ致サレテ居リマシテ、地元縣ハ政府ノ方針ト相俟ツテ、此ノ兩方面ノ施設ニ全力ヲ傾注シテ參ツタノデアリマス、政府ノ多年ノ努力ニ依リマシテ、十分トハ參リマセヌケレドモ、滋賀縣ノ土砂地帯ハ大分良クナツテ參リマシテ、年々降雨ニ因リマスル所ノ、流水ニ依ツテ流サレル土砂ノ量ト云フモノガ、大分減ツテ參ツタノデアリマス、併シナガラ滋賀縣ノ山林ハ、非常ニ荒廢致シテ參ツテ居リマシテ、此ノ砂防工事或ハ植林ニ依リマシテ山ヲ治メルト云フモノハ、相當巨額ヲ費用ト長イ日子ヲ要スルコトハ論ヲ俟タナイノデアリマスガ、何ト致シマシテモ琵琶湖ニ注ガレマス所ノ洪水ノ面積ト云フモノハ、全區域ニ互ツテ居リマシテ、一箇年間ノ降雨量ト云フモノハ、七十四、五億立方「メートル」ト云フモノデ、而モソレガ琵琶湖ニ注ガレル量ト云フモノハ、五十万立方「メートル」ヲ下ラナイノデアリマス、隨テ洪水期ニ於キマスル所ノ琵琶湖沿岸地帯ノ被害ト云フモノハ、實ニ甚ダシイモノガアリマスト同時ニ、下流淀川水系ニ於キマスル所ノ、京都府並ニ大阪府ノ被害モ、之ニ伴ウテ參ツテ來テ居リマスノデ、一面内務省ニ於キマシテハ、淀川ノ所謂低水工事ニ非常ナ努力ヲ傾注サレマシテ、最近デハ淀川ノ改良モ、大體完成ニ近付イテ參ツテ居リマスコトハ、關係地方民トシテハ洵ニ喜ンデ居ル次第デアリマス、隨テ淀川ノ改良工事が完

成ニ近付キマス同時ニ、此ノ琵琶湖湖水ト云フモノノ治水ト、琵琶湖ノ開發ト云フコトガ、問題ニナツテ參リマスコトハ、當然ダト思フノデアリマス、内務省ニ於ケレマシテハ、琵琶湖ノ資源ノ開發ト云フコトニハ、從來色々御研究遊バサレテ居リマシテ、殊ニ内務省ノ大阪土木出張所ニ於キマシテ、相當重大ナ關心ヲ持ツテ、此ノ點ノ調査研究ヲ進メテ來ラレテ居ルノデアリマス、又一方地元縣ニ於キマシテモ、琵琶湖ノ利用開發ト云フコトニ付キマシテハ、色々調査研究ヲシ、髓カ昭和十年頃ダト思ヒマシガ、琵琶湖ノ利用審査會ト云フモノヲ設ケマシテ、京都、大阪、地元ノ三府縣ノ研究者、學者、或ハ事業家、各方面ノ多數ノ人ヲ網羅致シマシテ、是ガ調査研究ヲ致シマシテ、既ニ一ツノ成案ヲ得テ、是ハ内務當局ニモ申達サレテ居ルト承知致シテ居ルノデアリマス、最近高度國防國家建設ノ諸點ヨリ、凡ユル國內ノ資源ヲ最高度ニ利用スルコトガ叫バレマシテ、地元ノ縣ニ於キマシテモ、此ノ國內ノ大寶庫タル琵琶湖ヲ、其ノ儘ニ利用シナイデ置イテハ、地元トシテモ怠慢デアルト云フヤウナ考ヘデ、此ノ琵琶湖ノ開發ニ一層ノ關心ヲ持ツコトニナツテ參ツタノデアリマス、琵琶湖ノ治水ニ付キマシテハ、從來内務省ガ直接監督ナサレテ居リマシテ、固ヨリ是ハ獨リ滋賀縣ノミナラズ、前ニ申シマシタヤウニ、其ノ下流デアアル所ノ京都府並ニ大阪ノ兩府ニモ利害ヲ持チマスノデ、極メテ、慎重ナル所ノ態度ヲ御執リニナリ、例ヘバ琵琶湖ノ内湖ガ六十五箇所モアル、此ノ六十五箇所ノ内湖ハ、干拓スレバ極メテ低廉ナル經費デ以テ、美田ヲ開發スルコトガ出

來ル、併シナガラ此ノ内湖ノ干拓ニ依ツテ、洪水期ニ於ケル所ノ琵琶湖ノ貯水ガ巧ク行カナイト、下流ニ及ボス影響ガ甚大デアルト云フ觀點カラ、此ノ内湖ノ干拓ニ付キマシテハ、常ニ中々内務當局ト云フモノハ、御許シニナラウト云フヤウナ氣配ガ、今日マデハ見エナカツタノデアリマス、所謂琵琶湖ノ治水ニ關シマシテハ、相殺法ヲ執ツテ居ラレマシテ、一方ノ埋立ヲスル場合ニ於テハ、一方ソレダケ湖水ヲ貯ヘル所ノ浚渫デアルトカ、適當ナ方法ヲ講ジナケレバ御許シニナラナイ、又下流ノ流量ノ關係カラ、被害ヲ及ボサナイト云フ工事ノ關係ニ依ツテノミ、埋立ヲ御許シニナツテ來タノデアリマスガ、今日ハ琵琶湖ノ治水ニ付キマシテハ、餘程技術的ニ或ハ理論的ニ研究サレテ參リマシテ、色々ナ方法ガ講ゼラレテ參ツテ來テ居ルノデアリマス、ソレハ第一ニ琵琶湖ノ内湖ノ干拓ヲシテ美田ヲ開發シ、一方ハ五十万立方「メートル」ノ水ガ、今日ニ於テ實際ニ用ニ立ツテ居ルノハ三十三、四万立方「メートル」デアツテ、残り十六万立方「メートル」ト云フモノハ、無價値ノ儘ニ放流サレテ居ル、之ヲ國家ノ資源トシテ役立タシメルコトヲ考ヘルニハ、或ハ琵琶湖ノ周圍ニ築堤ヲ設ケテ、無爲ニ流サレル水ヲ貯藏シテ、之ヲ動力ノ資源トシテ開發セシメル、サウスレバ一方無爲ニ流サレテ居ル所ノ十六万立方「メートル」ト云フモノガ、立派ナ資源トシテ役立ツ、一方ハ内湖ノ六十五箇所ト云フモノヲ干拓スレバ、優ニ三千町歩以上ノ美田ガ、而モ廉價デ以テ開發サレル、斯ウ云フコトガ色々ト研究サレタノデアリマシタガ、是ハ琵琶湖ノ周圍ニ築堤ヲ作りマシテ、サウシテ其ノ

儘放流サレテ居ル所ノ水ヲ貯藏スルト云フコトニナリマス、必然的ニ其ノ堰堤カラ貯藏シタ水ガ滲透シテ參リマシテ、却テ今日マデノ美田ガ濕田トナツテ、二毛作ノ利益ヲ失フヤウナ結果トナル、或ハ衛生ノ上ニ於キマシテモ、相當影響ガ生ジテ參ルダラウト云フノデ、是ハ附近一帶ノ人ガ反對シテ來タコトハ、内務當局トシテモ御承知デアラウト思ヒマス、更ニソレト同ジ所ノ結果ヲ招來スベキ方法ヲ考ヘラレテ研究シテ參ラレタノガ、今日ハ琵琶湖ノ常水位ヲ或ル程度低下シテ、サウシテ無用ニ流サレテ居ル十六万立方「メートル」ノ水ヲ貯藏シテ、之ヲ凡ユル方面ニ利用シテ行クコトガ利益デハナイカ、サウスレバ内湖三千町歩ノ田地ガ開發サレルト同時ニ、又外湖ノ方ニ於テモ水位ノ低下ニ依ツテ干陸セル所ノ面積ガ、大體三千町歩位出來ルデアラウ、斯ウ致シマスレバ、大體六千町歩ノ美田ガ開發サレテ、而モ十六万立方「メートル」ノ水ガ、電氣或ハ京阪地方ノ上水道、將來伸ビテ行ク所ノ大阪、京都ノ發展ニ資スルコトガ出來、又ソレガ工業方面、其ノ他凡ユル方面ニ利用サレテ行ク、斯ウ云フコトガ色々ノ方面カラ研究サレテ參リマシタ、今日ハ御承知ノヤウニ内務當局ガ直接其ノ監督ニ當ツテ居ルガ、現在ノ琵琶湖ノ常水位ハ、鳥居川ノ常水標ノ二尺七寸五分ト云フモノガ、現在琵琶湖ノ常水位ニナツテ居ル、併シ此ノ常水ヲズツト下ガマシテモ、決シテ下流ニ對スル支障ガナイト云フヤウナコトガ、現實ニ分ツテ參ツテ居ルノデアリマス、ソレハ現在ハ御承知ノヤウニ、鳥居川ノ常水位量水標ノ二尺七寸五分、ソコカラ三尺下ツタ〇・二寸五分、〇・二寸五分カラ

二尺七寸五分ト云フモノガ、琵琶湖ノ洪水ニ對スル所ノ調節ノ容積ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ〇・二寸五分カラ二尺七寸五分ノ間ノ水ノ上下ハ、是ハ所謂下流ニ對シテモ被害ガナイ、又琵琶湖ノ沿岸ニ對シテモ被害ガナイ、是カラ上ニ上ツテ參リマスト、或ハ沿湖ノ田地ニ浸水ヲシテ、今日マデ度々被害ヲ蒙ツテ參リマシタリマス、又更ニ常水位ニ水ガ増シテ參リマシタリマスハ、是ハ下流ノ方面ニモ相當ノ被害ヲ呈スル譯デアリマスガ、併シ低水位ヲ致シマシタ場合ノ支障ノ關係ヲ調査致シテ見マス、大正十一年ニハ四尺五寸常水位カラ下ツタノデアリマス、又大正十三年ノ大旱魃ニハ五尺常水位カラ下ツタノデアリマス、此ノ場合ニ於キマスル所ノ京都ノ第一疏水及第二疏水ノ取水ニハ、如何ナル影響ガアツタカト申シマス、此ノ四尺乃至五尺下ツタ場合ノ時デモ、京都ノ第一及第二疏水ノ取水ニハ何等支障ガナカッタ、又瀨田川ノ下流カラ引水ヲ致シテ居リマス所ノ、京都宇治川電氣會社ノ取水ニモ支障ガナカッタノデアリマス、斯ウ云フ諸點カラ考ヘマス、技術的ニモ、理論的ニモ、大體或ル程度四尺五寸乃至五尺程度マデハ下ツテモ支障ガナイト云フコトガ、判然ト致シテ來テ居ルノデアリマスカラ、現在ノ琵琶湖ノ常水位ト云フモノヲ、或ル程度低下致シマシテ、サウシテ築堤ト同ジ效果ノアル方法ヲ執ルト云フコトガ——今日電力不足ノ時、又食糧増産ヲ計畫シテ居ル場合ニ於キマシテ、琵琶湖ノ水位ヲ下ゲテ、一方ハ其ノ水ヲ貯藏シ、之ヲ利用シ、一方ハ外湖竝ニ内湖ノ干拓地、竝ニ中ノ湖方面ノ土地ヲ干拓スルト云フコトガ、國家ノ爲

ニモ亦必要ナリト考ヘルノデアリマス、ソコデ此ノ低水工事ノ方法ヲ執リマス、現在ノ琵琶湖ノ湖水ヲ灌溉方面ニ利用シテ居リマスガ、是ガ爲ニハ或ハ灌溉用ノ動力ヲ以テ補ツテ行クコトガ出來ルノデアリマス、ケレドモ唯琵琶湖ノ水位ヲ下ゲタダケデ放置シテ置イテ宜イカト云ヘバ、ソレデハイケナイト思フノデアリマス、何故ナラバ、琵琶湖ノ周圍ハ全部山嶽ヲ以テ繞ラシテ居リマシテ、而モソレハ現在土砂地ガ非常ニ多イノデアリマス、洪水ノ場合ニハ一時ニ出水致シマシテ、不慮ノ災害ヲ受ケルコトガ屢、アリマス、是ハ一方ハ砂防工事ノ徹底、植林ノ徹底、同時ニ一時溪谷ノ間ニ於テ其ノ水ヲ貯藏シ、即チ「ダム」ノ如キモノヲ築造スル必要ガ出テ來ルノデアリマス、低水工事ヲ行フト同時ニ、各河川ノ上流ニ對シテハ「ダム」ノ如キモノヲ設ケル、此ノ「ダム」ヲ設ケタ場合、一方旱天ノ場合ニ於ケル灌溉ノ便ヲ圖ルコトガ出來、又之ニ依ツテ電力ノ資源トモナリ得ルノデアリシ、サウ云フ施設ガ當然ニ起ツテ來ルト思ヒマス、更ニ又低水工事ニ依リマス所ノ、瀨田川下流ノ南郷ノ堰堤ノ如キモ、是ハ明治三十九年ノ設定ニ掛ルモノデアリマシテ、今日デハ極メテ舊式ナモノニナツテ居リマス、水位ヲ下ゲル場合ニハ、相當改造スル必要ガ起ツテ來ルト考ヘラレルノデアリマス、之ニ對シテモ内務省ハ相當御考ヘヲ持ツテ居ラレコトト存ジマスガ、更ニアノ堰堤ノ傍ノ大戸川、此ノ川ノ流域ハ現在殆ド土砂地デアリマシテ、年々瀨田川下流ニ吐出サレテ來ル土砂ト云フモノハ、非常ニ大キナモノデアリマス、是ガ爲ニ琵琶湖ノ洪水ノ調節ハ、内務省トシテハ非常ニ困

難ヲ感ジテ居ラレコトト、私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ淀川ノ一部ノ河川改良モ、自然ニ其ノ必要ガ生ジテ來ルト考ヘルノデアリマス、斯様ナ低水方法ヲ取ルト同時ニ、一方治水ニ關スル施設ガ愈々重大トナツテ來ルト思フノデアリマス、サウ云フ工合ニ滋賀縣ト致シマシテモ内務省ノ方針ト相俟テ、明治ノ初年以來今日ニ至ルマデ、相當巨額ノ費用ヲ是等ノ治水ノ方面ニ投ジテ參ツテ居ルノデアリマシテ、丁度明治五年カラデアリマスガ、明治五年カラ昭和十四年マデニ此ノ琵琶湖ノ治水ノ爲ニハ二百九十四萬、約二千五百萬圓バカリヲ投ジテ參ツテ居ルノデアリマス、是ガ爲ニ現在滋賀縣ハ相當ニ縣債ガ生ジテ來テ居ルコトハ、御當局モ御承知ノコトト存ズルノデアリマス、是ハ相當國家ノ方ニ於キマシテ從來トモ御心配ヲ願ツテ居ル問題デアリマシケレドモ、今後一層國家ノ方ニ於キマシテ、一方低水工事ヲスルコトニ依ツテ、ソレダケノ十餘億立方「メートル」ノ水ト云フモノハ國家ノ資源トシテ生レテ參リ、ソレト同時ニ更ニ食糧關係方面ノ爲ニハ、六千町歩ノ美田ガ生レテ參リマスカラ、斯ウ云フ關係ニ於テ私ハ相當關心ヲ持ツテ戴ケルト確信ヲ致シテ居リマスガ、御當局ノ琵琶湖ノ低水工事ノ方針ニ對スル所ノ御見解ヲ承リ、且ツ外湖竝ニ内湖ノ埋立竝ニ干拓ニ對スル所ノ、御當局ノ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス、地方民ト致シマシテハ切ニ此ノ點ヲ希望致シテ居リマシテ、又私共ハ國家的ノ見地カラ考ヘマシテモ、此ノ際ハ是非トモ是ガ實現スルコトガ必要デアルト思ヒマス、高度國防國家建設ノ上ニ於キマシテハ、凡ユル所ノ國內ノ資源ヲ最

高度ニ發揮シテ行クコト云フ方策ヲ執ラナケレバナラヌ此ノ場合ニ於テ、十餘億立方「メートル」ト云フ是ダケノ水ヲ得ヨウトスルニハ、普通デハ巨額ノ經費ヲ要スルト思ヒマスガ、幸ヒニシテ琵琶湖ノ治水ヲ巧ク合理的ニ、理論的ニヤツテ參リマスカラバ、此ノ多量ノ水力ト云フモノヲ活用スルコトガ出來ルノデアリマス、一方又僅カニ六千町歩トハ言ヘ、之ニ依ツテ十五萬石餘リノ米ノ増産、或ハ其ノ他麥類ノ生産モ可能デアリマスカラシテ、今日ノ場合此ノ琵琶湖ノ開發ハ一ニ一地方ノ利益ノミナラズ、全ク國家ノ上カラ見テ必要ナリト信ズルモノデアリマス、此ノ點ニ付テ先ヅ御當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○成田政府委員 御答ヘ致シマス、只今ハ琵琶湖ノ治水竝ニ利水ニ關シテ、洵ニ御熱心ヲ御意見ヲ拜承致シタノデアリマス、先ヅ此ノ琵琶湖ノ治水ニ付キマシテハ、只今御述ベニナリマシタヤウニ、地元ノ琵琶湖ノミナラズ、下流ニ於ケル京都竝ニ大阪ニ至大ノ影響ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、内務省ト致シマシテモ治水ト云フコトニ付キマシテハ、古クカラ熱心ニ事業ヲヤツテ居リマスコトハ只今御述ベニナリマシタ通りデアルト考ヘルノデアリマス、此ノ治水ト相竝ビマシテ琵琶湖ノ水ヲ如何ニ利用スルカト云フコトニ付キマシテモ、段々ト御述ベニナリマシタヤウニ、相當前カラ内務省ニ於キマシテ、殊ニ地元ノ大阪土木出張所ニ於テ研究シテ居リマス、又滋賀縣ニ於キマシテモ委員會ヲ作ツテ熱心ニ研究ヲサレテ居ツタノデアリマス、所ガ最近ニ至リマシテ、此ノ時局下ニ於ケル生産力ノ擴充ト申シマスカ、時局ノ要請ニ依リマシテ、

琵琶湖ノ水ヲ一層利用スルノ必要性が增大シテ參ツタノデアリマス、即チ滋賀縣ニ於テ此ノ湖ヲ利用スルコト云フコトバカリデナク、下流ノ京都、大阪、延イテハ神戸ト云フヤウナ方面ニ對シマシテ、水道用水トカ、或ハ工業用水ト云フヤウナ意味ニ於テ、之ヲ利用スルコト云フコトガ極メテ必要ニナツテ來テ居ルノデアリマス、此ノ問題ニ付キマシテハ、先ヅ現在ノ湖ノ水ヲ一層利用スルト云フ建前カラ考ヘラレタ案ハ、琵琶湖ノ沿岸ニ築堤ヲシテ洪水ノ水ヲ貯留スルト云フ案ガアルノデアリマス、之ニ對シマシテハ只今御話ガアリマシタヤウニ、地元ニ於キマシテハ色々ナ意味ニ於テ反對ノアリマシタコトモ能ク承知ヲ致シテ居リマス、地元ノ反對ト云フコトニ付キマシテハ、其ノ理由ナリ事情ト云フモノヲ私共ノ方デ十分ニ研究モシ、調査モ致シテ居ルノデアリマス、此ノ築堤ヲ致ス、或ハ致サナイ、何レノ場合ニ於キマシテモ水ヲ利用スルガ爲ニハ、現在ノ湖面ヲ低下スルト云フコトガ當然ノ結論ニナルト思フノデアリマス、築堤ヲシマスレバ一層水ガ使ヘマスルガ、築堤ヲ致サナケレバ湖面ノ低下ト云フ方法ニ依ツテ水ノ利用ヲ圖ル、是ハ築堤ノ如何ニ拘ラズ湖面ノ低下ト云フコトガ、利水ノ方カラ見テ當然ノ結論ニナルト思フノデアリマス、吾々ト致シマシテモ此ノ點ニ付テ熱心ニ現在研究ヲシテ居ルノデアリマス、實ヲ申シマス、内務省ト致シマシテハ昭和十二年カラ此ノ琵琶湖ノ利水ト申シマス、河水統制ニ付キマシテ研究ヲ致シテ居リマシテ、段々ト結論ニ近付キツツアルヤウニ思フノデアリマス、成ベク急ギマシテ結論ヲ得タイト考ヘテ居リマス、此ノ湖面ヲ低

下致シマス、自然ソコニ内湖ト申シマス、入江ト申シマス、其ノ干拓ト云フコトガ可能ニナツテ來ルノデハナイカ、只今御示シニナリマシタヤウナ數字ガ出ルカドウカ、ソコマデハツキリ申上ゲルニ至ツテ居リマセヌガ、或ル程度ニ於テ内湖ノ干拓ト云フコトガ湖面ノ低下ニ依ツテ考ヘラレル、而モソレハ治水ニ大ナル影響ヲ及ボスコトナシニ左様ナコトガ考ヘラレルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、又此ノ湖面ノ低下ト關聯ヲ致シマシテ、或ハ之ニ流レ込ム河川ノ砂防工事ヲ上流ニ於テヤル、或ハ又河川ノ上流ニ「ダム」ヲ造リマシテ農耕用水ヲ豊富ニスル、或ハ又現在アリマスル瀨田ノ洗堰ヲ改善スルト云フヤウナ事柄ハ、何レモ只今ノ琵琶湖ノ利水ト云フコトニ關聯シテ、當然起リ得ル問題ダト思フノデアリマシテ、是等ノ諸點ハ綜合的ニ現在私共ノ方デ研究ヲシテ居リマス、殊ニ滋賀縣トハ極メテ密接ニ聯絡ヲ保チマシテ、成ベク早く結論ヲ得マシテ、此ノ琵琶湖ノ治水竝ニ利水ト云フコトガ、竝ンデ行ハレルヤウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○服部(岩)委員 内務御當局ニ於キマシテモ、琵琶湖ノ治水或ハ利用等ニ付キマシテハ既ニ色々ト御研究サレテ居ルノデ、是ハ滋賀縣トモ御連絡ノアルコトトハ承知致シテ居リマスケレドモ、今日ノ場合斯ウ云フ資源ハ速カニ開發スル必要ガアルト一層痛感セザルヲ得ナイノデアリマス、殊ニ食糧關係ニ於キマシテハ今回農林當局ニ於キマシテ、農地開發案ヲ提案サレテ今審議中デアリマス、是ハ今後十年、十五年、或ハ五十年先ヲ見透シタ所ノ大計畫デアリマス、斯

ウ云フ計畫ト相俟ツテ是ガ進メラレナケレバナラスト思フノデアリマス、殊ニ現在無爲ニシテ放流サレテ居ル所ノ十六億立方「メートル」ト云フ水ヲ最高度ニ利用スルト云フコトハ、生産ノ擴充、發展、總テノ點カラ見テ必要デアリ、更ニ又之ニ依ツテ六千町歩近イ所ノ美田ガ出來ルノデアリマスカラ、是ハ速カニ調査研究ヲ遂ゲラレ、關係各省トモ能ク聯絡ヲ保タレマシテ、一日モ早く實現スルヤウニ希望ヲ致シテ置ク次第デアリマス、尙ホ滋賀縣ハ二千萬圓餘ノ經費ヲ治水ノ爲ニ投ジテ來タノデアリマス、固ヨリ其ノ額餘リ大キイトハ申上ゲルコトガ出來ナイノデアリマスケレドモ、貧弱ナル滋賀縣トシテハ相當ノ負擔ヲ致シテ來タルデアリマス、若シ此ノ湖面低下ニ依リマシテ干陸地等ノ生ズルコトノアル場合、今後ニ於キマシテモ相當地方地元縣ト致シマシテ、是等ノ施設ニ經費ガ掛ル問題デモアリ、色々ノ關係ニ於テ當然地元ノ縣ニ無償拂下ゲラサレルヤウニスベキモノデナイカト私共考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテモ豫メ御當局ノ意ノアル所ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス、又此ノ琵琶湖ノ治水ト云フコトノ關係ニ依ツテ、或ハ湖水ノ水ノ利用ト云フコトハ、主トシテ今後殘サレル問題ハ下流デアルト思ヒマス、京都ノ如キモ今後市ハ益々發展シテ參ルト思ヒマスルシ、大阪市ノ如キハ産業都市トシテ今後一層發展シテ行クノデアリマスカラシテ、上水道ノ關係ニ於キマシテ、或ハ又工業用水カラ見マシテモ、相當京都市及ビ大産業都市ノ大阪ノ如キハ、相當之ニ依ツテ今後發展サレルベキモノト考ヘマス、今日マデモ或ハ京都市或ハ京都府、或ハ大阪府、大

阪市ト云フモノガ、此ノ琵琶湖ノ治水ニ對シテ少カラザル負擔ヲ分擔シテ貰ツテ居ルノデアリマスガ、完全ナル此ノ湖水ノ利用ニ依ツテ、尙ホ今後大阪、京都兩市ノ如キハ、内務省關係ニ於テ相當御活動願ヘレバ、或ル程度マデハ其ノ負擔ニ堪ヘテ戴ケルモノデアルト、斯様ニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ方面ニ付キマシテモ常ニ御努力ハ願ツテ居リマスガ、尙ホサウ云フ點ニ付テ現下ノ時代ニ於テハ一層努力スルノニ咨カデナイト云フコトノ御意見ハ勿論御持チデアルト思ヒマスガ、御内意ノ程御漏ラシ戴ケレバ洵ニ仕合セト存ズル譯デアリマス

○村上委員 服部サン、遞信省ニ對スル質問モ御續ケ下サイ、成ベク簡單ニ願ヒマス

○服部(岩)委員 遞信省ノ電氣局長ニ御尋ネ致シマスガ、現在御承知ノヤウニ琵琶湖ノ水ヲ電力ニ用ヒテ居リマスモノハ、宇治川電氣或ハ京都ノ第二疏水ノ蹴上、夷川、伏見、是等ノ方面ニ利用サレテ居ルノデアリマシテ、大體今日デハ二千箇餘ノ水ガ是等ニ利用サレテ居リマス、此ノ湖面ヲ常水位ヨリ四尺五寸乃至五尺低下致シマシテモ、大正十一年乃至十三年ノ渇水期ニ於テ、其ノ取水ニ何等ノ支障ガナカツタノデアリマスガ、併シナガラ湖面ノ低下ニ依ツテ、十六億立方「メートル」ノ水ヲ完全ニ貯水致シマシテ、之ヲ平時ニ均分シテ利用スル場合ニ於キマシテハ、現在ノ大體倍位ノ水ガ其ノ方面ニ利用サレハシナイカ、現在二千乃至二千五百ト云フノガ五千程度マデノ水ガ利用出來ルヤウナ計數ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ電力飢饉ノ場合ニ於キマシテ、十六億立方「メートル」ノ水ヲ完全ニ利



用シテ行ク上カラ見マシテ、無論遞信當局トシテハ御希望ニナツテ居ルト思ヒマスガ、私ハ此ノ無爲ニ放流サレテ居ル所ノ水ヲ遞信省ト致シマシテモ内務省ニ協力シテ、之ヲ最高度ニ利用スル御方針デアラカドウカ、此ノ點ヲ御伺ヒテ致シテ置キタイト思フノデアリマス、内務省並ニ電氣局長ノ御意向ヲ承リタイト存ジマス

○成田政府委員 御尋ネハ二ツニ分レテ居ツタト思ヒマス、先ヅ第一ハ干拓地ハ地元ニ無償テ拂下ゲテ貫ヘスカト云フヤウナ意味ニ拜承シタノデアリマス、干拓ノ事業ハ、何處デヤラレマスカ、國デヤルトシテモ、或ハ農林省デヤラレマスカ、或ハ今度ノ開發營團ト云フヤウナモノデヤラレマスカ、或ハ縣デヤルカ、事業主體ガ決リマセスト直グニ御答ヘハ出來ナイト思ヒマス、ソレカラ第二番目ニハ此ノ琵琶湖ノ利水ト云フコトニ依ツテ、下流ノ京都トカ大阪ガ相當ナル利益ヲ受ケルノデアルカラ、此ノ事業ノ費用ニ付テハ負擔サセルノガ宜イト思フガドウカト云フ意味デアツタト存ジマス、此ノ點ニ付キマシテハ全ク御同感デアリマシテ、下流地方ニ於キマシテハ、其ノ利用ノ程度其ノ他ヲ參酌致シマシテ、適當ナル費用負擔ヲスベキモノデアルト考ヘテ居リマス

○森政府委員 琵琶湖ノ水ノ利用ヲ擴張スル意味ニ於テ色々御示シガアリマシタガ、遞信省ト致シマシテモ、特ニ關西方面ニ於ケル各發電所ノ十分ナル貯水池ヲ持ツタモノガ少イ爲ニ、冬季並ニ電力需要ノ盛ナル時期ニ於テ、水力發電ノ低下ヲ來シ、火力發電ヲ餘計ニシナケレバナラヌト云フ實情ニ鑑ミマシテ、湖水ノ利用出來ルモノガ

アルナラバ、之ヲ利用シナケレバナラヌト云フコトハ、最近ノ電力ノ状況カラ致シマシテモ、特ニ必要ヲ感ジテ居ル次第デゴザイマス、只今御示シガアリマシタヤウナ宇治川電氣或ハ京都市ノ發電所ニ於キマシテモ、現在ノ水ノ使ヒ方デハマダ發電所ノ設備一杯ニ利用シテ居リマセスト、是ハ十分ニ調査シテ見ナケレバ分リマセヌガ、現在ヨリモ更ニ琵琶湖ノ水ヲ十分ニ使ヒマシヤウナ工合ニ問題ガ解決致シマスナラバ、一層ソレ等ノ發電所ヲ利用致シマシテ、有效ニ發電出來ルト考ヘマスノデ、遞信省ト致シマシテモ此ノ問題ニ付テハ、内務省其ノ他ノ官廳ト協力致シマシテ、十分問題ノ解決ニ努力致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○服部(岩)委員 琵琶湖ノ治水並ニ將來ノ計畫及ビ利用ニ付テ御當局ノ御意見ノ程ハ明瞭ニナリマシタ、一日モ速カニ實現サレルヤウニ御當局ノ方ニ希望致シテ置ク次第デアリマス、尙ホ最良ニ農林、内務、遞信是等ノ特ニ關係ノアル當局ニ於カレマシテハ十分ナル連絡ヲ御取り下サイマシテ、一日モ早く是等ガ高度國防國家建設ノ爲ニナラヤウニ切ニ希望シテ、私ノ内務遞信兩省ニ對スル質問ヲ終リマス

○村上委員 次ニ平野君ニ土木局長ニ對スル質問ヲ許シマス  
○平野(力)委員 私ハ農地開發法案ガ愈々實施サレルコトニナリマシタ曉ニ於ケル内務省ノ土木局、就中河川課方面ニ關スル問題ニ付テ二三承ツテ置キタイト思ヒマス、從來農民ノ灌溉水ト河川ノ問題ハ不可分ノ問題デアリマシテ、是ガ農業生産ニ及ボス影響ノ重大ナルコトハ敢テ私ガ多言ヲ申上ゲ

ル必要ノナイコトデアリマス、然ルニ從來ニ於キマシテハ、食糧増産政策等ガ重要視サレテ居リマシタガ、今日ノ如ク焦眉ノ急トシテ取上ゲラレタル結果、河川ノ運用、利用ト云フモノト、農民ノ灌溉水ト云フ問題ガ屢々衝突シテ參リマシタコトハ、是亦御承知ノコトデアラウト思フノデアリマス、ソコデ具體的ニ從來一番問題ニナリマシタノハ、水力發電所ノ設定ノ場合ニ於キマスル所ノ「ダム」ト、農民ノ灌溉水ノ問題デアリマスルガ、之ニ付テハ從來屢々種々ナル問題ガ起ツタノデアリマスケレドモ、從來ニ於キマシテハ電力ヲ多ク發電スルト云フコトニ重點ガアリマシテ、ソレカラ被リマス所ノ農民ノ灌溉水ノ迷惑ト云フコトハ、其ノ時ニ於キマスル補償制度デアルトカ、或ハ何等カノ方法ニ依リマスル所ノ一時的便法ニ依ツテ是ガ解決ヲシテ來タト云フコトハ、其ノ問題自體ハソレニ依ツテ解決シタデアリマセウケレドモ、農業生産ト云フモノニ對シテハ、相當重大ナル關係ヲ持ツタコトハ申上ゲルガデモナイコトデアリマス、ソコデ此ノ法案ガ施行サレマシテ、今後農地ガ段々開發サレテ行キマス途上ニ於キマシテハ、當然之ヲ運用セラレマス所ノ農林當局ト、内務省ノ河川ヲ管理サレマス所ノ土木局ノ間ニ於キマシテハ、極メテ密接ナル關係ヲ持ツテニ對スル所ノ對策ヲ立テナケレバナラナイト考ヘルコトデアリマスルカラシテ、之ニ對スル兩省ノ十分ナル打合せガ出來テ居リマスルカドウカト云フコトガ質問ノ第一點デアリマス、ソレカラ第二點ノ質問ハ、今申上ゲマシタ點ハハ消極的ナ意味ニ於テデアリマスルガ、更ニ積極的ナ意味ニ於キマシテハ、

我が國ノ農地ノ開發ト水力電氣ノ問題ニ於キマシテハ、出來マスル所ノ「ダム」ヲ利用致シマシテ、更ニソレヲ利用シテ農耕地ノ開發ヲ行ハウト云フヤウナ問題ガ十分研究ヲ遂ゲラレマスルナラバ、是ハアリ得ルコトデアラウト思フノデアリマス、隨テ當局ニ於キマシテハ、此ノ點ニ付テ相當ナル研究ヲ遂ゲテ居ラレルカドウカ、現ニ諸外國等ニ於キマシテハ、此ノ「ダム」ヲ利用致シマシテ、農耕地ニ對スル所ノ灌溉水トシテ利用シテ居ルト云フヤウナ例モアルト云フコトモ聞イテ居リマス、支那ニ於キマシテモ黃河ヲ大キナル貯水池ニ致シマシテ、北支、蒙疆ノ灌溉ヲスルト云フヤウナ大計畫モ或ル人ニ依ツテ計畫サレテ居ルト云フコトヲ聞クノデアリマスルガ、我が日本ノ内地ニ於キマシテモ、水力電氣ノ「ダム」ト農耕地ノ問題ヲ睨合ハセマシテ、適當ナル所ノ一舉兩得ナル考ヘ方ト云フモノヲ、内務省ノ土木局ニ於テ相當御考ヘニナツテ居ルカドウカト云フコトヲ承リ、且ツ之ニ對シテ具體的ニ此ノ地方ニ於テハ斯ウ云フヤウナ計畫ガ出來テ居ル、又此ノ地方ニ於テハ斯ウ云フヤウナ研究ガ遂ゲラレテ居ルト云フヤウナ内容ガアリマスルナラバ、此ノ際御發表ヲ願ツテ置キマスルコトガ、吾々ガ本案ヲ審議スル上ニ於テ大變便宜デアルト考ヘマスノデ、此ノ二點ノ御答辯ヲ得テ置キタイト思ヒマス

○成田政府委員 只今御述べニナリマシタヤウニ、最近生産力ノ擴充ト云フ見地カラ致シマシテ、都市工業地帯ニ於ケル水道或ハ工業用水、ソレカラ農村ニ於キマシテハ農業用ノ灌溉用水ト云ツタヤウナ意味合ニ於ケル河水ノ需要ガ非常ニ増加シテ參ツテ

居リマス、又一面ニ於キマシテハ、水力發電ノ源泉ト致シマシテ水ノ利用、是ガ又急激ニ増加シテ居ルノデアリマス、内務省ニ於キマシテハ、河川ヲ管理シテ居リマスル官廳ト致シマシテ、一面ニ於テ治水ノ立場カラ之ヲ考ヘ、又一面ニ於キマシテハ只今申上ゲマシタ各種ノ利水ト云フ方面モ考ヘテ計畫モシ、事業モヤツテ居ルヤウナ次第デアリマス、是等ノ仕事ヲ致シマス上ニ於キマシテハ、固ヨリソレノ關係ノ役所ト十分ナル連絡ヲ取ツテ居ルノデアリマス、即チ發電ニ付キマシテハ逓信省ト

是ハ殆ド毎月或ハ隔月ニ兩省ノ關係者ガ集マリマシテ、具體的ノ計畫ニ付テ相談ヲシ合ツテ居リマス、又農林省トノ關係ニ於キマシテハ、隨時打合セテ致シマシテ、其ノ間ニ意見ノ扞格ノナイヤウニ、又齟齬ノナイヤウニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、今回農地開發法案ガ出マシテ、此ノ法案ガ制定セラレマシタ曉ニ於キマシテハ、農業用水ノ問題ニ付キマシテ、河川ヲ預ツテ居リマスル内務省トノ間ニ一層緊密ナル連絡ヲ圖ツテ行カケレバナラヌト云フコトハ、只今御指摘ノ通りデアルト考ヘルノデアリマス、之ニ付キマシテハ既ニ話合モシテ居リマスルシ、今後然ラバ具體的ニ如何ナル方法ヲ連絡ヲ取ルカト云フヤウナコトニ付テ相談ヲ致シマシテ、十分ナル連絡ヲ取ルヤウニシテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、更ニ又今御指摘ニナリマシタヤウニ、發電用ノ水ノ利用ト農業用ノ水ノ利用ト云フ點ヲ如何ニスルカト云フ問題ガアルノデアリマシテ、是ハマダソノコトマデ具體的ニ考ヘテ居リマセヌガ、關係ノ省ガ皆集マツテ相談ヲスルト云フヤウナコトガ一層望マシ

ダアリマス  
ソレカラ第二ノ御質問ト致シマシテ、内務省トシテハ「ダム」ヲ作ツテ河川ノ利用ヲ圖ルト云フコトニ付テドウ云フ調査ヲシテ居ルカト云フ御尋ネデアツタト存ジマス、之ニ付キマシテハ、多分御承知カト存ジマスガ、昭和十二年カラ河水統制調査ノ費用ト云フモノヲ戴キマシテ、全國ノ重要河川六十四河川ニ付キマシテ、其ノ川ニ於キマスル雨量、或ハ水量、或ハ水位、又「ダム」ヲ作ル如何ナル良イ場所ガアルカト云フヤウナコトヲ具體的ニ調べテ致シテ居リマス、此ノ中ニ於キマシテハ、既ニ地元ノ縣ニ於テ河水統制ノ事業ニ着手シタモノモアルノデアリマス、又昨年昭和十五年ノ追加豫算ト致シマシテ、中國地方其ノ他ノ旱害地域ニ對スル旱害恒久對策トシテ、斯様ナ「ダム」ヲ築造スルト云フコトガ宜イノデハナイカト云フコトデ、之ニ對スルヤハリ調査費ヲ戴イテ居リマス、此ノ調査費ニ依リマシテ、中國、四國、九州ヲ通ジマシテ十七河川ニ付キマシテ、目下調査ヲシテ居ルノデアリマス、而シテ此ノ中國費ヲ以テ補助ヲシテ工事中ニ屬スルモノハ、是ハ何レモ旱害地方ガ多イノデアリマスルガ、山口縣ノ厚東川、或ハ廣島縣ノ黑瀬川、岡山縣ノ旭川、是ガ十五年度ノ豫算ニ計上セラレテ居リマス、ソレカラ十六年度ニ於キマシテ、既ニ是ハ御協賛ヲ經テデアリマスルガ、愛媛縣ノ加茂川、或ハ大分縣ノ大野川、是等ノ河川ニ付キマシテハ國庫カラ補助ヲ出シテ致シテ居ルノデアリマス、又府縣單獨費ヲ以テ既ニ事業ヲヤツテ居リマスルモノノ例ヲ申上ゲマスレバ、神奈川縣ニ於ケル相模川、山口縣ニ於ケル錦川、福岡

縣ノ遠賀川、宮崎縣ノ小丸川、京都府ニ於ケル桂川、群馬縣ノ利根川上流、斯ウ云フモノニ付キマシテハ、既ニ縣ニ於テ事業ヲヤツテ居ルヤウナ状態デアリマス、大體以上ヲ以テ御答ヘテ致シマス  
○村上委員長 陸軍カラ石川主計中將ガ政府委員トシテ出席サレテ居リマス、軍ニ對スル御質問ヲ此ノ際ニ許スコトニ致シマス——先ツ須永君

○須永委員 總力戰ト云フ言葉ニ依ツテ、支那事變勃發以來農村方面ニ於キマシテハ、此ノ事變ガ何年續カウト、食糧ノ問題デ引ケハ取ルマイト云フ決心ノ下ニ増産ノ計畫ヲ立テ、而モ生産維持ノ爲ニ全力ヲ擧ゲテ參ツタノデアリマスルガ、殘念ナガラ一昨年朝鮮及ビ中國地方ノ一大旱魃ニ出遭ヒマシテ、昨年ノ米穀ノ需給推算ノ上ニ非常ナ齟齬ヲ來シマシテ、食糧ノ問題ガ漸ク憂慮スベキコトトナリ、是ガ問題トナツテ參リマシタノデ、是ハ吾々食糧生産ニ當ル者ノ實ニ殘念デアツタ問題デアリマス、昨年ノ議會ニ於キマシテ、米ニ關スル法案ノ委員會議デ、初メテ節米ノ問題ガ取上ゲラレテ、非常ニ喧シク論議サレタノデアリマス、當時内地ノ各方面ニ於テハ、七分搗米乃至胚芽米等ガ獎勵サレテ居ルノニモ拘ラズ、節米ナドト云フコトハマダ行ハレテ居リマセヌデ、恐ラク昨年ノ今頃ハ、マダ議會ノ食堂デ七分搗ノ米ヲ厭ヤク「ナガラ食フヤウナ状態デアツタノデアリマス、併シ節米運動ヲ徹底的ニヤラナケレバナラヌト云フ必要ハ、モウ迫ツテ居ツタノデアリマスガ、其ノ委員會ノ席上ニ於キマシテ、軍ノ節米方法ハドウデアアルカト尋ネマシテ、陸海軍カラ、軍ニ於ケル節米方針ト云フモノヲ、資

料トシテ提出セラレマシタ、私共ハソレヲ拜見シタノデアリマスガ、實ニ第一線ノ劇務ニ從ツテ居リマス將兵諸士ニ、節米ノ問題ヲ御願ヒシナケレバナラヌ、而モ明日ノ命モ分ラナイ立場ニアル者ニ、食ヒ慣レタ日本米ヲ十分ニ食ベサセラレナイト云フコトニナリマス、洵ニ申譯ナイト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ米ノ問題ガ論ゼラレル度ニ、私共ハ軍ノ補給ハ如何ニ行ハレテ居ルカト云フコトニ付テ、心配セザルコトハナイノデアリマス、此ノ機會ニ於キマシテ、此ノ委員會ガ曩ニハ米ノ臨時措置ニ關スル法案ヲ審議シ、又土地開發ノ問題ヲ今審議スルニ當リマシテ、私共ハ尙ホ本年ニ於キマシテモ——、昨年斯クシテ第一線ノ將士ニマデ、節米ヲ御願ヒスルヤウナ事態ニナツタコトヲ洵ニ申譯ナイト考ヘ、來年コソハ吾々ガ増産ヲヤツテ、一ツ斯ウ云フ問題ナシニ、少クトモ第一線ノ將士ニダケハ食ヒ慣レタ日本米ガ食ベテ貰ヒタイ、斯ウ考ヘテ増産ニ努力シテ居ツタノデアリマスガ、中々思ツタヤウニハ參ラナイノデアリマス、ソコデ私共ハ最近ニナツテ、尙ホ軍ニ於テモ相當節米ガ講ゼラレテ居ツテ、サウシテ第一線ノ將士ニ至ルマデ、代用食ノ使ヘルモノハ之ヲ使フト云フ方針ノ下ニ、或ハ粟飯ヲ食フ話モ聞キ、或ハ其ノ他ノ雜穀ヲ混ゼテ食ベテ居ル話モ聞イテ居ルノデアリマス、併シナガラ軍ノ食糧全體カラ吾

吾ガ考ヘテ見マスルナラバ、假ニ二百万ノ兵ガアルト假定シテ見マシテモ、日本ノ八千万ノ人口ニ比ブレバ、僅カ四十分ノ一人口デス、壯年ノミデ組織サレテ居ルト申シマシテモ、先ツ平均ノ倍量ヲ食ベルト見テモ、二十分ノ一ニ過ギナイノデアリマス

吾ガ考ヘテ見マスルナラバ、假ニ二百万ノ兵ガアルト假定シテ見マシテモ、日本ノ八千万ノ人口ニ比ブレバ、僅カ四十分ノ一人口デス、壯年ノミデ組織サレテ居ルト申シマシテモ、先ツ平均ノ倍量ヲ食ベルト見テモ、二十分ノ一ニ過ギナイノデアリマス

〔委員長退席、吉植委員長代理着席〕

ソコデ軍ノ食糧ト云フモノハ、節米ノ精神ヲ飽クマデモ持つテ下サルコトハ結構デアリマスケレドモ、斯ウ長ク食糧問題ガ恆久的ニナツテ参リマシレバ、而モ國內ニ於ケル節米運動ガ徹底シテ來レバ、私共ハ軍ノ食糧ニ付テハ、少クトモ食ベ慣レタ日本米ガ十分ニ食ベラレルヤウナ計畫ヲ立テテ貫クノガ宜イノデハナイカ、昨年ニ於キマシテ此ノ節米方針ト云フコトガ、日本ノ内地デ論ゼラレテ來マシタ時ニ、軍ハ斯クノ如キ節米方針ヲ執ツテ居ルノダト云フコトガ、ドノ位内地ノ人ノ節米運動ニ刺戟ヲ與ヘタカ知レナイト思フノデアリマシガ、併シ是ガ長引クニ連レテ考ヘテ見マシレバ出征兵士ヲ戰地ニ出シテ居ル家族達カラ考ヘテモ、ドウモ粟ヤ稗ヲ混ゼタモノヲ毎日食ベテ居ルト考ヘルコト自體ガ、既ニ心配ヲ一層増シテ居ル、ソコデ私ハ節米ノ精神ヲ軍ニ於テ持つテ戴クコトハ結構デアルガ、少クトモ兵ガ食ベ慣レタ日本米ヲ十分ニ食フコトガ出來ナイデ、意氣沮喪スルヤウナコトガアツテハナラナイト思ヒマシ、又若シモ節米等ノ爲ニ、サウ云フコトモアルマイト思ヒマシガ、榮養ガ思フヤウニ攝レナイデ、榮養不良カラ起ル所ノ胸ノ病氣等ガ、多クナルト云フヤウナコトニマデ來ルヤウナコトガアリマシナラバ、是ハ食糧生産ニ當ツテ居ル所ノ農村ノ、實ニ大キナ責任デアルトモ考ヘルノデアリマシ、ソコデ此ノ機會ニ一ツ軍ノ當局カラ、殊ニ外地ニ出征シテ居リマシ軍人諸君ニ對スル食糧ノ問題ハ、決シテ無理ヲシテ居ラナイ、若シ節米ノ爲ニ無理ヲスルヤウナコトガアルナラバ、是カラハ大イニ内地ノ節米ヲモウ少シ強化シ

テ、僅カ二十分ノ一人ノ人數ニシカ、最大限ニヤツテモ當ラナイ、一人ガ十分ニ日本米ヲ食ベテ見タ所デ、之ヲ各人ノ食糧ニシテ見マシレバ、三割混食シタモノヲ三割五分混食ヲスレバソレデ足リルノデアリマシカラ、内地ノ節米ヲ強化シテモ、戰地ニ居ル將兵諸士ニハ決シテ無理ナ節米ハサセナイト云フコトガ、必要デアルト思フノデアリマシ、之ニ付キマシテ軍當局カラ、是非出征者ノ食糧ヲ案ジテ居ル銃後ノ家族達ニ、安心ヲ與ヘラレルヤウニ願ヒタイ、内地ノ人々ト立場ヲ異ニシテ、明日ハドウナルカ知レナイ危険ヲ服務ニアリマシ者ガ、サウ節米ヲシナケレバナラヌト云フコトハナイ、勿論其ノ精神ハ持つテ居ツテモ、國內ノ節米ヲ強化スレバソレデ足リルノデアリマシカラ、軍當局ニ於キマシテモ内地ノ國民ニ對スル義理合デ、軍ノ節米ヲ強化シナケレバナラヌト云フ考ヘデナシ、十分ナル榮養ヲ供給トシテ戴クコトガ、私共ノ念願デアリマシノデ、此ノ機會ニ軍當局ノ軍ニ於ケル食糧ノ方針ト、且ツソレハ決シテ案ズルヤウナモノデアナイヤウニスルト云フコトニ付キマシテ、御見解ヲ承リタイト思フノデアリマシ

ルノデアリマシ、隨テ米ガ自由ニ取レルト云フ場合ニ於キマシテモ、或ル場合ニハ粟ト一緒ニ食ベサシタリ、或ハ高粱或ハ玉蜀黍ナドト一緒ニ炊爨致シマシテソレヲ食ベサシ、或ハ一週間ニ一回、二回「パン」食ヲ喫食セシメ、漸次ニ兵ノ嗜好ヲ誘致シ、且之ニ慣熟セシメ、戰時作戰行動ニ些ノ支障ヲモ生ゼシメナイヤウニ日頃カラ訓練ヲシテ居ルノデアリマシ、隨テ是等ノコトハ事變前ニ於キマシテハ、節米ト云フ意味カラデハナクシテ、主トシテ軍ノ教育訓練上ノ必要カラ實行致シテ居リマシタモノデアリマシ、所ガ近年ニナツテ國內ニ米ノ不足ヲ來タス狀況ニナリマシタノデ、今度ハ從來カラノ訓練ノ外ニ節米ト云フ意味ヲモ其ノ中ニ加味サレテ來タノデアリマシ、戰地ノ將士ト致シマシテハ新聞ヤ家郷カラノ便利ナドニ依ツテ、内地ノ狀態ガ逐一反映致スノデアリマシテ、米ノ問題ニ致シマシテモ内地ニ於テハドウカト云フコトニ付テ、非常ニ心配ヲ致スノデアリマシ、隨テ團隊長以下軍隊ヲ統率シテ居リマシ各級指揮官ハ固ヨリ、第一線ノ兵士ニ至リマシマデ決シテ厭ヤク「ナガラデハ、ナク、進ンデ自分等モ出來ルダケノ協力ヲシテ、内地ノ食糧ニ事缺カヌヤウニシナケレバナラヌト云フ念願ヲ強ク持つノデアリマシ、是アタリハ私共内地ニ居リマシ者ト致シマシテ、戰地ノ者ニ對シテ常ニ感謝致シテ居ル所デアリマシ、軍用米ハ事變ガ始マリマシテカラ暫クシテ、農林省ノ方カラ一括シテ供給ヲ受ケテ居リマシ、ソレハ内地米デアリマシガ、尙ホ拓務省關係ニ於キマシテ、朝鮮、臺灣ノ米ノ供給ヲ受ケテ之ヲ戰地ニ送ツテ居リマシ

「糧ニ敵ニ據ル」ト申シマシテ軍ハ現地デ自活ヲスルコトガ、作戰給養上ノ原則ニナツテ居ルノデアリマシテ、此ノ事變ニ於キマシテモ勿論此ノ原則ニ變リハアリマシ、十分其ノ方針ヲ運用シヨウト思ツテ居ルノデアリマシケレドモ、作戰ノ關係トカ、占據地域ノ狹隘、其ノ他治安等ノ關係カラ今マデノトコロハ主トシテ内地、朝鮮、臺灣等カラノ追送ニ依ラネバナラナカツタノデアリマシ、併シナガラ漸次年ヲ重ネルニ從ヒマシテ占據地域内ニ於ケル治安工作ノ進展ニ伴ヒ、調達上ノ便宜ガ多クナリマシテ、十五年度詰リ作戰第三年ニ於テハ、中支ハ殆ド八、九割ヲ現地ノ米デ賄ツテ行ケルヤウニナリマシタシ、北支ノ方モ初メノ内ハ利用スベキ米ガゴザイマセヌデシタガ、漸次陸稻モ作ラセ、水利ノ便ナル所ハ水田ヲヤラセルト云フコトニ致シマシテ、是モ半分バカリハ現地ノ米デ賄フコトガ出來ルヤウニナツタ次第デアリマシ、南支ノ方ニ於キマシテハ、是モ米ガ出來ル所デアリマシケレドモ、住民ノ食糧ヲ考ヘマシト、軍バカリガ利用スル譯ニモ行カナイノデアリマシテ、是モ半分バカリハコツチカラ追送シナケレバナラナイコトニナツテ居リマシ

〔吉植委員長代理退席、委員長着席〕

併シナガラ十六年度ニ於キマシテハ、大體ノ方針ハ、中支ハ全部現地ノモノデ賄ハセル、北支ハ二割ヲ追送スル、南支ニ對シテハ三割ヲ追送スルト云フコトガ、略、可能ナ見込ガ付イテ居リマシノデ、ソレダケ内地ノ米ヲ節約シ得ルト云フコトニ相成ル次第デアリマシ、併シナガラ向フノ米モ、中支ノ松江米ノ如キハ、内地ノ米ト殆ド優劣

ガナイト云フノデアリマスケレドモ、多クノモノハ所謂南京米デアリマシテ、味ガ惡イモノデアリマスカラ、内地カラ送ツタ米ト混ゼテ食ハセナケレバ、嗜好ニ適サスト云フコトガアリマス、併シナガラ大體ニ於テ多クノモノヲ現地デ穫ラセテ、ソレデ自活スル、ソレダケハ内地ノ米ノ節約ガ出來ルト云フコトニナル譯デアリマス、又榮養上ノ見地カラ申シマシテモ、ソレガ爲ニ保健上憂慮スベキ状態ハ毫モ起シテ居リセマス、其ノ點ハ一般國民ニ於カレマシテモ、ドウゾ御安心ヲ才願ヒ致シタイノデアリマス

○村上委員長 成島君  
○成島委員 先日此ノ法案ガ本會議ニ上程ノ時ニ、釘本君カラノ質問ニ對シテ、陸軍次官ガ、軍ハ食糧増産ニ協力ヲスル、既ニ今デモ農繁期ニ於テハ、教育ノ程度ニ差支ヘナイ範圍ニ於テ歸農サセテ居ルト言ハレマシタ、其ノ歸農サセテ戴クコトニ付キマシテハ、私共ハ非常ニ感謝シテ居リマスガ、ソコデモウ一寸御意見ヲ拜聽シタイト思フノデアリマス、具體的ニ申シマスレバ、例ヘバ或ル村ナリ町ナリニ部隊ガアツテ、其ノ村ナリ町ナリデ増産施設トシテ、相當大規模ニ開田、開畑ヲ行ヒ、而モ其ノ仕事ハ本年ノ間ニ合ハス、十六年ノ生産ノ爲ニヤル、速カニ其ノ工事ヲ施セバ十六年ノ米ガ生産出來ル、而モ其ノ開畑、開田ヲスル爲ニハ、大キナ堤防ガ必要タ、而モ其ノ堤防ハ急速ニ造ラナケレバナラス、其ノ際ニ其ノ町ナリ村ニ居ラレマス部隊ノ應援ヲ得マシテ、ソコニ十ノ力ノ兵隊サンガ居リマスレバ、二ツツツ五日間、或ハ三ツツツ三日間ト云フヤウニ、力ヲ出シテ戴クコトニナリマスレバ、獨リ其ノ仕事ノ能率ガ上

ルバカリデナク、又一方地元民ニ對シマシテモ、兵隊サンガ協力シテ呉レルト云フ意味ニ於テ、又増産ニ對スル精神的運動ニ於テモ、非常ニ效果ガアルト思フノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテ一ツ御意見ヲ拜聽シテ見タイト思ヒマス

○石川(半)政府委員 私ガ擔當致シテ居リマス職域カラ少シ出マスルノデ、政府委員トシテ私ノ口カラ責任ノアルオ答ハ一寸申上ゲ兼ネルト思ヒマスガ、大體ニ於キマシテ、兵隊ヲ人夫代リニ使フト云フヤウナ場面デハ、兵力ヲ出シ兼ネルトハ申上ゲルマデモナイト思ヒマス、併シナガラソレヲヤルコトガ、兵隊ノ演習ニモ兼ネテ效果ガ舉ガル——例ヘバ壕ヲ掘ルトカ、サウ云フ作業モ無論軍隊ニハアルノデアリマス、橋梁ヲ造ルト云フコトモ、工兵隊アタリハ演習トシテヤツテ居リマス、或ハ石ガアツテ邪魔ニナルカラ、道路ヲ開イテ石ヲ退ケタイ、是ハ工兵隊ノ爆破作業トシテ、演習ニ於テハヤツテ居ルノデアリマス、サウ云フコトハ從來トモヤツテ居ツタコトガゴザイマス、是等ハ何レモ軍隊教育ノ目的ヲ持ツ演習トシテ實施サレル場合デアリマシテ、唯兵隊ヲ貸スカラドウゾ御使ヒ下サイト云フヤウナ事ハ軍隊ノ本質上許サレヌコトト思フノデアリマス、歸農ヲサセテ援助サセルト云フコトハ、是ハ休暇デアリマシテ、サウシテ歸ツテ家ノ手傳ヒヲスル、斯ウ云フノデゴザイマスカラ、教育上妨ゲガアルト云フノデアリマセス、教育訓練ニ妨ゲノナイ範圍内ニ於テ許可ヲ與ヘタノデアリマスルカラ是ハ宜シイノデアリマス

○村上委員長 吉植君  
○吉植委員 私ハ此處ニ數字其ノ他ニ付キマシテハ、過般豫算總會ニ於ケル祕密會ノ席上デ、農林大臣ガ言ハレタコトニ觸レマスカラ、一切省略シマシテ、文書ニ認メテ持ツテ參リマシタカラ、後デ見テ戴キタウゴザイマス、今日農林當局ガ計畫セラレテ居リマス肥料ガ、硫安ニ於テ米麥中心主義デハ割五分、其ノ他ニ於テ六割五分ト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ過般來到ル處ノ委員會ニ於キマシテモ論ジ盡サレマシタ通りニ、米ガ我が農産物ノ中デ一番安イ今日、其ノ一番安イ米ヲ中心ニ八割五分與ヘテ、其ノ他ノ高價格デアリマス農産物ニ對シテ六割五分ヲ與ヘルト云フコトハ、机ノ上デハ出來マスガ、實際ニ臨ムト、全農民ガ悉ク頭ノ天邊カラ足ノ先マデ、高度國防國家ノ理念ガ入りマシタ曉ハイザ知ラズ、中々是ハ實際ニ於テハ容易ナラナイ實行困難ナコトデアリマス、隨テ政府當局ノ此ノ八割五分乃至六割五分ノ肥料ヲ施ス方針ト云フモノハ、言フベクシテ實行ガ中々出來ナイ問題デゴザイマス、ソコデ政府當局ニ向ヒマシテモ、ドウカ硫安ノ増産、石灰窒素ノ増産ト云フコトヲ、モット徹底的ニヤツテ戴キタイト、私共屢、公私ノ席上デ御願ヒヲシタノデアリマス、昨年來軍需材ニ準ジテ、電力、石灰肥料製造ノ方ニ振り向ケテ貰フト云フコトガ、軍ノ御發意ニ依ツテ出來上ツテ居リマス、今日是レ以上軍ノ方ヘ無理ヲ御願ヒ致スコトハ、容易ナコトデナイト云フヤウナ、御考ヘデ居ラレル様子デアリマス、併シ此處テ尙ホ此ノ際一言申上ゲマスト、昨年閣議デ決定ニナリマシテ、今申上ゲマシタヤウナ方針ニ電力、石灰其ノ他ノ資材ヲ配給ニナリマスノハ、是ハ硫安製

造ニ止マツテ居リマシテ、石灰窒素、過燐酸製造ニハ參ツテ居リマセス、生産擴充品目ニ此ノ二ツハ漏レテ居リマス結果、石灰窒素ハ餘剩電力デ製造セラレテ居リマス、資材ノ如キモ大體二割五分ヨリ配給ニナツテ居リマセス、又硫安ノ方モ「パーセン」ニ參ルト云フコトハ、資材其ノ他ガ實行ニナツテ居リマセス、之ヲ設備ガ十分ゴザイマスノデ、ヤハリ軍需材ニ準ジテ、此ノ一切ノ電力、石灰資材ト云フモノヲ配給スル、今不足シテ居リマス硫安ノ方ノ配給モ、之ヲ十分ニシテ戴クト云フコトニナリマス、此處デ安心シテ農民ハ肥料ヲ使フコトガ出來ルコトニナリマシテ、増産計畫ガ實際ニ於テ大丈夫ト云フ段取ニナルノデアリマスガ、今ノ所ハ只今申上ゲマシタヤウナ工合ニナツテ居リマス、ソコデ軍ノ方ニ御伺ヒシタイコトハ、此ノ硫安並ニ石灰窒素、過燐酸ノ製造ト云フモノハ、食糧増産ノ根幹ヲナスモノデゴザイマス、此ノ根幹ニ十分ナル肥料ヲ與ヘルコトガ出來ナイト云フコトニナリマス、ヤハリ外米依存ト云フコトニナツテ、多額ノ國幣ヲ海外ニ出シテ外米ヲ持ツテ來ルコトニナリマス、然ルニ此ノ根幹ノ肥料ノ増産ノ爲ニ、軍需製造ト云フ方ヲ多少節セラレマシテモ、此ノ方ニ全力ヲ注グコトガ出來ルヤウニシテ戴キマス、其ノ結果秋ニナリマシテ、多額ノ國幣ヲ外米ノ爲ニ費スコトガ、ウント減ルコトニナツテ參ルノデゴザイマシテ、將來ニ多額ノ國幣ヲ出スヨリハ、今日軍需ノ方面ニ於キマシテ、重要ナラザルモノナシデゴザイマセウガ、其ノ中デモ緩急所ヲ得シムルコトガ或ハ出來ルカト考ヘマスト、サウ云フ方面カラ積極的ニ、軍ノ方カラ電力、石灰其ノ他ノ資材ノ配給ヲ、此ノ

造ニ止マツテ居リマシテ、石灰窒素、過燐酸製造ニハ參ツテ居リマセス、生産擴充品目ニ此ノ二ツハ漏レテ居リマス結果、石灰窒素ハ餘剩電力デ製造セラレテ居リマス、資材ノ如キモ大體二割五分ヨリ配給ニナツテ居リマセス、又硫安ノ方モ「パーセン」ニ參ルト云フコトハ、資材其ノ他ガ實行ニナツテ居リマセス、之ヲ設備ガ十分ゴザイマスノデ、ヤハリ軍需材ニ準ジテ、此ノ一切ノ電力、石灰資材ト云フモノヲ配給スル、今不足シテ居リマス硫安ノ方ノ配給モ、之ヲ十分ニシテ戴クト云フコトニナリマス、此處デ安心シテ農民ハ肥料ヲ使フコトガ出來ルコトニナリマシテ、増産計畫ガ實際ニ於テ大丈夫ト云フ段取ニナルノデアリマスガ、今ノ所ハ只今申上ゲマシタヤウナ工合ニナツテ居リマス、ソコデ軍ノ方ニ御伺ヒシタイコトハ、此ノ硫安並ニ石灰窒素、過燐酸ノ製造ト云フモノハ、食糧増産ノ根幹ヲナスモノデゴザイマス、此ノ根幹ニ十分ナル肥料ヲ與ヘルコトガ出來ナイト云フコトニナリマス、ヤハリ外米依存ト云フコトニナツテ、多額ノ國幣ヲ海外ニ出シテ外米ヲ持ツテ來ルコトニナリマス、然ルニ此ノ根幹ノ肥料ノ増産ノ爲ニ、軍需製造ト云フ方ヲ多少節セラレマシテモ、此ノ方ニ全力ヲ注グコトガ出來ルヤウニシテ戴キマス、其ノ結果秋ニナリマシテ、多額ノ國幣ヲ外米ノ爲ニ費スコトガ、ウント減ルコトニナツテ參ルノデゴザイマシテ、將來ニ多額ノ國幣ヲ出スヨリハ、今日軍需ノ方面ニ於キマシテ、重要ナラザルモノナシデゴザイマセウガ、其ノ中デモ緩急所ヲ得シムルコトガ或ハ出來ルカト考ヘマスト、サウ云フ方面カラ積極的ニ、軍ノ方カラ電力、石灰其ノ他ノ資材ノ配給ヲ、此ノ

無機質肥料ノ増産ノ爲ニ向ケラレルト云フ  
風ニシテ戴キタイト思フノデゴザイマスガ、  
此ノ點ニ付テ御意見ヲ承リタウゴザイマス  
○石川(半)政府委員 國內ノ食糧、殊ニ米、  
麥アタリヲ確保シナケレバナラヌト云フコ  
トハ、國家的ノ非常ナ重要ナ問題デアリマ  
スコトハ今更申上ゲルマデモアリマセヌ、  
私ハ肥料ノ關係ノ方ノコトハ素人デアリマ  
シテ、能ク分ラヌノデアリマス、併シナガ  
ラ十分ニ肥料ヲ使ハナケレバ、十分ニ生産  
ガ出来ナイト云フコトハ伺ツタコトモゴザ  
イマス、併シナガラ何シロ不足ノ電力ヲア  
ツチコツチニ引張合シヨウト云フコトデゴ  
ザイマスカラ、片方ニ引張レバ片方ニ不足  
致シマス、是ハ能ク研究致シマシテ、双方  
許ス範圍ニ於テ、重點ニ向ケナケレバナラ  
スト思フノデアリマス、尙ホ其ノ點ニ付キ  
マシテハ十分ニ研究致シマシテ、必要ガゴ  
ザイマスレバ、何トカ御協力致シタイト思  
ヒマス

○村上委員 次ハ司法省ヨリ坂野政府委  
員ガ見エラレテ居リマス、大石大君ニ質疑  
ヲ許シマス

○大石(大)委員 私ガ司法當局ニ一言伺ヒ  
タイノハ、舊慣永小作ノ問題デアリマス、  
一昨々年ノ議會デアリマシタカ、農地調整  
法ガ本院ニ提出サレマシタ時ニ、司法當局  
ノ方モ御聞キニナツタト思ヒマス、舊慣永  
小作權ハ、民法施行法第四十七條ノ第三項  
ニ規定シテアルノデゴザイマス、其ノ期間  
モ最早アト七年位シカアリマセヌ、政府當  
局ノ方ハマダ七箇年モアルカラ、急ガナイ  
デモ宜イデハナイカト云フコトヲ屢言ハレ  
ルノデアリマス、併シ百姓ガ其ノ土地ニ對  
シマスル所ノ愛着ノ精神ニ動搖ヲ來シマス

時ハ、是ガ生産ノ擴充ニ大キナ影響ガアル  
ト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマ  
ス、農林當局ヨリ御出シニナリマシタ材料  
ニ依ツテ見マスルト、全國デ六千二百町ト  
ナツテ居リマス、高知縣ガ一番多イノデア  
リマスガ、高知縣デケデモ六千町位アリ  
マス、此ノ調査ハ主トシテ永小作權ノ數字  
ガ出テ居ルト思ヒマスガ、事實ハ高知縣デ  
ケデモ八千五百町歩アルノデアリマス、所  
ガ司法省ニ於カレマシテモ、是ガ何カ解決  
ノ法案ヲ御出シニナルト云フコトデアリマス、  
其ノ御準備申デアルト云フコトデアリマス、  
昨年ノ七月四日デアリマスガ、高知ノ堀裁  
判所長カラ永小作權ニ對スル所ノ從來ノ運  
動ノ經過竝ニ舊慣、永小作權ノ沿革トカ、  
或ハ本質ト云フモノニ付テ話ヲシロト云フ  
コトデ裁判所ニ參リマシタ、私ノ話ハ速記  
ニ御取リニナツテモ何デモ本省ヘ送ツタサ  
ウデアリマス、サウ云フ風ニ各縣ニ於テ御  
調査ニナツタト云フコトデアリマスガ、一  
體アノ施行法ノ四十七條ノ三項ハ、司法省  
ニ於キマシテハ此ノ永小作權者ニ一ツノ安  
心ヲ與ヘル爲ニ、極メテ近イ將來ニ何カ立  
法ナサル御考ヘガアリマスカ、又其ノ間ニ  
於キマスル經過等ヲ承リタイト思ヒマス

○坂野政府委員 舊慣永小作地ニ付テノ御  
尋ネデアリマスガ、此ノ舊慣永小作地ノ處  
理ニ付キマシテハ、私共ノ方デモ十分注意  
ヲ致シテ居ルノデゴザイマシテ、色々出來  
ル調査ハ致シテ居ルノデアリマスガ、大體  
ニ於キマシテ、農林省ニ於ケル調査ヲ俟チ  
タイト考ヘテ居リマス、所ガ農林省ハ鋭意  
御調査申デアリマシテ、其ノ一部ノ結果モ  
得テ居ルヤウデアリマスガ、尙ホ御調査ヲ  
サレテ居ルノデアリマシテ、其ノ調査ノ結

果ヲ俟チマシテ善處シタイト思フノデアリ  
マスガ、十分ニ御意見ノアル所ハ斟酌シテ  
善處致シタイト積リデ居リマス

○大石委員 私人質問ハ是デ宜シウゴザイ  
マス

○村上委員 午後二時二十八分開議  
休憩前ニ引續イテ會議ヲ開  
キマス、厚生省ヨリ衛生局長ガ見エラレテ  
居リマスカラ、成島君ニ發言ヲ許シマス

○成島委員 私人東京市ノ尿尿問題ニ付テ  
一ツ御聽キシタイトスガ、今東京市デハ  
一日約六万石ノ尿尿ガ排泄サレテ居リマス、  
ソレデ今ノ處理狀況ハ、其ノ中ノ約二万石  
以上ハ海ヘ棄テテ居リマス、ソレカラ残り  
ノ二万石弱ガ東京、千葉、埼玉、神奈川、茨  
城ノ各農耕地ニ搬出サレテ居ルノデアリマ  
ス、事變前マデハ量モ約三万五千石位デ、  
其ノ中二万五千石位ハ今言ツタ各府縣ヘ輸  
送サレテ居ツタ、其ノ當時「ガソリン」ノ使用  
量ハ十五万五千「ガロン」デアツタ、十五万  
五千「ガロン」ノ「ガソリン」ガアリマスレバ、  
是等ノ方面ニ自動車輸送ガ出來ルノデアアル、  
所ガ「ガソリン」ノ配給ガ段々統制ガ強化サ  
レ、サウシテ現在デハ今言ツタ通り約二万石  
以上ヲ海ヘ棄テテ居ル譯デアアル、其ノ海ニ棄  
テルノモズツト沖ニ持ツテ行ツテ棄テルコ  
トニナツテ居リマスケレドモ、大體ニ於テ  
此ノ附近ニ棄テテ居ルノデアリマス、是ハ  
私ハ昨年モ申上ゲマシタガ、昨年浦安デ蝦  
蛄ヲ獲ツテ開ケテ見タ、所ガ中ガ臭カツタ、  
中ヘ人糞ガ滲ミ込メデ居ツタ、ソナエ合

午後零時四十三分休憩

○村上委員 午後二時二十八分開議  
休憩前ニ引續イテ會議ヲ開  
キマス、厚生省ヨリ衛生局長ガ見エラレテ  
居リマスカラ、成島君ニ發言ヲ許シマス

○成島委員 私人東京市ノ尿尿問題ニ付テ  
一ツ御聽キシタイトスガ、今東京市デハ  
一日約六万石ノ尿尿ガ排泄サレテ居リマス、  
ソレデ今ノ處理狀況ハ、其ノ中ノ約二万石  
以上ハ海ヘ棄テテ居リマス、ソレカラ残り  
ノ二万石弱ガ東京、千葉、埼玉、神奈川、茨  
城ノ各農耕地ニ搬出サレテ居ルノデアリマ  
ス、事變前マデハ量モ約三万五千石位デ、  
其ノ中二万五千石位ハ今言ツタ各府縣ヘ輸  
送サレテ居ツタ、其ノ當時「ガソリン」ノ使用  
量ハ十五万五千「ガロン」デアツタ、十五万  
五千「ガロン」ノ「ガソリン」ガアリマスレバ、  
是等ノ方面ニ自動車輸送ガ出來ルノデアアル、  
所ガ「ガソリン」ノ配給ガ段々統制ガ強化サ  
レ、サウシテ現在デハ今言ツタ通り約二万石  
以上ヲ海ヘ棄テテ居ル譯デアアル、其ノ海ニ棄  
テルノモズツト沖ニ持ツテ行ツテ棄テルコ  
トニナツテ居リマスケレドモ、大體ニ於テ  
此ノ附近ニ棄テテ居ルノデアリマス、是ハ  
私ハ昨年モ申上ゲマシタガ、昨年浦安デ蝦  
蛄ヲ獲ツテ開ケテ見タ、所ガ中ガ臭カツタ、  
中ヘ人糞ガ滲ミ込メデ居ツタ、ソナエ合

デ棄テル尿尿ガ全部近海ニ流レテ行クノデ  
アリマス、是ハ一朝惡疫デモ流行シタ場合ニ  
ハ收拾ノ付カヌ問題ニナツテ參リマス、又  
一面農村ノ方デハ肥料ガナクテ仕樣ガナイ、  
何遍モ此ノ委員會デモ質疑應答ガ繰返サレ  
マシタガ、肥料ガナクテ困ル、増産ニハ肥  
料ガ附物ダガ其ノ肥料ガナイ、ソレデ農村  
ハ肥料ガナイト云フシ、一面此ノ近イ、目  
ト鼻ノ間ニアル東京市デハ尿尿ヲ棄テテ居  
ル、而モ其ノ棄テルコトハ非衛生的デアアル、  
デ此ノ解決ニハ「ガソリン」ガ非常ナル問題  
ニナツテ來ルノデアリマスケレドモ、保健  
衛生ト云フ重大ナル立場カラ見ルト、是ハ  
何トカ厚生省アタリデモ、少シ是等ニ對ス  
ル積極的解決ニ乗出シテモ宜イノデハナイ  
カト思フ、是ハマア農林省トモ協議シテ何  
カノ方法ヲ立テテ、是ハ一ツ保健衛生上ノ  
見地カラ見テ惡イモノデアアルシ、又農村ニ  
持ツテ行ケバ喜ブノデアアルカラ、農村方面  
ニ搬出出來ルヤウニ、一ツ考ヘテ貫ヒタイ  
ト思フノデアリマスガ、何カ其ノコトニ付  
テ厚生省方面デ御考ヘニナツテ居ルコトガ  
アリマスレバ、先ヅ以テソレヲ承ツテ置キ  
タイト思ヒマス

○加藤政府委員 只今ノ御質問ハ洵ニ御尤  
モナル御質問ト拜承シタノデアリマス、御  
話ノヤウニ東京市デハ一年中ヲ通ジマス、  
一日平均約三万七千石出テ居ルノデアリマ  
シテ、夏季冬季ニ依リマシテ大分違ヒハア  
リマスガ、平均約三万七千石デアリマス、  
處分ノ方法ハ、是亦御話ノ通りデアリマス  
ルガ、大體完全ニ下水ヘ流レテ處理シマス  
方法ト、ソレカラ農村ヘ還元ヲシテヤル方  
法ト、海ヘ棄テル方法ト、此ノ三ツノ方法  
デ處理ヲ致シテ居ルノデアリマス、完全ニ

三河島ノ處理場ヲ處理スル數量ハ千石餘リデアリマシテ、殆ド問題ニナラナイ、海へ棄テル方法ガ、是亦御話ガアリマシタガ、二種類アリマシテ、適法ナル方法トシテハ大型ノ船ニ積ミマシテ、東京灣外ニ持ツテ行ツテ、毎日五千石ツツ棄テテ居ルノデアリマスガ、サウデナク、灣内ニ、非合法ト申シマスガ、非衛生的ナ棄テテ方致シマスルモノガ一万二、三千石アツタノガ夏頃ノ狀況デアリマス、其ノ外ニ農村へ還元ヲ致シマスルモノ、是ハ市内デモ農家ガ取リニ來ルモノモゴザイマスルシ、又ハ市ノ方或ハ請負ノ方デ集メマシテ、只今御話ノ隣接府縣ニ約五千ノ溜池ガゴザイマシテ、其處へ持ツテ行ツテヤルト云フヤウナコトデヤツテ居ルノデアリマスガ、實ハ昨年ノ夏ノ初メ頃カラ、此ノ問題ヲ厚生省デハ取上ゲマシテ、下ウモ灣内ニ投棄スルト云フコトハ、御話モアリマシタガ、衛生上洵ニ困ル、ノミナラズ是ハ東京灣沿岸ノ水産業者ノ方デモ、度々不服ヲ言ツテ參ツテモ居リマシタノデ、又一面農林省ノ方デハ、肥料難デ何トカシテ貰ヒタイ、農家モ非常ニ之ヲ歎望スルト云フヤウナコトガ段々昂ジテ參リマシテ、昨年ノ六、七月頃カラ色々ト對策ヲ講ジタノデアリマスルガ、結局ハ東京市デハ持餘スモノ、農家デハ非常ニ欲シガルモノノ下ドウシテ農家へ還元出來ルカト云フト、御話モゴザイマシタガ、輸送機關ガ問題ニナルノデアリマシテ、海へ棄テテハイカヌ、農家ノ附近ニハ約五千ノ溜池ガ待ツテ居ルト云フコトデ、結局自動車ノ手配及ビ燃料ノ手配ト云フコトガ必要ニナツテ參リマシタノデ、厚生省ト致シマシテハ、農林省、商工省、企畫院或ハ船ノ關係モゴザイマシ

テ遞信省ト云フヤウナ方面ノ關係局長ニ一、三度御會合ヲ願ヒマシテ、尙ホ東京市ノ都市ガ、何レモ東京市ニ比レバ少量デアリマスガ、ヤハリ海へ投棄スルト云フヤウナ事實ガゴザイマスノデ、是等ノ所ノ農村還元ノ具體的數字ヲスツカリ取調ベマシテ、尙ホ他ノ關西方面ノ名古屋、大阪、神戸ト云フヤウナ方面モ希望致シテ居ル事情ガ略、同一デアリマスノデ、六大都市ト川崎、横須賀ニ就キマシテ、ドレダケノ自動車ガアツテ、ドレダケノ木炭ガアレバドレダケ農家ニ還元出來ルカ、ソレニ依ツテ非衛生的ナ海洋投棄、非經濟的ノ海洋投棄ヲナクシ得ルカト云フヤウナ計畫ヲ立テマシテ、結局東京市ニ於キマシテハ、約百八十臺ノ新シイ自動車ヲ購入出來ルナラバ或ル程度——全部トハ申シマセヌガ、相當數量ノ海洋投棄ヲ止メテ農家ニ還元シ得ルコト云フコトニナリマシタノデ、商工省ニモ交渉ヲ致シマシテ、八月カラ今日マデ約九十臺ノ自動車ヲ新ニ其ノ目的ノ爲ニ配給ヲ受ケテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ半數バカリハ不足致シテ居リマス關係上、現狀デハマダ差向ノ目標ト致シテ居リマス程度ノ改善ハ出來テ居リマセヌガ、是ハ逐次自動車ヲ増車致シマシテ、ソレニ要スル燃料ノ如キモノモ配給ヲ受ケルコトニ致シマシテ、私共ト致シマシテハ只今御話ノヤウナ方向ニ向ツテ、此ノ問題ノ處理ヲ進メテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○成島委員 只今色々御話ガアリマシタガ、先程モ申シマス通り、以前ハ一箇月ニ約十五万五千「ガロン」ノ「ガソリン」ガアレバ宜カツタ、所ガ最近ニ於ケル「ガソリン」ハ十六万「ガロン」要ル、更ニ今月カラ來月ニ掛ケテハソレ以上一割乃至二割ハ餘計要ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、今マデノ運搬量ヨリモ一層多クナツテ參リマス、ソレト同時ニ海洋投棄ガ一層多クナル、只今ノ御話デハ、商工省カラ九十臺ノ自動車ノ配給ヲ受ケテト云ツテ居リマスガ、是ハ東京ノ現場ニ行ツテ見マスルト、マダソレハ手ニ入ツテ居ラス、手ニ入ツタ所ガ、燃料ハドウスルカ、木炭ハドウスルカ、「ガソリン」ハドウスルカ、此ノ問題ガ目鼻ガ付カヌノデアリマスカラ、運搬業者モ假令九十臺ノ自動車ノ配給ヲ受ケテモ、其ノ目鼻ノ付カナイ内ハソレヲ受取ルコト困難ト云ハナケレバナラスノデアリマス、ソレ等ノ點ヲ至急何トカ解決願ヒタイノデアリマス、是ハ獨リ商工省バカリデナク農林省ノ方ニ於キマシテモ、此ノ非常ノ時代デアリマスカラ、何トカ其ノ間ヲ色々交渉ヲ付ケテ、至急此ノ設備ノ完成ニ邁進シテ貰ヒタイト思フノデアリマス、又最近ノ東京市ノ通牒ニ依リマスルト、愈々「ガソリン」ガ少イ、ダカラ今マデ行ツタ所モ半分以上行カクナル、ダカラ其ノ附近ニ一ツ大キナ溜池デモ拵ヘテ、其處マデ東京市ガ持ツテ來ル、ソレカラ先ハ千葉ナリ神奈川ナリ、埼玉ナリノ縣デヤル、ダカラ東京市ニ最モ近イ距離ニ溜池ヲ造レ、サウ云ウコトニナツテ居リマスケレドモ、今日溜池ヲ造ル材料ハアリマセヌ、「セメント」モナケレバ鐵材モナイ、サウ言ハレテモ貯溜池ヲ造リタクテモ材料ハナイ、ダカラ益、農家ハ困ル一方デアリマス、殊ニ金肥ノ配給ハ過去ノ使用料ノ實績ニ依ツテ配給シテ居リマスカラ、今マデ此ノ下肥ノ配給ヲ受ケテ居ツタ方面ハ、ソレダケ

ノ金肥ノ實績ガアリマセヌカラ、ヤハリ金肥ノ配給ニ於テモ相當減ジテ居ルノデアリマス、ソレデナクテモ増産デ肥料ガ要ル、肥料ガ要ル所へ今マデノ配給量ヨリモ減ツテ來ルノデアリマス、他ノ方面ヨリモ今マデ下肥ノ配給ヲ受ケテ居ツタ方面ハ一層其ノ量ガ減ジテ居ルノデアリマス、ソレデ非常ニ不平ガ多イノデアリマス、何ダ東京デハ棄テテ居ツテ、吾々ハ肥料ガ足りナイ、肥料ニ苦ンデ居ツテモ助ケテ呉レヌ、其ノ位ノコトハ政府デヤツテ呉レテモ宜イデヤナイカ、増産々々ト云フナラバソレ位ノコトハ認メテ呉レタラドウカ、「ガソリン」モナケレバ船ノ重油モナイ、又貯溜池ヲ造ラウト思ツテモ材料ガナイ、斯ウ云フコトニ付テ何トカ一ツ考ヘテ呉レサウナモノダト云フ聲ガ高イノデアリマス、是ハ近縣ノ農村トシテハ棄テテ置ケナイ問題デアリマス、厚生省ノ方デモ十分保健衛生ノ見地カラ考ヘルト同時ニ、又農林省ノ方デモ積極的ニ此ノ問題ヲ考ヘテ戴キタイト思フノデアリマスガ、何カ農林省ノ方デ御考ヘガアレバ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○岸政府委員 都市ニ於ケル屎尿竝ニ塵芥ヲ農村ニ還元スルト云フコトハ、肥料、飼料ノ足りナイ今日、非常ニ大切ナコトデアルト云フコトハ御示シノ通りデアリマス、屎尿ノ還元ニ付キマシテハ、今年非常ニ僅カデ御恥シイノデアリマスガ、多分十萬圓程デアツタト思ヒマスガ、貯溜槽ノ助成ヲスル、是ハ四千位ダツタト思ヒマスガ、其ノ助成ヲスルト云フコトニナツテ居リマス、併シ問題ハ只今御話ノヤウニ全ク之ヲ運搬スル「トラック」、或ハソレニ必要ナル燃料等デゴザイマス、是ガナカツタナラバ御示シ

ノヤウニ從來ソレヲ使ツテ居ツテ、サウシテソレガ爲ニ金肥ノ配給ヲ受ケナイト云フ方面ニ於テハ、非常ニ困難ガアルドラウト想像シテ居リマス、隨テ之ニ付キマシテ極ク最近ノ機會ニ於テ、近縣トノ打合セヲシテ善後策ヲ講ズル準備ヲシテ居リマス

○成島委員 今ノ十萬圓ノ金ハ、是ハ各府縣ヘヤツテドウ云フ風ニナルノデスカ、其ノ用途ヲ御示シテ願ヒタイノデアリマス

○岸政府委員 是ハ從來ヤツテ居リマシテ地方團體ヘノ助成金デアリマス

○成島委員 サウスルト地方團體カラ申請ガアレバ、ソレニ付テ相當考慮スルコトガ出來得ル金ニナツテ居リマス

○岸政府委員 左様デゴザイマス

○成島委員 然ラバ今申上ゲマシタ此ノ問題ニ付キマシテハ、又重ネテ言フヤウデアリマスルガ、厚生省モ農林省モ、又商工省トモ打合セマシテ、極ク近イ範圍内ニ於テ打合會ヲ開イテ、是ガ配給ノ圓滑ヲ期スルヤウニ御心配ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

○村上委員 小平君

○小平委員 二三御質問申上ゲタイト思ヒマス、先ヅ第一ニ此ノ農地開發法ノ第二十三條ノ中ノ二及ビ三デスカ、一ニ於テ「前號ノ事業ニ附帶スル事項」三ニ於テ「其ノ他農地開發營團ノ目的達成上必要ナル事業」、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ解釋ノシヤウニ依リマシテハ非常ニ廣範圍ニモ互ルト思フノデスカ、政府ノ考ヘテ居ルコトハ一體ドノ程度ニマデ此ノ仕事ヲオヤリニナル積リデアリマスカ、概略ノ點デ宜シイデスガ御聽キシタイト思ヒマス

○岸政府委員 二十三條ノ第一項ノ二號三號ノ仕事ガドウ云フモノデアるかト云フ御尋ネデゴザイマスガ、第二號ノ方ハ過日御説明申上ゲマシタヤウニ、此ノ農地開發營團ガ自作農創定ノ爲ニ必要ナル移住家屋ノ建設ヲスルコトニナツテ居リマス、其ノ移住家屋ノ建設ヲスル仕事ガ主ナモノデゴザイマス、他ニ豫想ヲシマスノハ、是ハ非常ナ邊鄙ナ所デ、或ハ土管ヲ買フノニ非常ニ不便ガアルト云ツタヤウナ場合ニ、サウ云ツタヤウナモノヲ作製スルト云フヤウナ仕事ヲ一應考ヘテ居リマス、其ノ外ニハ差當リ考ヘテ居ルコトハゴザイマセヌ、第三號ノ方ノ仕事ハ是ハ農地ノ管理ヲスルヤウナコトヲ考ヘテ居リマス、自作農創定ヲスルノデ、自作農ノ創定ヲスル仕事ヲスル者ニ土地ヲ賣拂フコトヲ根本ニシテ居リマスガ、ソレガ處分ガ付カナイト云フヤウナ時ニ、ソレヲ或ハ自營シ或ハ小作ニ付スト云ツタヤウナ仕事ヲスルコトヲ考ヘテ居リマス

○小平委員 次ニ本法ニ依リマス、増産目標ノ計畫ハ昭和二十七年ニ於キマシテ米ガ八千二百八十七万七千石、麥類ニ於キマシテ二十八年度ニ於テハ二千五百四十万石、斯ウ云フヤウナ數字ガ示サレテ居ルノデアリマスガ、少クモ此ノ計畫ヲ遂行スルノニハ、之ニ伴ウテ必要ナル所ノ生産資材デアアル肥料並ニ其ノ他ノ農業資材ト云フモノガ必要デアルト考ヘテ居リマスガ、是等ニ對スル御計畫ガアリマスカドウカ、勿論是ハアルト思ヒマスガ、之ニ對スル御計畫ヲ一ツ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○岸政府委員 此ノ増産ニ伴フ所ノ今ノ肥料其ノ他ノ資材ノ問題ニ付キマシテハ、過日資材部長カラ御話申上ゲマシタヤウニ、

肥料ニ付テハ増産ヲスルヤウニ計畫ヲ立ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ他ノ資材ニ付テハ是ハ企畫院等ト打合セマシテ、物動等ニ於テ考慮ヲシテ費フコトニナツテ居リマス、其ノ數量的ノコトハ色々鐵材其ノ他モアリマスノデ、此處デ御話スルコトハ一寸差控ヘタイト思ヒマス

○小平委員 肥料ノ問題ガ一番重要ナ問題デアリマスガ、勿論努力等モ是ガ完成ニハ非常ナ重要ナ要素ニナツテ參リマスノデスカ、其ノ中デモ私ハ是ダケノ増産ヲスルト云フノニハ、肥料ノ點ニ重點ヲ置カナケレバナラナイト考ヘテ居ルノデアリマス、現在ノ我が國ノ耕地面積カラ申シマシテモ、無機質肥料ニ於キマシテハ、硫安少クトモ百七、八十萬「トン」、或ハ二百萬「トン」ヲ要スルト思ヒマス、ソレカラ過燐酸ニ於キマシテモ、同様百九十萬「トン」カラ二百萬「トン」ヲ要スルト云フヤウナ狀況ニナツテ居ルノデアリマシテ、本營團ガ完成ヲシタ曉ニハ、是ハ餘程數量ヲ増加致シマセヌト、到底此ノ目的ヲ達成スルコトハ出來得ナイト斯ウ考ヘテ居リマス、肥料ノ問題ニ付キマシテハ、現在ノ日本ノ全工場ニドウ云フ風ナ擴張ノ計畫ヲオヤリマナツテ居リマスカ、是ハ重政資材部長ガ御不在デアリマスカラ、又後ノ機會ニ御聽キシタイト思ヒマスガ、此ノ問題ニ付テハ農林省ガ餘程ノ努力ヲ致シマセヌト、私ハ此ノ營團ト云フモノガ、法律ハ出來マシタケレドモ、何等役ニ立タスト云フヤウナ状態ニナリハセヌカト云フコトヲ深く憂フル者デアリマス、本營團ノ效果如何ト云フコトニ付キマシテハ、議員ハ此ノ達成ニハ齊シク疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、私モ其ノ一人デアリマスガ、

是ハ法案ガ通過致シマシテモ、中々此ノ目的ヲ達成スルト云フコトハ尋常ニ様デハ出來ナイト斯ウ考ヘテ居リマス、殊ニ焦眉ノ急ノ問題ガアリマシテ、御承知ノ通り昨年ノ五月ノ調査ニ依リマシテモ、全國ノ荒廢地ハ約二万町歩ニ達シテ居リマス、即チ田ニ於キマシテ二千七百八十六町歩、畑ガ六千八百七十九町歩、合計九千六百六十六町一反ニナツテ居リマス、尙ホ裏作ヲ廢止シタモノガ一万二千四百七十九町歩、兩者ヲ合計致シマシテ約二万町歩以上ニ達シテ居ルノデアリマシテ、私ハ現在此ノ日本ノ國情カラ申シマシタラバ、此ノ荒廢地ヲシテ一日モ早く復活ヲスルト云フコトガ焦眉ノ急デナイカト斯ウ考ヘテ居ル、中々之ヲ復活セシメルコトスラ今日困難ナ狀況ガ伴ツテ居ルノデアリマス、殊ニ此ノ荒廢ヲシタ原因ハ何處ニアルカト云フコトヲ探究致シテ見マシテ、大體肥料勞力ノ不足ト云フコトガ重大ナル原因ヲナシテ居ルコトハ私ガ申スマデモナイノデアリマス、政府ハ度々各種ノ委員會ニ於キマシテモ、肥料ハ心配ハナイ、本年度ハ昨年度ヨリモ非常ニ——各省ノ盡力ニ依ツテ硫安等ハ七、八萬「トン」ノ増産計畫ガ完成シテ居ルト云フヤウナ話デアリマス、兎ニ角昨年度ノ配給ハ、農家ノ實際ノ使用量ノ六割若シクハ七割ニシカ達シテ居リマセヌ、政府ハ米麥重點主義デ八割五分ノ配給ヲシタト稱シテ居リマスガ、實際ノ實情ハ六割乃至六割五分、多イ所デ七割ニシカ達シテ居リマセヌ、サウ云フ譯デアリマスカラ、斯ウ云フ荒廢地ガ出來ルノデアリマシテ、農村ト致シマシテハ、肥料ガナイノニ面積バカリ餘計作ツテモ仕樣ガナイト云フコトデ、

斯ウ云フヤウナ荒廢ヲ來シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウナ現狀ヲ見マスル時ニ於キマシテ、私共ハ此ノ昨年度ノ荒廢地ヲ一日モ早く復活ヲシテ、サウシテ之ニ作物ヲ栽培セシムルト云フコトガ先決問題デアルト思フノデアリマスガ、斯ウ云フコトヲ後廻シニシテシマツテ、サウシテ此ノ農地開發營團ト云フヤウナ大キナ計畫ヲ立テテ居ルノデアリマスケレドモ、一體此ノ昨年度ノ荒廢地ニ對シマシテハ、政府ハドウ云フ風ヲ御考ヘテ之ヲ復興セシムル考ヘデアルカ 此ノ點ヲ一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○岸政府委員 第一ノ御尋ネハ此ノ營團ノ仕事ハ中々困難性ガアルト云フ御話デゴザイマスガ、固ヨリ吾々資材其ノ他ノ非常ナ逆條件ノ多イ所デ之ヲヤリマスノデ、相當斯ウ云フ點ハ覺悟ヲシテ案ヲ立テテ居ルノデアリマスカラ、萬全ヲ盡シテ進ミタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ次ニ一方ニ斯ウ云フコトヲヤルノダガ、眼ノ前ニ荒廢シテ居ル所ガ出來テ來テ居ルノ、ソレニ對シテ何カ手ヲ盡シテ居ルカ、斯ウ云フ御話デアリマス、潰地等ニ付キマシテハ、御話ヲ度々申上ゲマシタヤウニ、十三年度以後大體潰地ノ回復ノ對策トシテ開墾助成ヲヤツテ居リマシテ、其ノ着手シタ面積ト云フモノハ一万九千町歩ニナツテ居リマスカ、其ノ位ニ達シテ居ルト思ヒマス、ソレカラ尙ホ今年モ御協賛ヲ得マスレバ、七千五百町歩ニ着手シテ、サウシテ其ノ回復ヲ圖ル、斯ウ云フヤウナ方法ヲ講ジテ居リマス、又部落等ニ出來テ居ル所ノ荒廢地ノ一部ニ付キマシテハ、若シ今回院議デ御決メニナリマシタ費用等ヲ使フヤウニナリ

マズレバ、部落等ガ協力シテ之ヲ活カスヤウナ方法ニ對シテ經費ノ行クヤウニ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、是等ニ付キマシテハ、固ヨリ肥料ノ點ニ於テ色々御心配ノコトモアルト思ヒマスガ、ヤハリ部落等ガ協力ヲシテヤルコトニ依ツテ、只今マデナカクツタ肥料給源ヲ生カスト云ツタヤウナコトニ付テハ骨折モ必要デヤナイカ、ソレ等皆ガ協力スルコトニ依ツテ生レテ來ルモノガアル、斯ウ云フコトニ依ツテ極力荒廢ヲ防グヤウニ努力致シタイ、尙ホ臨時農地等ノ管理令ニ依リマシテ、他ノ用途ニ行クト云フヤウナモノニ付テハ——無統制ナ部分ニ付テハ之ヲ抑ヘテ行クト云フ風ナ方法ヲ講ジテ、現在ノ耕地ニ付テハ極力少ナクナラヌヤウニ致ス、斯ウ云フヤウナ計畫ヲ持ツテ居リマス

○小平委員 御説明ニ依リマス、荒廢地ヲ復興スル爲ニハ今年度ノ豫算ニ相當組ンデアルト云フ話デアリマスノデ、其ノ點ハ諒承致シマシタ、唯私ハ斯様ナ荒廢地ガ出來タト云フ原因ハ、只今申上ゲルヤウニ、農村ニ於キマシテハ肥料ガナイ、肥料ガナイ爲ニサウ田畑ヲ作ツテモ仕方ガナイト云フコトデ荒廢シタコトガ最大ノ原因デアルノデアリマス、デアリマスカラ如何ニ政府ガ之ヲ復興スル資金ヲ出シマシテモ、之ニ伴フ肥料ノ生産ガ可能デナカツタナラバ、到底此ノ目的ハ私ハ達成出來ナイト思フ、殊ニ無機質肥料ノ問題ニ付キマシテハ、只今申シマシタガ、大分政府モ萬全ヲ期シテ居ルヤウデアリマス、ケレドモ尙ホ心配ナコトハ、滿洲方面カラ輸入スル所ノ有機質肥料ノ大豆デアリマス、此ノ問題モ昨年ハ大分農林省關係ノ委員會ニ於キマシテ議

論ヲ圖ハシテ居ルノデアリマス、本年モ此ノ間ノ資材部長ノ説明デハ、大豆粕ガ七十万「トン」、大豆ガ九十万「トン」ガ入ツテ來ル、大體之ヲ肥料ニ振向ケルト云フ御話デアリマシタ、併シ其ノ當時是ガ果シテ入ツテ來ルカ來ナイカト云フコトニ付テハ、見方ニ依ツテ違ツテ居ルノデ、ドウモ疑問ダト云フ人モアルト云フヤウナ譯デ、何ダカ心細イヤウナ御話デアリマシタケレドモ、ドウモ私ノ聞ク所ニ依リマシテモ、サウ云フヤウナ話ヲシテ居ルガ、中々豫定通り入ツテ來ナイノデヤナイカ、ト云フヤウナ見方ガ此ノ業界ニ於テハ多イノデアリマス、デアリマスカラ政府ハ尙ホ一層其ノ點ニ御留意ヲサレマシテ、少クトモ滿洲國ト契約ヲシタ數量ニ對シテハ、必ズ之ヲ受取ル、サウシテ農村ニ配給スルト云フヤウナ心配ヲシテ置キタイト云フコトヲ特ニ此ノ際御願ヒシテ置キマス

ソレカラ最後ニ一ツ、此ノ問題ハ關東方面ニハ非常ニ大キイ問題デアリマス、實ハ是ハ昨日農林大臣ニ質問スル考ヘデ居ツタノデアリマスガ、非常ニ時間ガ遅クナリマシタノデ御氣ノ毒ニ存ジタモノデスカラ、私ハ今日ニ廻ハシテ、實ハ今日モ農林大臣ノ出席ヲ御願ヒスル積リデアリマシタガ、オイデニナリマセヌカラ農政局長ニ申上ゲマス、關東方面ハ御承知ノヤウニ、昨年度ハ非常ナ大旱害ヲ被リマシタ、此ノ狀況ハ實ニ悲惨ナル狀況デアアルコトハ、私ガ説明ヲ申上ゲルマデモナイノデアリマス、即チ一府五縣ニ亙リマシテ、數万町歩ノ被害耕地ガ出來タト云フヤウナ現狀デアリマス、是ハ昨年度關東地方ニ於テ、降雨ガ少カツタト云フコトモ、最大ノ原因デアリマス

ケレドモ、要スルニ關東方面ノ耕地ニ對スル灌溉用水ノ不完備ト云フ點ガ、私ハ最大ノ原因ヲ成シテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ改修ト云フコトニ付テハ、萬全ヲ期サナケレバナラナイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、政府ニ於キマシテモ之ニ付キマシテハ、當然私ハ本年度ノ豫算ニ追加豫算トデモシテ、是ハ御計上ニナルコトト考ヘテ居ツタノデアリマス、所ガ豫算ヲ見マシテモ、何處ニモ關東ノ大旱害ニ對スル復興費、救恤費ト云フモノハ何モナイノデアリマス、一昨年ノ關西地方ニ於ケル大旱害ニ對シマシテハ、昨年度ノ議會ニ於キマシテ、七千万圓ノ追加豫算ヲ計上シタヤウニ私ハ記憶シテ居リマス、然ルニ昨年度ノ關東地方ニ於ケル大旱害ニ對シマシテハ、本年度政府ハ何等ノ設備ヲシテ居ナイト云フコトハ、餘リニモ不公平ナ取扱デハナイカト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ニ對シテ政府ハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居リマスカ

○岸政府委員 關東方面ノ旱害ニ對スル施設ガ十分デナイデヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御話デアリマスガ、是ハ一寸私總額ヲ覺エテ居リマセヌガ、千葉縣外三縣ノ旱害應急施設費トシテ、追加豫算ニモ一部計上致シテゴザイマス、ソレカラ勿論此ノ今回ノ法律ニ從ツテヤリマス所ノ仕事ニ於キマシテモ、將來ノ旱害等ノコトモ十分ニ盛込ンデ考ヘテ居リマスノデ、勿論サウ云フヤウナ地域ニ對シテノ施設ト云フモノハ、此ノ計畫ニ從ツテ御希望ニ副フヤウニヤリ得ルト思ヒマス、殊ニ今回新シイ費目トシテ地下水源ノ利用ト云フモノヲ加ヘテ居リマス、是ハ從來ノ耕地改善ニハナカクツタ施設デアリマス、是等ニ依ツテ比較的水利ノ關係ノ

關東方面ノ耕地ニ對スル灌溉用水ノ不完備ト云フ點ガ、私ハ最大ノ原因ヲ成シテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ改修ト云フコトニ付テハ、萬全ヲ期サナケレバナラナイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、政府ニ於キマシテモ之ニ付キマシテハ、當然私ハ本年度ノ豫算ニ追加豫算トデモシテ、是ハ御計上ニナルコトト考ヘテ居ツタノデアリマス、所ガ豫算ヲ見マシテモ、何處ニモ關東ノ大旱害ニ對スル復興費、救恤費ト云フモノハ何モナイノデアリマス、一昨年ノ關西地方ニ於ケル大旱害ニ對シマシテハ、昨年度ノ議會ニ於キマシテ、七千万圓ノ追加豫算ヲ計上シタヤウニ私ハ記憶シテ居リマス、然ルニ昨年度ノ關東地方ニ於ケル大旱害ニ對シマシテハ、本年度政府ハ何等ノ設備ヲシテ居ナイト云フコトハ、餘リニモ不公平ナ取扱デハナイカト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ニ對シテ政府ハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居リマスカ



不便ナヤウナ所デモ、地下水ヲ利用シテノ灌  
溉ガ出來ルト云フヤウナコトモ考ヘラレマ  
スノデ、相當御希望ニ副フコトガ出來ルダ  
ラウト思ヒマス、尙ホ附加ヘテ申上ゲマス  
ガ、關東地方ノ旱害ニ對シテハ、保險被害  
ノ方ニ對シテモ多少ノ經費ヲ計上シテ、其  
ノ應急措置ヲ講ジテ居ルヤウナ次第デゴザ  
イマス、御參考マデニ申上ゲマス

○小平委員 只今ノ御説明ニ依リマス、  
關東地方ノ千葉縣外三縣ニ對スル復興費ヲ  
御計上ニナツテ居ルト云フ御話デアリマス  
ガ、私ハ先日調ベタノデスガ、一寸見當ラ  
ナカツタノデ申上ゲタノデアリマス、後刻  
御調査ノ上其ノ金額ヲ御明示願ヒタイト思  
ヒマス、少クモ相當ノ金額ガ計上サレテ居  
ナカツタナラバ、到底此ノ復興ノ目的ヲ達  
成スルコトハ出來ナイト考ヘテ居リマス、  
殊ニ千葉縣ノ如キハ大利根用水ト云フノガ  
ゴザイマスガ、是ナドハ途中マデ施工致シ  
テ居リマシテ、其ノ先ハマダ出來テ居ナイ  
爲ニ、昨年アア云フ風ナ非常ナ大旱害ヲ被  
ツタノデアリマシテ、是等ノ施設ニ對シマ  
シテモ、政府カラ餘程補助ヲ致サナケレバ  
ヤツテイケナイ、斯様ナ狀況デアリマス、  
尙又關東方面ニ於キマシテハ、天然水ノ耕  
地ガ相當ニ多イノデアリマス、天然水ノ耕  
地ニ對シマシテハ、小サイ耕地面積デモ、  
是等ニ對スル貯水池ノ設備ガ、現在ノ狀況  
デハ最モ必要デアルト考ヘテ居リマス、  
斯ウ云フ方面ニ對シマシテモ、相當政府ガ  
指導サレマシテ、サウシテ相當補助ヲサ  
レルヤウニ御願ヒシタイト考ヘテ居リマス  
ガ、サウ云フ細カイ耕地ニ對シテハ、政府  
ハドウ云フ御考ヘヲ持ツテ居リマス、此  
ノ際承ツテ置キマス

○岸政府委員 先程申上ゲマシタ千葉縣外  
三縣ノ旱害應急耕地事業助成ニ關スル經費  
ハ、昭和十五年度ニ豫備金ト追加豫算トデ  
百四十五萬八千圓程出テ居リマス、ソレニ  
昭和十六年度ノ六十二萬四千圓ト云フモノ  
ヲ加ヘテ二百萬圓程ニナツテ居リマス、只  
今御話ニナリマシタ天然水耕地ニ對スル溜  
池等ニ付テハ、是ハ先日御話申上ゲマシタ  
農用溝渠ノ施設デ考ヘラレルト思ヒマス

○小平委員 ドウモ二百萬圓位ノ金デハ、  
一縣ノ設備モ出來ナイト思ヒマス、ドウ云  
フ風ナ御計畫デ、其ノヤウナ少額ヲ御計上  
ニナツテ居ルカ知リマセヌガ、兎ニ角關西  
方面ノ旱害ニ對シテハ、七千萬圓ノ補助ヲ  
シテ居ルノデアリマス、尤モ關西ト關東デ  
ハ、其ノ程度ハ相當違ツテ居ルデアリマセ  
ウガ、二百萬圓デハ甚シク少額ノヤウニ私  
ハ認メザルヲ得ナイノデアリマス、サウ云  
フ程度デハ、到底此ノ復興ノ完璧ハ期シ得  
ナイト考ヘテ居リマス、尙ホ一ツ十分實情  
ヲ御調査ノ上善處セラレンコトヲ、切ニ此  
ノ際御願ヒシテ置キマス、私ノ質問ハ之ヲ  
以テ終リマス

○吉植委員 一寸關聯シテ御願ヒシマス、  
今小平君ノ御質問ノ中ニ、千葉縣ニ於ケ  
ル大利根用水ノ問題ガ出マシタガ、是ハ今  
八分通り完成シテ居リマス、或ハ九分通り  
ト言ツテモ宜イカモ知レマセヌガ、アトガ殘  
ツテ居リマス、其ノ殘ツテ居ル所ガ出來サ  
ヘスレバ、目的貫徹デアリマス、所ガ仕事  
ノ方ハ八、九分出來テ居リマスガ、之ヲ實  
用ニ適スルヤウニスルノハ、半分モ行ツテ  
居ナイト云フヤウナ都合デアリマシテ、ア  
ト三年位掛ル豫定デゴザイマス、所ガ本年  
ノ天候ヲ見テ居リマス、昨年同様又旱害

ガ心配ニナリマスガ、是ハ本道ヲ後廻シニ  
シテ、何カ迅速ニ應急對策ニ先廻リヲシ  
テ水ヲ繋グト云フヤウナ、臨機應變ノ處置  
ヲ執ラレマス、本年又昨年同様ノ旱害ガ  
アリマシテモ、ソレニ依ツテ潤ハフコトガ  
出來ルコトニナルノデアリマス、唯今マ  
デ通りノ既定計畫遂行ト云フ杓子定規、ト  
言ツテハ言葉ガ惡イカモ知レマセヌガ、兎  
ニ角此ノ計畫デ、何年計畫デヤルト云フヤ  
ウナコトデヤツテ居リマス、三年モ經テ  
マセヌト出來マセヌガ、ソレヲ今申シマシ  
タヤウニ何カ臨機應變ニヤリマス、本年  
ノ旱害ハ見事克服ガ出來ルコトニナツテ居  
リマス、又今ノ大利根用水ハ二郡ニ互ツテ  
居リマスガ、今度ハ其ノ外ニ九十九里全體  
ニ互ツテ、去年ハ大旱害ガアリマシテ、溜  
池モ用ヲ爲シマセヌ、今地下水利用ト云フ  
御話モアリマシタガ、是ハ海岸地帯デアリ  
マシテ、恐ラク地下水ノ利用ト云フコトモ、  
絶對不可能ノ問題デアリマシテ、ヤハリ利  
根川ヨリ水ヲ引クト云フコトヨリ致シ方ガ  
ナイノデアリマス、是モ水ヲ引キサヘスレ  
バ、二毛作田ニナル、立派ナ所デアリマス、  
水ガ引ケナイ爲ニ大旱害ヲ來シテ居ルノデ  
アリマシテ、斯ウ云フ方面ハ、本委員會ノ  
初メニモ申シマシタ通り、開墾ヲシテ二年、  
三年ノ後ニ收益ヲ擧ゲルト云フノトハ違ヒ  
マシテ、此ノ用水ノ幹線水路サヘ出來上リ  
マスルト、直グニ米ノ穫レルコトニナリマ  
スカラ、本法案ガ通りマシタ後ハ、斯ウ云  
フ方面ニ積極的ノ施策ヲ施シテ戴キタイト  
思ヒマス、是ハ唯事例ヲ自分ガ知ツテ居リ  
マスル所ニ取ツテ申上ゲタノデアリマシテ、  
斯ウ云フコトハ關東旱害地帯、其ノ他全國  
ノ旱害地帯ニ多スアルコトデゴザイマス

○岸政府委員 度々此ノ席デ申上ゲマシタ  
ヤウニ、御示シノヤウナ有效ナモノニ付テハ  
十分考慮シテ、サウシテ一年デモ早ク效果ノ  
舉ガルヤウニスルコト云フ方針デ進ンデ居リ  
マス

○大石(大)委員 本委員會開會ノ初メニ於  
キマシテ、大臣ニ對スル質問ハ、特ニ通告ヲ  
シテ置カナケレバ出來ナイト云フコトデア  
ツタサウデアリマスガ、私ハ二日遅レテ此  
ノ委員會ニ入ツタノデ、ソレヲ知ラナカツ  
タノデアリマス、隨テ大臣ニ質問スル機會  
ノナカツタコトハ、甚ダ遺憾デゴザイマス、  
併シ昨日ノ委員長ノ宣告ハ、大臣ニ對スル  
質問ハ一先ヅ打切ルト云フ御話デアリマシ  
タカラ、若シ今日、明日デモ御出席ニナリ  
マシテ、其ノ機會ガゴザイマシタナラバ、  
大臣ニ對スル質問ヲ御許シテ願ヒタイト思  
ヒマス、是ダケ要望ヲ致シマシテ、二、三  
政府委員ノ方ニ御尋ネ致シタイト存ジマス  
此ノ農地開發事業ノ遂行ノ甚ダ困難ナコ  
トハ、過般來各委員一様ノ主張ノヤウニ見  
エマス、殊ニ只今ノ小平君ノ御尋ネハ、  
今肥料ノ不足、勞力ノ不足ノ爲ニ、荒廢シ  
テ居ル、田畑ヲ早ク回復スルコトガ、急務  
デハナイカト云フ御尋デアツテ、之ニ對シ  
マシテ政府委員ノ方々ハ、議員俱樂部ノ要  
望セラレテ居ル三千万圓カノ、アレガ實現  
スルコトニナレバ、俱樂部ノ協力等ニ依ツ

テ、其ノ回復ヲ速カナラシメルト云フヤウ  
ナ、御答ヘノヤウニ拜聴致シテ居リマス、  
新聞紙ニ依リマス、部落總動員、篤農家  
ノ總動員ヲ以テ、増産ノ挺身隊トスル如ク  
出テ居リマス、併シ如何ニ部落協同力致シ  
マシテ、篤農家方總動員致シマシテモ、肥  
料ノ不足ト努力ノ不足ガ原因デアリマスナ  
ラバ、私ハ其ノ手段ノミニ依ツテハ、此ノ  
荒廢地ノ回復ハ幾ラカハ出來マセウガ、ソ  
レヲ以テ萬全ノ手段トハ考ヘラレマセヌ、  
私ハ四國デアリマスガ、四國邊リハ山ノ上  
マデ、アノ通り是マデ變テ作ツテ來タ、所  
ガ金肥ノ不足ノ爲ニ、堆肥ヤ人糞ヲ山ノ上  
マデ持ツテ行ク努力モナイシ、ソレデハ引  
合ハナイカラ、一昨年以來是ガ次第ニ荒廢  
致シマシテ、今日四國デハ殆下山ノ上ニ麥  
ヲ播イテ居ナイ、斯ウ云フ原因ガアリマス  
カラ、部落ノ總動員ニ致シマシテモ、部落  
ノ努力デモ同ジコトデアリマス、唯人ノ協  
力ト云フ點ニ於テ、ソレハ幾ラカ出來マセ  
ウ、併シソレヲ以テ此ノ減收ヲ克服スル有  
力ナル手段トハ考ヘラレマセヌ、モウ一應  
之ニ對シマシテ、具體的ノ説明ヲ御願ヒシ  
タイト思ヒマス

○岸政府委員 先程ノ説明ガ足リナカッタ  
カト思ヒマスガ、固ヨリ増産計畫ニ付キマ  
シテハ、從來ヤツテ居リマシタヤウナ施設  
ニ付テ、十分ノ手配ヲシテヤル積リデアリ  
マス、唯斯ウ云フ時デアリマスノデ、單ニ  
從來ノ施設ダケデ、肥料ノ配給ヲシ、努力  
ノ調整ヲスルト云フダケデハ、足りナイト  
思ヒマス、ドウシテモ細カク指導ノ届クヤ  
ウニシナケレバナラヌト云フ考ヘ方デ、過  
日モ總務局長カラ御話申上ゲマシタヤウニ、  
中央ニ技術本部ヲ作り、地方ニ於テモ技術

ノ指導本部ヲ作り、或ハ郡ニ於テハ郡農會  
ヲ中心トシテ指導本部ヲ作り、サウシテ更  
ニ此ノ手ヲ町村ヨリ部落ニ延バシテ、各方  
面ノ協力ニ依ツテ相努メルコトガ一番大切  
デハナイカ、殊ニ色々指導ハシテ居ルノデ  
アリマスガ、ソレガ動モスレバ部落ニ徹底  
シナイ、徹底シナイ爲ニ效果ガ擧ラナイ、  
例ヘバ努力ノ調整ヲスルト云ウテモ、考ヘ  
方ガ徹底シナケレバ、折角ヤツタコトガ效  
果ガ擧ラナイ、斯ウ云フ風ニスレバ努力ガ  
産ミ出セテ、ソレデ荒廢地ヲ復舊シ得ルト  
言ツテモ、協力スルコトヲシナイ、金肥ニ  
比スレバ多少質ガ劣ルカモ知レナイガ、金  
肥ノ代リニナル堆肥ヲ利用スルコトヲセズ  
ニ遊バセテアル、遊ンデ居ル堆肥ノ原料ニ  
ナルモノヲ、有效ニ利用スル部落ノ共同施  
設ガナイ、即チ指導ガ足リナカッタ、若シ  
先程ノヤウナ金ガ行クコトニナリマスレバ、  
今度ハ部落ノ組合長ヲ中心トシテ、サウ云  
フコトガ徹底スル、徹底スルコトニ依ツテ、  
從來ノ補ヒヲシ得テ、隨テ解消シ得ルノデ  
ハナイカ、斯ウ云フヤウナ意味合デ申上ゲ  
タノデアリマス、是等ノコトニ對シテハ、  
無論從來ノ施設ノ普及ト相俟ツテ之ヲヤツ  
テ行ク、斯ウ云フ考ヘデアリマス

○大石(大)委員 近來農民ガ農業ヲ逃避ス  
ルガ如キ傾向ノアリマスコトハ、一般ノ認  
メテ居ル所デアリマス  
〔委員長退席、吉植委員長代理着席〕  
固ヨリ努力ノ不足、肥料ノ不足等ニ依ツテ、  
百姓シテモ農家經營ガ立ツテ行カナイト云フコ  
トガ原因ノヤウデアリマス、殊ニ米ガ他ノ農産  
品ト比較致シマシテ、其ノ價格ガ安イト云フコ  
トモ、是亦最早多ク申上必要ハナカラウト思  
ヒマス、サウ云フ傾向デ四國方面ガ特ニサウ

デアリマセウガ、段々ト米麥ヲ避ケテ他ノ農作  
物ニ行カウトスル傾向ガ非常ニ濃厚デアリマ  
ス、昨年アタリハ西瓜或ハ蘭草、西瓜ノ如キモ  
ノハ農會ナドデモ獎勵ヲ致シマシタガ、疊  
表ナドト云フモノハ何人モ獎勵ヲ致シマセ  
ヌケレドモ、之ヲ作ルコトニ依ツテ家計ノ  
收入ガ大キイモノデアリマスカラ、誰言フ  
トナク、ソレニ農家ガ進ンデ行ク、併シ戰  
時下食糧増産確保ノ喧シイ今日、食糧以外  
ノモノヲ作ルト云フコトハ、非國民的デハナ  
イカ、斯ウ云フ風ニ縣當局アタリモ御叱リ  
ニナルヤウデアリマスガ、ソレハ尤モデア  
リマス、併シ農民ハ此ノ時局ニ對シマシテ  
犠牲心ハ自分ハ持ツテ居リマスケレドモ、  
到底引合ハナイモノヲ作ツタノデハ赤字ノ  
累積ニ依リマシテ、數年ナラズシテ經濟的  
ニ崩壞スル、斯ウ云フ所カラ來テ居ルト思  
フ、サリトテ米麥ノ價格ヲ上ゲルト云フ  
コトハ、低物價政策ノ上カラ出來マスマイ、  
所詮米ノ公定價格ト云フモノハ適正價格デ  
ハナイト思フ、或ハ其ノ生産費ヲ引キ、之  
ニ一定ノ利潤ヲ見タル場合、適正價格デハ  
ナイト思ヒマスガ、是ハサウセネバナラス、  
即チ政策上ノ適正價格ダト思フ、所謂經濟  
ノ自由ニ立ツタ所ノ適正價格デハナクシテ、  
政策上ノ適正價格デアルト思ヒマス、サ  
ウ致シマスナラバ、此ノ生産ヲ増加スル上  
ニ於テ、他ノ重工業ノ方ニ於キマシテハ色  
色ノ方法ヲ執ツテ居ルヤウデアリマスガ、  
ヤハリ此ノ補助トカ、或ハ生産者ノ獎勵金  
トカ云フヤウナ、價格ヲ上ゲズシテ別途ノ  
方法デ經濟ノ原理ニ立脚シタ適正價格マデ、  
價格ハ引上ゲマセヌデモ、ソレト同ジヤウ  
ナ結果ヲ得ラレルヤウナ政策ニ對シテ御考  
ヘハアリマセヌデセウカ、之ヲ伺ヒマス

○岸政府委員 米麥ノ増産ニ對スル獎勵金  
ニ付テ考ヘハナイカ、斯ウ云フ御話デゴザ  
イマスガ、其ノ前提ニナリマシタ米價ノ問  
題ニ付テハ、モウ度々各種ノ委員會、豫算  
總會等ニ於テ大臣カラモ御話ガアツタ通り  
デアリマスノデ、繰返シテ申上ゲルコトモ  
ナイト思ヒマス、増産獎勵ニ付テモ大臣モ  
御話ニナリマシタヤウニ、米價ト關係ヲ持  
ツコトニモナリマスノデ、是ハ慎重ニ考慮  
シタイト云フ御話デアリマス、私共モ左様  
ニ考ヘテ居リマス

○大石(大)委員 昨年ノ議會ニ於キマシテ  
穀物ノ検査法ガ通過ヲ致シテ居リマス、最  
モ問題トナリマシタノハ手數料關係デアリ  
マシテ、五百萬圓程ノ手數料ヲ以テ穀物檢  
査ノ費用ニ充當スル、所ガ時ノ農林大臣ハ  
大藏省ノ方ニ交渉ヲシテ、五百萬圓ノ財源  
ヲ得テ、サウシテ手數料ヲ取ラナクテモ宜  
イ状態ニナツテ初メテ此ノ法律ヲ施行サセ  
ヨウト云フコトヲ言ハレタヤウニ聞イテ居  
ルノデアリマスガ、今以テ施行ニナリマセ  
ヌノハサウ云フコトニ原因シテ居ルノデア  
リマセウカ、又他ニ何カ理由ガアツテ、施  
行ニナラヌノデアリマセウカ、此ノ點ヲ先  
ヅ伺ヒタイト思ヒマス

○岸政府委員 穀物検査ノ施行ガ色々延ビ  
延ビニナツテ居リマス事情ニ付キマシテハ、  
内務省關係ノコトモ固ヨリアツタラウト思  
ヒマスガ、詳細ノコトハ私一寸記憶シテ居  
リマセヌノデ、直グ調べサシテ御返事申上  
ガマス

○大石(大)委員 農村ニ勞働力ノ不足致シ  
テ居リマスルコトハ申スマデモナイコトデ  
アリマス、昨年本院ヲ通過致シマシタ穀物  
検査法ニ依リマスレバ、現在各府縣デヤツ

テ居リマス検査ヨリハ餘程其ノ程度ガ低イ、  
緩和サレテ居ル、俵モ單俵デモ宜イ、古俵  
デモ宜イト云フ所マデ御話ガ出來タノデア  
リマスガ、サウ致シマス早ク此ノ法律ガ  
施行セラレテ居リマスナラバ、各府縣ノ農  
村ノ勞力ヲ省クコトガ夥シイト思ヒマス、  
固ヨリ各府縣別ニヤツテ居リマスカラ一様  
ニハ申サレマセヌガ、大體明治四十三年頃  
カラ始メマシタ府縣ガ相當多イノデアリマ  
ス、新俵ノ二重俵ニ縦繩ヲ掛ケマシテ横ニ  
五ツ結ビマス、ドンナ腕達者デモ一日ニ  
一俵シカ出來マセヌ、今小作人ガ一番苦痛  
トシテ居ルノハ是デアリマス、直チニ此ノ  
法律ガ施行出來ナイト致シマスナラバ、何  
カ地方廳ニ指揮致シマシテ、假令戰時中ダ  
ケデモ、アノ嚴格ナル、殆ド必要以上ニ嚴  
格ナル調製選別ノ検査ト申シマセウカ、之  
ヲ緩和スルヤウニ地方廳ニ指揮ヲナサルヤ  
ウナ御考ヘハナイデアリマセウカ、之ヲ  
ナスコトニ依リマシテ農村ノ大ナル勞力ガ  
省カレルト思ヒマス

○岸政府委員 穀物ノ検査ニ於ケル所ノ表  
裝規格等ヲ緩和スルト云フコトニ依ツテ勞  
力ガ省カレル、斯ウ云ツタヤウナ御話ハ洵  
ニ御尤モナ御話デ、昨日モ何カ俵ノ製造ニ  
付テ大分御話ガアリマシタガ、サウ云ツタ  
方面ニ工夫スルコトニ依ツテ、勞力ノ問  
題モ相當緩和サレルト云フコトハ御同感デ  
ゴザイマス、サウ云フヤウナ點ニ付キマシ  
テ十分私共ノ方モ研究致シマシテ善處シタ  
イト考ヘテ居リマス

○大石(大)委員 更ニ御尋ネ致シタイノハ、  
先刻司法當局ニ伺ヒマシタ永小作ノ問題デ  
アリマス、十三年ノ春ノ議會ト思ヒマスガ、農  
地調整法ガ審議セラレマシタ際ニ、農地ノ

調整ヲスル此ノ法律ニ、舊慣永小作權ノ處理  
ノ條項ガナイコトハ甚ダ不自然デアアル、是  
ガ委員會ヲ擧ゲテノ主張デアリマシテ、遂  
ニ修正ヲスルト云フコトニ至ツタノデアリ  
マス、所ガ時ノ農務當局ハ調査ガ不十分ナ  
點ガアルカラ、十分調査ヲシテ明年ノ議會  
ニ提案ヲスル、斯ウ云フコトヲ誓ハレタノ  
デアリマス、ソレガ故ニ委員會ニ於キマシ  
テハ、必ズ明年ノ議會ニ提案ヲナスベシト  
云フ附帶決議ヲ付シマシテ、委員會ハ通過  
シ、本會議モ其ノ通りニナツタノデアリマ  
ス、所ガ其ノ翌年、即チ十四年ノ春ノ議會  
ニ於キマシテ、請求致シマシタ所ガ、今ハ時  
局中デアアル、此ノ時局ガ終リ次第ニサウ云フ  
立法ヲスルト云フコトデアリマシタ、其ノ當  
時ハ或ハ事件不擴大、現地解決ト云フヤウ  
ナ聲モアツタ時代デアリマスカラ、事變ハ一  
年スレバ濟ムデアラウト御考ヘニナツタノ  
デアリマセウケレドモ、今日ハ事變ガ何時終  
了スルカ、是ハ何人モ見透シガ付キマセヌ、  
所デ此ノ舊慣永小作權ハ、御承知ノ通り民  
法施行法第四十七條ノアノ三項ニ規定シテ  
アリマス、アノ規定ハ即チ永小作權ハ五十年  
ノ後ニ消滅スルト云フ規定デアリマス、所ガ  
五十年ノ曉ニハ無償デ地主ニ取ラレルト云  
フコトデハ、モウ其ノ期限ハアト七年ノ後  
ニ迫ツテ居リマス、是ハ相當農村ノ金融ナ  
ドニ付キマシテハ、擔保ニモ入ツテ居ル、  
或ハ擔保ニモナル、所ガモウアト七年シカ  
ナイト云フコトデ、其ノ價值ガ非常ニ低ク  
ナツテ居ル、殊ニ又永小作權者ハドウナル  
カ分ラスト云フ、非常ナ不安ヲ持ツテ居リ  
マス、是等ノ不安ヲ持チマスコト自體ガ、  
増産上非常ナ影響ガアル譯デアリマス、此  
ノ解決ハ私ハ事件ノ濟ム迄ハ待ツベキデナ

イ、速カニ解決ナサナケレバナラスコトダ  
ト考ヘテ居リマスガ、先刻司法當局ノ御話  
デハ農林省ノ調査ヲ待ツテ居ル、農林省ノ  
調査ガ終ツタナラバ、司法省ノ方デハ考ヘ  
ルト云フ御答辯デアリマシタ、然ラバ農林  
省ノ方デハ、ドノ程度マデ御調査ガ濟ム、  
凡ソ今後幾何ノ後ニ其ノ制度ト申シマスカ、  
永小作ノ調整ノ制度ガ出來ルデアリマセウ  
カ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○岸政府委員 舊慣永小作ノ問題ニ付キマ  
シテハ、成程農地調整法ガ通過致シマスル  
際ニ、政府ハ永小作權ニ付テ速カニ調査ノ  
上、所有者及ビ永小作權者雙方ノ地位ノ安定  
ノ方策ヲ講ズルコトト云フ、附帶決議ガゴ  
ザイマシタ、ソレニ從ヒマシテ、農林省ト  
致シマシテハ、色々ナ詳細ナ調査ヲ地方ニ  
問合ハセテヤツテ居リマシテ、其ノ一部ハ  
御手許ニ差上ゲテ居リマス通りデアリマス、  
固ヨリ私共モ其ノ御決議ニ對シテハ、責任  
ガゴザイマスノデ、一日モ早ク考ヘ方ヲ決  
メタイト考ヘテ居リマスガ、マダ法律ニ依  
ルカ或ハ其ノ他ノ措置ニ依ルカニ付テ決メ  
ルニハ、モウ少シ調査ヲ致シタイト思ツテ  
居リマス

○大石(大)委員 重ネテ申上ゲマス、此ノ舊  
慣永小作權ニ付キマシテハ、大藏省ノ既ニ現  
在ノ地租法ノ七十條ノ二項ノ規定ニ依リマ  
シテ、アレヲ自作農ト認メテココマデ永小作  
權ノ權利ト申シマセウカ、資格ト申シマセ  
ウカ、ソレヲ尊重セラレテ居リマスシ、其  
ノ制度ノ根本改革ニ依ツテ、アノ舊慣永小  
作權ガ尊重セラレテ居ル、然ルニ農地行政  
ヲ管轄セラレマス農林省ガ、其ノ後既ニ十  
五、六年經ツテ、マダ調査中デアルト云  
フコトハ、私共甚ダ遺憾デアリマス、ドウ

カアノ地租法ノ七十條ノ二項ナドト睨合ハ  
セテ下サイマシテ、速カニ何カノ處理方法  
ヲ御執リ下サランコトヲ希望致シマス、私  
共ガ陳情ニ參リマス際ニハ、斯ウ云フコト  
ヲ多ク申スデアリマス、ソレハ決シテア  
レハアノ儘ニ放ツテ居ルノデハナイ、マダ七  
年ノ期間ガアルデハナイイカト申サレマスガ、  
七年ニ迫リマスト永小作ノ價值ト云フモノ  
ハ低クナツテ居ルカラ、擔保ナドニモ此ノ  
頃ハ取りマセヌ、高知縣ナドデハ擔保ニハ  
取ラヌノデアリマス、是マデハ信用組合モ  
其ノ他ノ金融業者モ取ツテ居リマシタガ、  
此ノ頃ハモウ取りマセヌ、ダカラ農村ノ金  
融ノ圓滑ヲ圖ル上カラ申シマシテモ、何ト  
カ早ク處理シテ戴カナケレバ困リマス、ソ  
レカラ先般農地ノ公定價格ガ決定セラレタ  
ノデアリマスガ、此ノ農地ノ公定價格ノア  
ノ法規ト、此ノ小作權ノ關係ハドウナルデ  
アリマセウカ、永小作ノミニ價格ヲ決メル  
即チ永小作ニ屬スル土地ハ、價格ヲ二本建  
ニスルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、此  
ノ關係ハドウ云フコトニナツテ居リマスカ、  
其ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○岸政府委員 大藏省ハ稅制ノ關係デ、永  
小作ヲ自作農ニ準ジテ行フ、斯ウ云フノニ  
對シテ農林省ノ態度ハ、少シ遲疑シテ居ル  
ノデハナイイカト云フ御尋ネデアリマシタガ、  
是ハ大臣ガ昨日御意見ヲ申シマシタヤウニ  
自作農ヲ立テルト云フコトノ考ヘ方ニ付テ  
ハ進ンデ居ル、左様ニ考ヘテ居リマス、ソ  
レカラ永小作關係ト農地價格統制令トノ關  
係ニ付テ御話ガアリマシタガ、農地價格統  
制令ニ於キマシテハ、永小作ノ關係ハ取除  
イテアルト考ヘマス、ソレカラ尙ホ序デニ  
先程御話ニナリマシタ國營穀物検査ノ問題

デゴザイマスガ、是ハ私甚ダ迂闊デゴザイマシテ——實施スル積リデ協議ヲ進メテ居ツタノデゴザイマスガ、御承知ノヤウニ米穀事情ト云フモノガ非常ニ變化ヲシテ參ツテ居リマス、又只今御指摘ノヤウナ事情モアルノゾ、更ニ根本的ニ研究スルト云フヤウナ意味合ニ於テ、再檢討ヲシテ居ルト云フヤウナ状態デゴザイマス、御諒承願ヒマス

○大石(大)委員 米穀事情ノ變ツテ來タコトハ、私共ハ承知シテ居リマス、サレバ昨年モソレガ論議ノ中心トナツタノデアリマス、是マデ各府縣デヤツテ居リマス所ノ検査ガ、詰リ商價値ヲ上ゲヨウ、市場ノ聲價ヲ上ゲヨウト云フコトニ重點ヲ置イテ、アノ検査ガ出來タ、併シ昨年制定セラレタ法案ハ、各地方デヤツテ居ルモノヨリ非常ニ樂ニナツテ居リマスカラ、一層此ノ米穀事情ノ違ツタ今日、惡イモノデモ澤山生産シナケレバナラヌト云フ時代ニ變ツテ參リマシタカラ、一日モ早クアノ峻嚴ナル検査制度ヲ布イテ居ル地方ニ對シテ、何カ調整ノ方法ヲ執ツテ戴キタイト云フコトヲ申上ゲテ、私ノ質問ヲ終リマス

○吉植委員長代理 愛野君

○愛野委員 私ハ極ク簡單ニ少シ御伺ヒシタイト存ジマス、前ニモ聴カレタカモ知レマセヌガ、今日ノ農村政策ノ一番大事ナコトハ、米ヲ増産スルト云ツタコトナドカラ考ヘテ見マシテモ、非常ニ技術者ヲ大切ニシナケレバナラヌト思フノデアリマス、農林省方面デハ、其ノ點ニ付テハドウ云フ風ナ御考ヘフシテオイデニナリマスカ

○岸政府委員 農林省ノ方ニ於キマシテモ、斯ウ云フ時代ニ於テ技術ノ總動員ヲスル、

技術ノ本當ノ力ヲ發揮スルト云フコトニ對シテハ、一番大切デアルト考ヘテ、十分技術關係官ノ優遇ニ付テ考慮致シテ居リマス

○愛野委員 例ハバ農家方面カラ奉職シテ居ル技術者ノ待遇方法其ノ他、サウ云ツタコトデモ具體的ニ御考ヘニナツテオイデニナルト仰シヤラレルノデアリマスカ

○岸政府委員 技術方面ト事務方面トノ關係ハ、色々其ノ性質モ違ツテ居リマスカラ、一樣ニ行クト云フ譯ニハ行カヌト思ヒマスガ、往年ハ色々問題モゴザイマシタ、併シ今日ニ於テハ略、進級、昇給等モクツ付イテ進ンデ居ル、斯ウ云フ状態デゴザイマス

○愛野委員 其ノ點ハ此ノ程度ニ致シテ置キマシテ、私ハ農地ノ擴張ニ付テ伺ヒマス、今日ノ農村ニ對シテ土地ノ交換分合、或ハ共同耕作ト云ツタヤウナコトヲ、今少シ徹底シテ進メタナラバ、生産擴充方面ニモ、モウ少シ役立ツヤウナ效果ガ舉ツテ來マセヌカト私ハ考ヘルノデアリマス、特ニ日本ノ農村ニ於テハ、極メテ零細ノ農業ヲ營ンデ居リマス關係上、畦道ト云フノガ實ニ澤山アル、是ガ非常ニ耕作其ノ他ニ付テ邪魔ニナツテ居ルト私ハ思フノデアリマスガ

○岸政府委員 御指摘ノ點御尤モダト考ヘマス、土地ノ交換分合等ニ付キマシテハ、多少ノ獎勵金モ交付シテ促進ヲ圖リ、又共同耕作ニ付キマシテモ、助成ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマスガ、モツト之ヲ徹底サセルト云フコトニ付テハ、更ニ努力ヲ致サナケレバナラヌト考ヘテ、今研究中デゴザイマス、只今勞務關係者ノ會議等モ開

キマシテ、サウ云フヤウナ點ニ付テモ打合セヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ畦畔ノ面積ヲ耕地ニ利用スルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、最近ニ於テ畦畔ヲ「コンクリート」ニスルト云フヤウナコトニシテ、成ベク其ノ地積ヲ耕地ニ使フヤウナコトニ付テモ、水利施設等ニ於テヤツテ居ルヤウナ次第デゴザイマス

○愛野委員 此ハ此ノ點ガ實ニ現在ノ農村政策トシテハ、大事ナコトデハナイカト思フノデアリマス、土地ノ交換分合、或ハアノ畦畔ヲ出來ルダケ少クスル、サウ云ツタコトニ依ツテ、現在農村ガ勞力不足ヲ來シテ居ル、或ハ極メテ不合理ニ經營ヲヤツテ居ルト云ツタモノニ對シテ、農村ノ機械化

或ハ其ノ他ノ合理經營ト云ツタヤウナモノガ、指導サレ得ルノデヤナイカト云フ風ニモ考ヘルノデアリマス、今日ノ農村政策ノ現状カラ考ヘテ見マシテ、一番大事ナコトハ、何トシテモ生産擴充デアリマスノニ拘ラズ、ドウモ旨ク是ガ實效ヲ發揮シテ居ナイヤウナ氣ガ致スノデアリマス、例ハバ今度ノ翼贊會運動等ノ如キニ致シマシテモ、此ノ組織ガ強化サレテ、益、一種ノ政治運動

的ナ意味合ヲ持ツテ來タ場合ニ於テハ、現在ヨリ以上ニ農村ノ生産擴充力ト云ヒマスカ、農村デ實際ニ農業ニ奮闘スルト云ツタヤウナ形ノ人々ガ、今マデヨリ以上ニ政治的ニ動員サレル機會ガ多クナツテ來ハセヌカト、私ハ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハ農林當局ノ方ハ、ドウ云フ風ニ御考ヘニナツテオイデニナリマセウカ

○周憲政府委員 御質問ノ點ハ、大政翼贊會等ノ關係カラ、段々政治的ニ關係スルヤウニナリハセヌダラウカト云フ、御尋ネデ

アツタヤウニ思ヒマス、一寸質問ノ要旨ガ……

○愛野委員 私ガ申上ゲタノハ斯ウデス、大政翼贊會バカリデハナイノデアリマスガ、今マデモサウ云フ風ナ例ニナツテ居ルト思ヒマスガ、色々政治的意味ヲ持ツタ會ガ澤山アルノデアリマス、政治的ナ意味デナクテモ構ハヌ、或ハ警防團トカ、或ハ在郷軍人分會トカ、或ハソレニ今度翼贊會ト云フヤウナモノモ殖エテ來ルノデアリマス、是ナドモ將來政治的意味ヲ持ツテ來ルノデアリマセウガ、斯ウ云ツタモノガ澤山出來ルコトニ依ツテ、實質的ニ地方デ生産擴充ニ働イテ居ル一部分ノ人ガ、多ク動員サレテ行クト云ツタヤウ、形ニナツテ來ルト思フノデアリマス、サウ云フ風ナコトハ、農村ノ生産力擴充ニ餘程關係シテ來ルノデアリマス、サウ云フ場合ニ對シテハ、農林省トシテハ何カ御考ヘニナツテオイデニナリマスカ

○村上委員長 其ノ點私カラ御答ヘシテ置キマス、少シ今ノ御質問トハ意味ノ違フ所モアルガ、ソレニ關シタ質問ハ昨日小串君カラアリマシテ、服部君ノ關聯質問モアリ、ソレハ今日カ明日ニナルカモ知レマセヌガ、大臣カラ其ノ運動ノ統一ト言ヒマスカ、組織ナドニ付テ、答辯ガアルコトニナツテ居リマスカラ、之ヲ以テ政府委員カラノ答辯ニ代ヘルコトニ、御諒承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス——平野君

○平野(力)委員 極メテ簡單デスガ、午前中ニ私カラ警保局長ニ伺ヒマシタコトニ依ツテ、内務省ノ新潟縣ニ於ケル農業盡忠會ニ對スル考ヘ方ハ稍、ハツキリシタノデスガ、農林當局ト致シマシテ、此ノ新潟縣ニ於ケ

ル農業盡忠會ガ出來マスル時ニ、色々御相  
談ガアリマシタカドウカ、ソレカラ其ノ後  
盡忠會ノ運動ニ對シテ、ドウ云フ感想ヲ持ツ  
テ居ラルルカ、ソレカラ今後ノ盡忠會ニ對  
シテドウ云フ方針ヲ持タルルカ、此ノ三點  
ヲ大體承リタイノデアリマス

○周東政府委員 便宜私カラ御答ヘシマス  
ガ、新潟縣ノ盡忠會ノ結成組織サレル事柄  
ニ付キマシテハ、別ニ農林省ノ方ニ豫メノ  
連絡ハアリマセヌデシタ、現在マデノ盡忠  
會ノ動キト云フモノニ付キマシテハ、午前  
中警保局長カラ御話ノアリマシタヤウニ、  
或ル部分ニ付キマシテハ、稍、適當デナカラ  
ウト思ハレル點モアルト云フ御答辯ガアリ  
マシタガ、私共ノ方デモ同様ニ考ヘテ居リ  
マス、將來農村ノ運動、殊ニ現下最モ必要  
ナ生産維持、増産ト云フ事柄ノ目的ヲ達成  
致シマスル上ニ於キマシテハ、特ニ農村ニ  
於ケル耕作農民ノ眞摯ナル努力ヲ御願ヒシ、  
協力ヲ御願ヒシナケレバナラヌ譯デアリマ  
スル際ニ於キマシテ、ソレ等ノ農民ニ對ス  
ル關係ニ於テ、種々ノ御協力ヲ願フニ付テ  
必要ナル行動ニ付キマシテハ、農林省ハ内  
務省ナリ地方廳ト能ク連絡ヲ致シマシテ、  
適當ナ方法ヲ進メテ行キタイ、斯様ニ考ヘ  
テ居リマス

○平野(力)委員 サウ致シマスルト、大體  
其ノ團體ガ出來ル時ニハ相談ガナカッタガ、  
現在ハ其ノ善イ部分ニ付テハ認メル、惡イ  
部分ニ付テハ改メル、斯ウ云フ御意見ニ伺  
ヒマス、私ハ斯ウ云フコトヲ一ツ特ニ承ツ  
テ置キタイト思ヒマスガ、此ノ盡忠會ノ規  
約ノ第三條ニ、會員相互ノ間ノ耕作問題ニ  
關スル紛争議、並ニ解決斡旋ニ關スル事項、  
斯ウナツテ居リマスガ、紛争議ノ未然防止、

是ハ大變結構ナコトデアアル、結構ナコトデ  
アリマスガ、特ニ此ノ問題ヲ掘下ゲテ承ツ  
テ置キタイト思フコトハ、斯ウ云フコトニ  
ナラウト思フノデス、未然ニ防止ヲスルト  
云フコトヲ警察ノ署長ガヤルト云フコトニ  
ナリマスルト、争議ノ件數ト稱スルモノハ  
非常ニ少クナリマスルケレドモ、農地調整  
法及ビ小作調停法ニ依ル農村ニ於ケル所ノ、  
所謂小作問題ノ解決ノ方法ト云フモノハ、或  
ル意味ニ於テ相當ニ制限ヲサレルト云フコ  
トニ是ハ當然ナリマス、隨テ此ノコトヲ表  
面解釋カラ行キマスルナラバ、洵ニ吾々共結  
構デアルト云ウテ贊成ヲ致サナケレバナリ  
マセヌケレドモ、實情カラ申シマスルト、  
農地調整法及ビ小作調停法ニ於テ規定サレ  
テ居リマス所ノ運用ノ精神ガ、稍、躊躇サレ  
テ居ルデハナカラウカ、此ノ點ヲ農林當局ニ  
於テ何ト御考ヘニナルカト云フ點、ソレカ  
ラ是ハ新潟縣ダケニ出來テ居ルコトデアリ  
マスルガ、是ガ宜イコトデアルト云フノデ  
アリマスナラバ、恐ラク新潟縣ダケガ日本ニ  
特殊ノ事情ト云フ譯デアリマセヌノデ、  
日本全國ニ斯ウ云フモノヲ御獎勵ナサル、斯  
ウ云フコトニナツテ然ルベキデアラウト思  
フシ、宜シクナイト云フノデアリマスナラバ、  
新潟縣ダケニ斯ウ云フモノヲ御認メニナル  
ト云フコトナクシテ、何等カノ方法ニ依ツ  
テ之ヲ統制ナサルト云フコトデナケレバ、  
現在農林當局ガ農業團體ノ統制ト云フヤウ  
ナコトヲ、一方ニ提唱セラレテ居リマス所ノ、  
其ノ方針トハ相矛盾スルコトニナリマスノ  
デ、議會デ色々御聽キスル問題トシテハ、  
或ハ甚ダシク地方問題ノヤウニ考ヘラレマ  
スルケレドモ、斯ウ云フ問題ニ係ハル當事  
者カラ行キマス、斯様ナ問題ハハツキリ

○周東政府委員 小作料ニ關スル問題ニ付  
キマシテハ、大體農地委員會等ニ於テ是ガ  
取扱ヲスル、又紛争議ノ調停等ニ付テハ、御  
案内ノヤウニ縣ノ小作官モ居リマス、裁判  
所ノ判事モ關係シテ居リマス、其ノ點ニ付  
キマシテハ、農村ノ事情ニ能ク精通シタ方  
面ノ方々ガ指導シ斡旋シ、紛争議ヲ調停スル  
ト云フコトニナツテ居リマス、其ノコトニ  
付テハ農林省ハ聊カモ方針ハ變ヘテ居ル譯  
デアリマセヌ、御話ノヤウニ盡忠會等ハ、  
特殊ニ必要ニ基イテ、或ハ新潟縣等ニ於テ  
一時出來タノデアラウト思ヒマス、併シ其  
ノ必要ト云フモノガナクナレバ、ヤハリ本  
然ノ姿ニ還ツテ、小作官ナリ或ハ農地委員  
會等ガ、是等ノ事柄ニ關シテ活動シテ行ク  
ト云フコトデナケレバナラヌト考ヘテ居リ  
マス、第一點、新潟縣ダケニ付テ之ヲ認メル  
ト云フコトデアリマスガ、新潟縣ニ於キマ  
シテハ、只今申シマスヤウニ特殊ニ必要デ、  
特殊ナ事情ニ依ツテ出來タノデアラウト思  
フノデアリマス、兎ニ角成立ノ時ニハ、先  
程モ申シマシタヤウニ、特ニ連絡ガアツタ  
デアリマス

○平野(力)委員 サウ致シマスルト、大體  
其ノ團體ガ出來ル時ニハ相談ガナカッタガ、  
現在ハ其ノ善イ部分ニ付テハ認メル、惡イ  
部分ニ付テハ改メル、斯ウ云フ御意見ニ伺  
ヒマス、私ハ斯ウ云フコトヲ一ツ特ニ承ツ  
テ置キタイト思ヒマスガ、此ノ盡忠會ノ規  
約ノ第三條ニ、會員相互ノ間ノ耕作問題ニ  
關スル紛争議、並ニ解決斡旋ニ關スル事項、  
斯ウナツテ居リマスガ、紛争議ノ未然防止、

結末ヲ付ケテ置イテ載カスト、吾々ト致シマ  
シテ洵ニ困ル問題ガ起リマスノデ、要約致シ  
マスレバ、此ノ盡忠會ノ第三條ニアル争議未  
然防止ト云フコトヲ警察署長ガヤルト云フコ  
トト、農地調整法、小作調停法トノ關係ハド  
ウナルカ、ソレカラ新潟縣ダケニ斯ウ云フ  
モノヲオヤリニナルト云フコトモ、所謂地  
方問題トシテ宜イモノデアラナラバ、全國  
ニオヤリニナリ、惡イモノデアラナラバ、  
新潟縣ダケデモヤラセヌ、斯ウ云フコトガ  
宜イト思フノデアリマスカラ、此ノ二點ニ  
付テハツキリ御答辯ヲ得テ見タイト思フノ  
デアリマス

○周東政府委員 小作料ニ關スル問題ニ付  
キマシテハ、大體農地委員會等ニ於テ是ガ  
取扱ヲスル、又紛争議ノ調停等ニ付テハ、御  
案内ノヤウニ縣ノ小作官モ居リマス、裁判  
所ノ判事モ關係シテ居リマス、其ノ點ニ付  
キマシテハ、農村ノ事情ニ能ク精通シタ方  
面ノ方々ガ指導シ斡旋シ、紛争議ヲ調停スル  
ト云フコトニナツテ居リマス、其ノコトニ  
付テハ農林省ハ聊カモ方針ハ變ヘテ居ル譯  
デアリマセヌ、御話ノヤウニ盡忠會等ハ、  
特殊ニ必要ニ基イテ、或ハ新潟縣等ニ於テ  
一時出來タノデアラウト思ヒマス、併シ其  
ノ必要ト云フモノガナクナレバ、ヤハリ本  
然ノ姿ニ還ツテ、小作官ナリ或ハ農地委員  
會等ガ、是等ノ事柄ニ關シテ活動シテ行ク  
ト云フコトデナケレバナラヌト考ヘテ居リ  
マス、第一點、新潟縣ダケニ付テ之ヲ認メル  
ト云フコトデアリマスガ、新潟縣ニ於キマ  
シテハ、只今申シマスヤウニ特殊ニ必要デ、  
特殊ナ事情ニ依ツテ出來タノデアラウト思  
フノデアリマス、兎ニ角成立ノ時ニハ、先  
程モ申シマシタヤウニ、特ニ連絡ガアツタ  
デアリマス

○周東政府委員 農地制度ノ根本問題ニ關  
シマシテハ、本委員會其ノ他ニ於テモ、度  
譯デハナイノデアリマシテ、特殊ノ事情ニ  
依ツテ出來タダラウト思ヒマスガ、今申上  
ゲマスヤウニ、本然ノ姿ニ段々變ツテ行ク  
ベキモノト、吾々モ考ヘテ居リマスカラ、  
ソレ等ノ事柄ニ付テ、權限關係ニ於テ紛争  
ヲ來サナイヤウニ善處シタイト思ヒマス

○平野(力)委員 サウ致シマスルト、大體  
内務當局ノ御答辯トシテモ、從來ノ行掛リ  
ニ囚ハレズ、新シク色々考ヘルト云フ御話  
モアリマス、農林省ノ御答辯ニ依リマシテ  
モ、大體ノ問題ハ明カニナツタト思ヒマス  
ガ、ドウカ願クハ此ノ問題ニ付テハ、更ニ  
一層能ク内務當局ト御打合セテ願ヒマシテ、  
小作調停法等ノ精神ニ反スルガ如キコトノ  
起ラナイヤウニ、一ツ十分ナル御注意ヲ願  
ツテ置キタイト思ヒマス

○周東政府委員 農地制度ノ根本問題ニ關  
シマシテハ、本委員會其ノ他ニ於テモ、度  
譯デハナイノデアリマシテ、特殊ノ事情ニ  
依ツテ出來タダラウト思ヒマスガ、今申上  
ゲマスヤウニ、本然ノ姿ニ段々變ツテ行ク  
ベキモノト、吾々モ考ヘテ居リマスカラ、  
ソレ等ノ事柄ニ付テ、權限關係ニ於テ紛争  
ヲ來サナイヤウニ善處シタイト思ヒマス

○周東政府委員 農地制度ノ根本問題ニ關  
シマシテハ、本委員會其ノ他ニ於テモ、度  
譯デハナイノデアリマシテ、特殊ノ事情ニ  
依ツテ出來タダラウト思ヒマスガ、今申上  
ゲマスヤウニ、本然ノ姿ニ段々變ツテ行ク  
ベキモノト、吾々モ考ヘテ居リマスカラ、  
ソレ等ノ事柄ニ付テ、權限關係ニ於テ紛争  
ヲ來サナイヤウニ善處シタイト思ヒマス

度大臣ニ對シ、或ハ政府委員ニ對シテ御質問ガアツタノデアリマスガ、御話ノヤウニ斷片的ニハ必要々々ニ應ジテ出來テ居リマス、併シ根本問題ニ付キマシテハ、ヤハリ私共ノ方デモ各種ノ問題ニ付テ出來ルダケ早ク實現シタイ、又實現シ得ルモノカラヤツテ行キタイト云フ考ヘデ、色々研究モシ、或ハ成案ニ近イカト思ハレルモノモ考ヘテアルノデアリマス、ソレ等ヲ綜合シテ來議會ニ出スカドウカト云フコトニ付テハ、マダ答辯ヲ申上ゲル時期ニ達シテ居リマセヌ、併シ昨日大臣カラ此ノ席申サレタヤウニ、或ル種ノ問題ニ付テハ、大臣自身ノ考ヘモアルヤウデアリマス、御趣旨ノ點ハ十分考ヘマシテ、私共ノ考ヘト上司トノ考ヘガ一致シ、成案ヲ得レバ恐ラク來議會ニ出ルカト思ヒマス

○平野(力)委員 是非一ツ來議會マデニハ農地制度ニ關スル根本的ナル立法ヲ御制定ニナリマシテ、議會ニ提案セラレンコトヲ特ニ希望致シマス、私ハ是デ終リマス

○村上委員 委員長ニ伺ヒマスガ、大臣ハ今明日中ニ此處ニオ見エニナル機會ガアリマスカ

○村上委員 明日ハ是非御出席ヲシテ戴カナケレバナルマイルト考ヘテ居リマス

○小畑委員 ソレデハ大臣ノ御出席ノ機會ガアルノデアリマシタラバ、私大臣ニ伺ツテ見タイコトガ一點アリマスカラ、ソレハ後ニ致シマシテ、今ハ全ク事務的ノ問題ニ付キマシテ、條文ニ對スル疑義ヲ二、三質シテ置キタイト思ヒマス

第九條第二項ノ意味ガ分ラヌノデアリマス、政府ノ引受ケタル出資ノ出資金拂込ハ

其ノ他ノ出資ノ出資金拂込ト之ヲ異ニスルコトヲ得「ト云フノデアリマスガ、是ハ一般出資金ノ拂込ニ關スル規定ヲ適用セヌト云フ考ヘデアリマスカ

○周東政府委員 是ハ政府ノ出資ト云フモノハ、御承知ノヤウニ豫算ヲ縛ラレテ來ルコトニナリマスカラ、大體ハ民間ノ出資ト同ジヤウニ、拂込ノ時期、拂込ノ額ト云フモノヲ一緒ニシテ行キタイトハ存ジマスガ、豫算ノ都合デ或ハサウ行カヌ場合ヲモ豫想シテ、拂込ノ時期ナリ拂込ノ額ナリヲ、民間ノ出資ト區別シテヤリ得ルト云フコトヲ豫想シテ書イタ次第デアリマス、併シ實際問題トシテハ同ジヤウニ行キマス

○小畑委員 ドウモ甚ダラカシイト思ツタカラ御尋ネシタノデスガ「異ニスルコトヲ得」ト云フノハ、政府ガ勝手ニ決メラレルト云フ意味デスカ……ソレカラ第十一條ノ「出資者ハ農地開發營團ノ承認ヲ經テ其ノ持分ヲ讓渡スコトヲ得」ト云フノデアリマスガ、此ノ農地開發營團ノ承認ヲ得ズシテナシタル持分ノ讓渡ト云フノハ、ドウ云フ場合デアリマスカ

○周東政府委員 御質問ノ點ハ、若シ營團ノ承認ヲ經ズシテ讓渡致シマシテモ、ソレハ民法上ノ關係ニ於テ、當事者關係ニ於テハ效力ハアルト思フ、唯併シ御承知ノヤウニ開發營團ニ對シマシテハ、讓渡ノ場合ニ於テ記名式ニナツテ居リマシテ、開發營團ノ登録簿ト云フカ、豫メ株式原簿見タイナモノヲ作ル管デアリマスカラ、ソレニ記載サレナイコトニナリマスノデ、時ニ配當ノ請求ヲ營團ニ要求致シマシテモ、ソレハ斷リ得ルト云フヤウナ恰好ニナルト思ヒマス

○小畑委員 御話ノ趣旨ハ分リマシタガ、唯斯ウ云フコトダケデハ、當事者間ニ於テハ有效デアルケレドモ、營團ニ對シテ對抗スルコトガ出來ヌト云フコトノ、當然ナ説明ガソコカラ生レテ來ナイヤウニ私ハ思フ、ソレカラ擔保權ノ設定ハ、勿論今ノ御話カラ參リマス、開發營團ノ承認ガナケレバ、其ノ開發營團ニ對シテ對抗スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フコトニナルノダト思ヒマスガ、差押ヘハドウナリマスカ

○周東政府委員 是ハ擔保ノ設定ト云フコトト、持分ノ讓渡ト云フモノハ意味ガ違フト私ハ思フ、ソレハ第一ノ場合ニ主タル債權債務ノ辨濟ガナカツタ場合ニ於テ、擔保物權ガ抵當流レニナルト云フコトニ依ツテ初メテ其ノ時ニ讓渡ノ結果ガ起リマスカレドモ、ソレハ併シ法律ノ觀念トシテ、持分ノ讓渡ハ假令承認ガナケレバイケナイト云フ恰好ニナツテ居リマシテモ、其ノ物ノ擔保ト云フモノハ設定ガ出來ルノデヤナイカト思フ、隨テ擔保ニ設定シタ物ニ付テ、其ノ主タル債務ノ支拂ガナカツタ場合ニ於テ取ラレル、ソコデ移轉關係ガ起ルト云フ場合ニ於テ一種ノ讓受人ニナル、マア原始取得ニナル、其ノ人ガ營團ノ原簿ニ登録シテ行カナケレバイカヌト云フコトニハナルト思フ、併シ持分ノ讓渡ニ付テ承認ヲ經ナケレバナラスト云フコトト、擔保ガ設定出來ナイト云フコトトハ違フト思ヒマス、之ニ付キマシテ持分ノ讓渡關係ニ付テハ、恐ラク出資證券ニ付テ關聯ヲ持チマシテ、出資證券ノ移轉ヲ伴ハセルコトニナルト思フ、其ノ出資證券ニ付テ擔保權ノ設定ト云フコトガ起ツテ來ルト思ヒマス

○小畑委員 茲ニ制限ヲ附シテアルノハ讓渡ノ場合ダケデアリマシテ、擔保權ノ設定

ニ付テハ直接制限ハナイノデアリマス、此ノ趣旨ヲ徹底サセヨウト思ヒマスレバ、ヤハリ開發營團ノ承認ガナケレバ擔保權ノ設定モ出來ナイト、斯ウ云フコトニナルト徹底スルノデアリマスガ、擔保權ハ承諾ナクシテ設定スルコトガ出來ル、而シテソレガ聽テ主タル債務ヲ履行シナカツタ場合ニ競賣ニナル、其ノ出資證券ガ競賣ニナリマシテ、サウシテ御話ノヤウニ原始取得者ガ出來タ其ノ場合ニハ開發營團ハ之ニ承認ヲ與ヘテ、開發營團ノ原簿ニ新タナル原始取得者ノ名前ヲ掲ゲナケレバナラスト、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、先ツ讓渡行爲ニ制限ガ付ケテアル、ソコデ實際ハ讓渡ヲシヨウト思ヒマス場合ニ、擔保權設定ノ方法ニ依リマスレバ、容易ニ此ノ裏ヲ潜ツテ、營團ノ承認ヲ經ナイデ權利ヲ取得スルコトガ出來ルト云フコトニナルト思フノデアリマス、ソコノ所ガ少シハツキリシナイノデ伺ツタノデアリマス、大體此ノ趣旨ヲ徹底シヨウト思ヘバ、此ノ條文ハ讓渡スルコトヲ得ナイト云フノデアリマスカラ、隨テ處分ヲ許サナイノデアリマス、讓渡ハ處分ノ最タルモノデアリ、又擔保權ノ設定ト云フコトモ、即チ質權ヲ設定スルト云フコトモ、是モ聽テ讓渡ヲ伴フ一ツノ處分行爲デアリマスカラ、是モ同時ニ御禁止ニナツタ方ガハツキリシテ來ル、後ノ法律關係ノ紛糾ヲ免レルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、ソレカラ今差押ヘノ場合ニ付テノ御答辯ガナカツタノデアリマスガ、是モ今ノ御答辯カラ申シマス同様デアツテ、讓渡ハ許サレナイガ他ノ債權者ガ之ヲ差押ヘヌスルコトガ出來ル、サウシテ競賣ニ附シタ場合ニ於キマシテハ、其ノ

ニ付テハ直接制限ハナイノデアリマス、此ノ趣旨ヲ徹底サセヨウト思ヒマスレバ、ヤハリ開發營團ノ承認ガナケレバ擔保權ノ設定モ出來ナイト、斯ウ云フコトニナルト徹底スルノデアリマスガ、擔保權ハ承諾ナクシテ設定スルコトガ出來ル、而シテソレガ聽テ主タル債務ヲ履行シナカツタ場合ニ競賣ニナル、其ノ出資證券ガ競賣ニナリマシテ、サウシテ御話ノヤウニ原始取得者ガ出來タ其ノ場合ニハ開發營團ハ之ニ承認ヲ與ヘテ、開發營團ノ原簿ニ新タナル原始取得者ノ名前ヲ掲ゲナケレバナラスト、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、先ツ讓渡行爲ニ制限ガ付ケテアル、ソコデ實際ハ讓渡ヲシヨウト思ヒマス場合ニ、擔保權設定ノ方法ニ依リマスレバ、容易ニ此ノ裏ヲ潜ツテ、營團ノ承認ヲ經ナイデ權利ヲ取得スルコトガ出來ルト云フコトニナルト思フノデアリマス、ソコノ所ガ少シハツキリシナイノデ伺ツタノデアリマス、大體此ノ趣旨ヲ徹底シヨウト思ヘバ、此ノ條文ハ讓渡スルコトヲ得ナイト云フノデアリマスカラ、隨テ處分ヲ許サナイノデアリマス、讓渡ハ處分ノ最タルモノデアリ、又擔保權ノ設定ト云フコトモ、即チ質權ヲ設定スルト云フコトモ、是モ聽テ讓渡ヲ伴フ一ツノ處分行爲デアリマスカラ、是モ同時ニ御禁止ニナツタ方ガハツキリシテ來ル、後ノ法律關係ノ紛糾ヲ免レルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマス、ソレカラ今差押ヘノ場合ニ付テノ御答辯ガナカツタノデアリマスガ、是モ今ノ御答辯カラ申シマス同様デアツテ、讓渡ハ許サレナイガ他ノ債權者ガ之ヲ差押ヘヌスルコトガ出來ル、サウシテ競賣ニ附シタ場合ニ於キマシテハ、其ノ

次ノ取得ハ、ソレニ依ツテ取得シタモノハ  
原始取得アル、サウスルト開發營團ハ其  
ノ原始取得ヲ當然承認シナケレバナラヌト  
云フコトニナリマス、差押ノ場合モ今ノ  
擔保權設定ノ場合ト同様ニ、容易ニ此ノ規  
定ヲ潛ツテ行クコトガ出來ルコトニナル、  
時間ガ餘リ長ク掛リマスト恐縮デアリマス  
カラ、私ハサウ云フ風ニ思フノデアリマス  
ガ、是モ次ノ質問ト同時ニ一ツ御答ヘヲ願  
ヒタイト思ヒマス

十二條ノ第五項デアリマスガ、出資者ガ  
期間内ニ拂込ヲサナカツタ時ニ、農地開  
發營團ハ其ノ出資者ニ對シテ一定ノ期間内  
ニ出資證券ヲ開發營團ニ持ツテ來イト云フ  
コトヲ通知スル、其ノ場合ニ於テ、其ノ出  
資證券ヲ出資者ガ持ツテ來ナカツタラ、出  
資ノ效力ヲ失フノダラウト思ヒマスガ、擔  
保權ヲ設定シテ居リマシタ場合ハドウ云フ  
コトニナリマスカ

○周東政府委員 第一點ニ付テ御答ヘ致シ  
マスガ、法律ノ規定カラ致シマシテハ先程  
答辯申上ゲタヤウニ、擔保權ノ設定モ私ハ  
出來ルト思フ、隨テハ趣旨カラ言フト、  
御話ノヤウナコトモ言ヘル譯デアリマス、  
併シ私ハ此ノ法律ノ關係カラ致シマシテ、  
規定ノナイ場合ニ於テ金融ノ對象トナルコ  
トヲモ禁ズルト云フコトハ、別途ノ規定ヲ要ス  
ルト思ヒマス、殊ニ是ハ出資證券ヲ出シテ、  
サウシテ其ノ出資證券ハ大體第八條ノ第二  
項ノ規定ニ依リマシテ、勅令ニ有價證券タ  
ルコトノ性質ヲ明カニスル積リデアリマス、  
其ノ有價證券ニ對シテ、ソレヲ擔保ニ取ル  
トカ、差押ヲスルト云フコトヲ禁ズルナラ  
バ、ソレハ別個ニ財產權處分ニ對シテ法律  
ノ規定ヲ要スル譯デアリマス、單ニ十一條

ノ承認ヲ經テ、持分ノ讓渡ヲスルコトヲ得  
ト云フ反對解釋デソコマデ禁ズルコトハ出  
來ナイト、斯様ニ考ヘテ居リマス

十二條ノ第五項ノ關係ニ付テ、斯カル提  
出ヲ要求シタ場合ニ於テ、擔保ニ入ツテ居  
ルモノニ付テハドウナルカト云フ御話デア  
リマスガ、其ノ場合ニ於テハ債權者ト話合  
ツテ、サウシテ事實問題トシテハ、其ノ出  
資者ノ、何ト申シマスカ、滌除ニ似タヤウ  
ナ方法ヲ執ツテ、新債權者ガソレニ對シテ  
未拂込ノ部分ヲ拂込ム、サウシテ出資者ト  
シテノ地位ヲ確保スルト云フコトニナルカ、  
或ハ全然之ニ依ツテ提出不可能ノ爲ニ效力  
ヲ失ヘバ、代擔保ノ要求ヲ主タル債權者カ  
ラスルト云フコトガ實際問題ニナツテ來ル  
ノデハナカラウカト思ヒマス

○小畑委員 今法律論ヲヤツテ居リマスノ  
デ、此ノ場合ニドウ取扱フカト云フコトニ  
付テハ、此ノ法律ノ缺陷ガアレバソレヲ補  
フ爲ニ色々御考ヘヲ願ハナケレバナラヌト  
思ヒマス、御話ノヤウニ此ノ十一條デ以テ  
擔保權ノ設定ヲ禁ズルコトガ出來ナイ、擔  
保權ノ設定ハ何處マデモ有效デアルト致シ  
マス、茲デ此ノ次ノ出資ノ拂込ヲサナ  
カツタ場合ニ、出資證券ヲ提出スベキコト  
ヲ通知シテ、サウシテ其ノ出資證券ヲ開發  
營團ニ持ツテ來ナカツタナラバ、其ノ效力  
ヲ失フト云フコトニナルト、擔保權者ハ不  
測ノ損害ヲ被ル、斯ウ云フコトニナルノデ  
アリマスガ、其ノ際ニ擔保權者ハヤハリ擔  
保權者トシテ自己ノ權利ヲ主張スルモノト  
思ハレルノデアリマスガ、擔保權者對開發  
營團ノ間ノ法律關係ハドウ云フコトニナリ  
マスカ、開發營團ガ迷惑スルヤウナコトハ  
ナイカ、斯ウ云フ所ヲ承ツテ置キタイ

○周東政府委員 御話ノヤウナ場合ニ稍、規  
定ニ對シテ缺クル所ガアルカトモ存ジマス  
ガ、出資證券ガ大體記名式デ出テ居ル譯デ  
ス、ソレガ擔保ニ入リマシテ、出資ノ拂込ヲ  
怠ル、然ル場合ニ一週間ノ期間ヲ置イテ提出  
ヲ求メル、其ノ場合ニ債務者ガ擔保ニ入ツ  
テ居ルガ爲ニ營團ノ方ニ提出ガ出來ナイ、其  
ノ結果債權者ガ不測ノ損害ヲ被ルト云フヤ  
ウナ場合ガ御話ノヤウニアアルカトモ存ジマ  
スガ、併シ是ハ一面法律ヲ全部ノ人が知  
ルト云フ譯デアリマセヌカラ、實情論ニ  
ナルカト思ヒマスガ、本開發營團ニ於ケル  
第十二條ノヤウナ規定ガアルコトヲ承知ノ  
上デ債權者ガ擔保ニ取ツテ、其ノ結果サウ  
云フコトガ起ツタトスレバ、ソレハ容認サ  
ルベキモノデハナイカ、十分此ノ事情ヲ知  
ツテ、斯様ニ不安ヲ擔保物權ヲ取ツテ、期  
限ヲ付ケテアルト云フコトニ依ツテノ萬一  
ノ損害ハ或ル程度覺悟シテ貫ツテ行カ  
ケレバナラヌト思ヒマス、若シ債務者側ガ  
故意ニ斯クノ如キ結果ニナルコトヲ承知シ  
テ債權者ヲ詐害スルヤウナ行爲ニ於テ之ヲ  
ヤツタラ、別途民法上ノ詐害行爲ノ規定ニ  
依ツテ債權者ハ保護サレルト云フコトニナ  
ル、併シナガラ今ノ規定カラ言フト、稍、サ  
ウ云フ點ニ付テ債權者ノ保護ニ付テ規定ガ  
缺ケテ居ルノデハナイカトモ思ヒマス

○小畑委員 是ハ擔保權者ガ損ヲスルカシ  
ナイカト云フコトノ問題デアリマスガ、今  
御話ノヤウニ擔保權者ガ惡意ヲ以テ、斯ク  
ノ如キ法律ノ存在ヲ知りナガラ擔保ヲ取ツ  
タトシタラ損ヲシテモ宜イデヤナイカト云  
フコトハ、是ハ御尤モデス、併シ法律上ノ  
根據トシテハ、此ノ場合擔保權者ガ惡意デ  
アルカラ擔保權者ハ損ヲスベキモノデア  
ル

ト云フコトノ理由ハナイ譯デアアル、常識カ  
ラ言フト、知ツテ擔保ニ取ツタノダカラ損  
ヲシテモ宜イデヤナイカ、併シ法律ニハ  
サウ云フ譯ニハ參ラヌ、民法ノ詐害行爲ノ御  
話モアリマシタケレドモ、民法ノ債權者取  
消權ノ規定ハ所謂取消權デアリマシテ、其  
ノ法律行爲ガ取消サレルト云フノデアツテ、  
取消ノ結果來ルベキモノハ是ハ現狀回復  
ノ義務ナンデス、ダカラ私ガ茲ニ一萬圓ノ  
金ヲ貸シテ、サウシテ擔保權ヲ取得シタ、  
其ノ法律行爲ガ民法ノ債權者取消權ニ依ツ  
テ取消サレタ、サウスルト其ノ行爲ハ效力  
ヲ失ヒマスケレドモ、一萬圓金ヲ借りタ  
モノハ是ハ返サナケレバナラヌ、ソレカラ  
擔保ニ取ツタ所ノ證券ハ返サナケレバナラ  
ヌ、斯ウ云フコトニナツテ來ルノデアリマ  
スカラシテ、依然トシテ雙方ニ原狀回復ノ  
義務ガ殘ルノデアリマス、唯債權者取消權  
デ以テ取消シラシタダケデハ解決ガ付カナ  
イコトニナル、ソレデアリマスカラ此ノ場合  
ニ十一條ヲ以テ讓渡ガ制限サレテ居ルノデ  
アルカラシテ、擔保權ノ設定モ當然ニ制限サ  
レルモノデアルト云フ解釋ガナサレマスカ、  
或ハ擔保權ノ設定モ出來ナイト云フ所ノ法  
條ヲ御作りニナリマシタナラバ此ノ關係ハ  
ハツキリスル、是ガナイ以上疑問ガ起ル、  
況ヤ其ノ次ノ前項ノ場合ニ於テハ農地開發  
營團ハ遲滞ナク失効シタル出資證券ノ番號  
竝ニ其ノ出資者ノ氏名及住所ヲ公告スルコ  
トヲ要スルト云フノハ、即チ第三者ノ擔保權  
取得行爲或ハ差押ノ結果ニ依ル所ノ原始取  
得ノ行爲、是等ガ有效デアルト云フコトヲ  
前提ニシタ規定デアアル、是等ガ無効デア  
ルナラバコンナ失効公告ナド必要ガナイ、第  
三者ガ有效ナ權利ヲ持ツテ居ル、其ノ權利

ニ向ツテ此ノ公告ヲスル、斯ウ云フコトニナル、一應尤モノ點モアルケレドモ、併シ仔細ニ考ヘテ見ルト是モドウモ一寸オカシイト思ヒマス、第何號ノ出資證券ハ開發營團ニ提出ヲ命ジタケレドモ、持ツテ來ナイカラ失効シタト云フ通知ヲシテ、サウシテ其ノ公告ヲシタ、サウスレバ第三者ニ對シテモハ對抗シ得ルト云フコトデナケレバナラヌノデアリマス、サウスルト擔保ニ取ツタ所ノ者、現ニ其ノ出資證券ヲ所持シテ居ル者ハ損ヲシテシマハナケレバナラヌ、斯ウ云フ結果ニナル、ダカラ第五項ト第六項トノ間ニハ、十一條ノ關係ヨリ致シマシテ非常ナル矛盾ガアルト一見見ラレルノデアリマス、併シ恐ラクハ是ハ私ノ解釋ノ誤リデアラウト思フノデアリマス、此ノ點ハ何レ他日此ノ點ニ付キマシテ事件ガ起ツテ參リマシタ場合ニ、裁判所ガ此ノ法律ヲ適用シマス其ノ解釋ニ付テ一ツノ基準ニモナル譯デアリマス、本委員會ニ於ケル質疑應答ガ非常ニ有力ナル資料ニナル譯デアリマス、此ノ點ハ十分御研究ニナツテ、サウシテ明日此ノ委員會ガ終リマスマデノ間ニデモ、私ノ蒙リ啓イテ戴クヤウナ御答辯ヲ願フ方ガ宜カラウト思ヒマス、ソレカラ十二條第三項ノ從前ノ出資者ニ對スル不足額ノ請求ニハ遡及權ヲ認メルノデアリマス、然ラバ從前ノ出資者ト云フモノガ二人以上アリマシタ場合ニ、次カラ次ヘト古イ前出資者ニ向ツテ拂込ヲ追求スルコトガ出來ルノデアリ、マスカ、直前ノ出資者、詰リ現在ノ所有者ダケニ對シテ請求シ得ルノデアリマスカ、其ノ點ヲ伺ツテ置キタイ

○周東政府委員 是ハ私ノ解釋デハ出資證券ヲ讓受ケ、或ハ一番當初ノ引受ケタモノ、何レニシテモ會社ニ對シテ原簿上登錄サレテ居ル拂込義務者ニ對シテハ不足額ノ辨濟ノ請求ヲナシ得ルモノト考ヘテ居リマス

○小畑委員 是ハ例ヘバ從前ノ出資者ガ三人アリマシタ場合ニ於キマシテハ、其ノ三人ノ何レニ對シテ請求サレルモ、同時ニ三人ニ對シテ請求セラレルモ、ソレハ開發營團ノ選擇ニ依ル、斯ウ云フ意味デアラウト存ジマス、其ノ通りデアリマスナラ御答辯ハ戴キマセヌ、其ノ通りデナカツタ御答辯ヲ戴キマス

○周東政府委員 サウ云フ意味デナクテ、出資證券ヲ取得シテ開發營團ノ原簿ニ登錄サレテ開發營團ニ對抗シ得ル人、言ヒ換ヘレバ一番最初ノ引受ケタ人ガ、第一回ノ拂込ヲスベクシテ拂込ミ得ナカツタ時ニ、當初引受人ニ對シテ營團ハ辨濟ヲ追求スル、所ガ第一回ノ拂込ノ濟ンダ後ニ、其ノ出資證券ガ營團ノ承認ヲ得テ讓渡サレテ、其ノ渡サレタ人ガ原簿ニ登錄サレテ第二回ノ拂込ヲ怠ツタ場合ニ於テ、ソレハ其ノ原簿ニ登錄サレテ居ル拂込義務者ニ對シテ請求サレルノデアリマス、一番最初ノ人マデ行ツテ請求スルト云フコトハ、法律上不可ト考ヘテ居リマス

○小畑委員 ソレハ當然ノコトデアリマス、例ヲ詳シク申シマスト斯ウ云フ譯デス、第一ノ出資者ガ第二回ノ拂込ヲ怠ツテ居ル、其ノ怠ツテ居ル儘デニ、三ノ出資者ニ之ヲ讓渡シタ場合ニ於テ、其ノ拂込ヲ怠ツテ居リマス間ニ三人ノ出資者ガ出來ル譯デアリマス、之ニ對シテ開發營團ハ同時ニ請求ヲスルコトモ出來ル、或ハ其ノ中ノ一人ヲ選擇シテ請求スルコトモ出來ル、斯ウ云フ意味デアリマスカト云フコトヲ伺ツタノデア

○周東政府委員 斯クノ如キ場合ハ一寸私想像シ兼ネルノデアリマス、何故カト申シマス、第二回ノ拂込ヲ怠ツテ居ル儘ニ承諾ヲ得テ讓渡サレタ、斯ウ假定致シマス、ソレハ營團ハ拂込ヲ怠ツテ居ル出資證券或ハ持チ分ノ讓受人ヲ承認シタ、讓渡ヲ認メタノデアリマスカ、其ノ人間ニ對シテ原簿上ノ義務者トシテ追求スレバ宜イノデアリマス、轉々トシテ二、三人ノ人が持ツテ居ツテ、選擇的ニ要求スルト云フ場合ヲ想像シ得ナイノデアリマス

○石坂(繁)委員 一寸關聯シテ——其ノ點私モ質疑ヲシテ見タイト思ヒマス、之ヲ商法ノ規定ト對照致シマス、商法ノ規定ニハ、最初ノ甲ノ人が株主デアツテ、ソレヲ乙ノ人ニ讓渡シタ、其ノ時ニ乙ノ人が失權シタ場合ニ、乙ノ人詰リ從前ノ株主ニ對シテ請求シテ、其ノ不足分ハ其ノ讓渡人デア

ル甲ニ對シテ請求スルト云フ規定ガアル、此ノ營團ノ本法ノ規定デハ、所謂讓渡人ニハ請求出來ナイヤウニナツテ居ル、其ノ點ヲ明カニシテ見タイノデアリマス、商法ノ規定同様ニハ無論イカニコトハ分ツテ居リマ

ガ、從前ノ出資者ニ對スル時効ノ關係等ノ規定モ法案デハ缺ケテ居ル、商法ニハ時効ノ規定ナドモ規定シテアルノデアリマス、其ノ點ニ關スル御見解ヲ、今ノ小畑君ノ質疑ニ關聯シテ承リタイ、今局長ノ御答辯デハ讓渡人ニ對シテハ請求シナイ、唯其ノ時持ツテ居ツタ最終ノ出資者ニミ請求スル、其ノ點ハ分リマシタガ、時効關係ノ點ハドウ云フ見解ニ執ツテ居ラレルカ

○周東政府委員 大體是ハ御話ノヤウニ商法ノ規定ハ別ニ準用シテ居リマセヌ、是ハ特殊ナ本法ニ依ツテ總テガ律セラレルノデアリマス、隨テ只今ノヤウナ場合ヲ豫想シテ居ラナイノデアリマス、今申上ゲタヤウニ唯原簿上ノ義務者ニ付テハ、持チ分ノ讓渡關係ニ於テ營團ノ承認ヲ得サセル、隨テ承認ナクシテ持ツテ居ツタ者ニ對シテハ營團トシテハ請求シナイノデアリマス、原簿上ノ義務者ノ關係ニ於テ此ノ關係ガナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○小畑委員 拂込ヲ怠ツテ居ル所ノ出資ニ對シテハ、讓渡ヲ開發營團ガ承認シナイ、ダカラ拂込ヲ怠ツタ儘デ二重三重ニ有效ニ讓渡サレルコトハナイト云フ御話ハ分ツテ居リマス、唯是ハ例ノ話ニ戻リマシテ、詰リ承諾ナシニ讓渡サレル場合ガアルカラ申上ゲタノデ、根本問題ニ戻リマスカ、此ノ儘ニシテ置キマス、ソレカラ第五十條ノ一項デアリマスガ、「左ノ各號ノ一ニ該當スル土地ハ農地開發營團ノ收用スルコトヲ得」此ノ土地或ハ收用ト云フ言葉ノ中ニハ、地上權又ハ永小作權ヲ包含スルノデアリマス

○周東政府委員 五十條ノ土地ハ土地所有權ダケヲ意味シテ居リマス

○小畑委員 土地トアリマス以上ハ土地ノ所有權デアリ、收用ト云フ言葉ハ土地收用法ニ倣ヒマスレバ、所有權ノ場合用ヒラレル言葉デアルト思ヒマスガ、土地ノ所有權ハ之ヲ收用スルコトガ出來ル、併シ地上權、永小作權ハ之ヲ收用スルコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマスト、餘程此ノ事業ノ施行上不便デヤナイカト思ツタカラ御尋ネラシタノデアリマス、土地ノ上ニ地上權ヲ有スル場合、土地ダケ收用シテ見マシテモ、地上權ガ殘ツテ居レバドウスル譯ニモ

特殊ナ本法ニ依ツテ總テガ律セラレルノデアリマス、隨テ只今ノヤウナ場合ヲ豫想シテ居ラナイノデアリマス、今申上ゲタヤウニ唯原簿上ノ義務者ニ付テハ、持チ分ノ讓渡關係ニ於テ營團ノ承認ヲ得サセル、隨テ承認ナクシテ持ツテ居ツタ者ニ對シテハ營團トシテハ請求シナイノデアリマス、原簿上ノ義務者ノ關係ニ於テ此ノ關係ガナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○小畑委員 拂込ヲ怠ツテ居ル所ノ出資ニ對シテハ、讓渡ヲ開發營團ガ承認シナイ、ダカラ拂込ヲ怠ツタ儘デ二重三重ニ有效ニ讓渡サレルコトハナイト云フ御話ハ分ツテ居リマス、唯是ハ例ノ話ニ戻リマシテ、詰リ承諾ナシニ讓渡サレル場合ガアルカラ申上ゲタノデ、根本問題ニ戻リマスカ、此ノ儘ニシテ置キマス、ソレカラ第五十條ノ一項デアリマスガ、「左ノ各號ノ一ニ該當スル土地ハ農地開發營團ノ收用スルコトヲ得」此ノ土地或ハ收用ト云フ言葉ノ中ニハ、地上權又ハ永小作權ヲ包含スルノデアリマス

○周東政府委員 五十條ノ土地ハ土地所有權ダケヲ意味シテ居リマス

○小畑委員 土地トアリマス以上ハ土地ノ所有權デアリ、收用ト云フ言葉ハ土地收用法ニ倣ヒマスレバ、所有權ノ場合用ヒラレル言葉デアルト思ヒマスガ、土地ノ所有權ハ之ヲ收用スルコトガ出來ル、併シ地上權、永小作權ハ之ヲ收用スルコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナリマスト、餘程此ノ事業ノ施行上不便デヤナイカト思ツタカラ御尋ネラシタノデアリマス、土地ノ上ニ地上權ヲ有スル場合、土地ダケ收用シテ見マシテモ、地上權ガ殘ツテ居レバドウスル譯ニモ



イカス、其ノ五十條ニハ「農地ノ造成ニ供スル未墾地」トカ「未墾地附近ノ土地ニシテ當該未墾地ト併セテ耕地整理ヲ施行スルヲ必要トスル土地」トカ云フコトガ一號、二號ニ現ハレテ居ルノデスガ、斯ウ云フ場合ニヤハリ地上權、永小作權モ收用又ハ使用スルコトガ出來ルト云フ規定ガ必要ナノデハナイカト思フノデアリマス、其ノ點ヲ御答辯ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 御心配ノヤウナ點ハ別個ニ第六十條デ解決シテ居リマシテ、六十條デ「耕地整理法第六條、第十八條以下」云々ト是ガ準用サレテ居リマス、此ノ第六條ハ

「本法中別ニ規定アル場合ヲ除クノ外土地ノ所有者、占有者、關係人其ノ他整理施行地ニ付權利ヲ有スル者ハ耕地整理ノ施行ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得ス」ト云フ規定デアアル、土地ノ收用關係ニ付テ事業ノ施行ガ行クヤウニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○小畑委員 ソレハ耕地整理法ニ依リマスト、所有者又ハ權利者ノ特別ノ意思表示ガ必要ニナツテ居ル、實ハ耕地整理法ニ依ルノハ、是ハ此ノ場合デ申シマス、開發營團ト其ノ土地ノ所有者若シクハ其ノ土地ノ權利者トノ間ノ契約デス、所ガ此ノ本條ノ第二項ニアリマス所ノ規定ニ依ルト、「前二項ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ關シテハ土地收用法ヲ適用ス」斯ウアルノデアリマスカラ、土地收用法ハ是ハ契約デハナイ、是ハ本質的ナ相違ガアリ、ソレカラ手續上ノ相違モ勿論アルノデアリマス、然ルニ此ノ五十條ノ一項ニ於テ、土地ノ所有權ノミニ付テハ之ヲ收用スルコトガ出來ル、併シ地上ノ利用ニ付キマシテハ、同様ノ效力ヲ有スル所ノ地上權及ビ永小作權ニ付テノ適用

ガナイト云フ點ニ、私ハ疑義ヲ持ツタノデアリマス、ソレカラ第五十三條ノ受益者負擔デアリマスガ、命令要綱ニ依リマス、受益者ノ範圍ト命令シ得ベキ負擔ノ費用ノ限度ヲ、此ノ命令要綱デ決メタルト云フ御話デアリマスガ、是ハ大分複雑ナノデアリマスカ、極メテ簡單ナノデアリマスカ、複雑デアリマシタラ、モウ時間ガアリマセスカラ御説明ハ宜シウゴザイマスガ、極メテ簡單デ一口デ御説明ガ出來ルナラバ、ドウ云フ風ニナルノカ御説明願ヒタイノデアリマス

○周東政府委員 先程ノ御質問ニ對シテモウ一ツ附加ヘテ置キマスガ、開發營團ノ仕事ト致シマシテ、第四十四條ニ規定ガアリマシテ、今御話ノヤウニ收用關係ハ五十條ニアリマス、併シ事業トシテ四十四條ニ規定ガアツテ開發營團ハ耕地整理法第一條第一號ノ耕地整理トシテ行ヒ得ル事業ト廣クナツテ居リマス、隨テ先程申上ゲマシタヤウニ、土地其ノモノニ對シテハ收用關係デ參リマスガ、其ノ他ノ關係ニ於テハ、耕地整理法ノ運用ニ依ツテ、ソレ等ノ土地ニ關スル權利ヲ持ツテ居ル者ニ對シテ、或ル種ノ制限ヲヤツテ行ク、斯ウ云フヤウニ參ルヤウナ規定ニナツテ居リマスカラ、御承知ヲ願ツテ置キマス

ソレカラ第二ノ點ノ御質問ハ、五十三條ノ關係ト思ヒマスガ、是ハ大體四十六條ノ規定デ、此ノ農地開發事業ノ施行地區内ニアル受益者ニ對シテ、大體負擔ヲサセル積リデアリマス

○小畑委員 ソレハ此ノ第四十四條ノ主務大臣ノ定ムル區域及ビ計畫ニ依リ行フ其ノ事業ヲ、農地開發事業ト云フ定義カラ見マシテモ、其ノ地區内ノ仕事デアルコトニハ

議論ハナイノデアリマスケレドモ、何カ受益者ノ範圍ヲ私ノ素人考ヘカラ見マス、定メル必要ガナイト思フノデアリマスケレドモ、特ニ命令要綱ニ受益者ノ範圍トアリマスカラ、ドウ云フコトヲ御決メニナルカト思ツテ伺ツタノデアリマス

ソレカラ命令シ得ベキ費用ノ限度デアリマスガ、是モ簡單ニ御説明ガ出來タラ、後デ御説明願ヒタイ、ソレカラ此ノ開發營團ノ定義ニアル所ノ農地開發ニ關スル事業ト云フノト、ソレカラ四十四條ノ農地開發事業ト云フノトハ違フヤウデアリマスガ、其ノ區別ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 是ハ違ツテ居ラナイノデアリマス、大體第四條ノ規定ニ於テ「農地ノ開發ニ關スル事業ヲ營ムコトヲ目的トスル法人トス」ト書イテアリマスガ、此ノ中ノ農地ノ開發ト云フモノノ範圍ヲ、第四十四條ノ第一號、第二號ニ於テ明カニシタ譯デアリマス、開發ノ中ニ、細カク申シマス、耕地整理ハ盛ツテ居リマセスガ、或ハ開發アリ、埋立干拓、地目變換ト云フヤウナ、各種ノモノガ皆入ツテ居リマス、ソレ等ヲ含メマシテ農地開發ト言ヒ、又土地改良、農業水利改良、用排水幹線改良ト云フヤウナモノヲ含メテ、農地開發ト考ヘテ居リマスカラ、ソレヲ特ニ四十四條ノ第一號、第二號ニ書イタ譯デアリマス

ソレカラ、先程受益者負擔ノ負擔額ト云フモノヲ、ドウ云フ風ニ決定スルカト云フ御話デアリマシタガ、ソレハ大體事業費カラ國ノ補助金ヲ引キマシタ額ニ、營團ノ手数料ノ意味デ、大體事業費ノ百分ノ五位ノ見當ノモノヲ加算シタ金額ヲ出サセタイ、斯様ニ思ツテ居リマス

○小畑委員 農地開發事業ノ施行地區ニ付テ、漁業權又ハ入漁權アル場合ノ規定ガ五十六條ニアリマシテ、其ノ場合ニハ損害ノ補償ヲナシタル後ニアラザレバ其ノ工事ニ着手スルコトヲ得ズト云フコトガアリマシテ、是ハ當然ノコトト思フノデアリマスガ、第五十五條ノ場合ハドウ云フコトニナリマスカ、是モヤハリ損害賠償ヲシテ後デナケレバ工事ニ着手スルコトガ出來ヌト云フコトニナリマス

○周東政府委員 五十五條ノ關係ト五十六條ノ關係ノ御質問デアリマスガ是ハ結局、五十五條ノ中ノ漁業權或ハ入漁權ノアル場合ダケニ付テ、ソレニ對シテ損害ガ發生スルト云フヤウナコトガアツタラ補償サセルト云フ規定ニ付テ、補償ノ現實ノ具體的ノ金額ヲ、供託スルカ、或ハ補償金額ガ決定シナイト云フ場合ニ於テモ、マア大體權利者ノ同意ヲ得テ置ケバ、工事ノ着手ガ出來ルト云フコトヲ規定シタダケデアリマスガ、御質問ノ趣旨ト違ツテ居リマス

○小畑委員 一寸違ツテ居リマスケレドモ、此ノ五十五條ト五十六條ノ關係ハ、大分是ハ面白イ關係ダト思フノデスカラ、私モ見テ置キマスカラ、見テ置イテ戴キタイト思ヒマス、是デ私ノ今日ノ質問ハ終リマス

○村上委員 小畑君ニ御尋ネシマスガ、先程來御質問ニナツタコトニ對シテハ、政府委員ノ答辯デ諒解ガ出來タノデスカ

○小畑委員 諒解ハ出來ナイコトガ多イノデアリマスガ、一寸速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○村上委員 須永君ガ一點質疑ヲ追加シテ置キタイコトガアルサウデスカラ此ノ際御許シシマス——須永君

○須永委員 極ク簡單ニ一點ダケ伺ヒマス、開發營團が出来テドウ云フ仕事ヲスルカト云フコトハ、マダ具體的ナ計畫ガナイヤウニ承ツテ居ルノデアリマスガ、勿論現在ノ事情ニ適合シタ事業カラ御着手ニナルト信ジテ居リマス、併シナガラ最近新潟縣ノ方ニ於キマシテハ、耕地課長ノ談トシテ新聞等ニ發表セラレテ居ルノデアリマスガ、新潟縣ノ龜田郷ノ干拓計畫ト云フモノガ既ニ計畫サレテ居ル、サウシテソレハ農林省ノ諒解濟ミデアルト云フヤウナコトガ發表セラレテ居ルノデアリマス、所ガ其ノ地方ノ農民或ハ地主等ニ於キマシテハ、アノ邊ノ濕田ト云フモノハ、濕田ニハ濕田ノ特徴ガアリマシテ、要スルニ常ニ水ガ張ラレテ居ルト云フコトハ草ガ出ナイ、或ハ土ガ常ニ軟ラカデアツテ、イツ何時デモ挿秧ガ出來ル、或ハ水ノ流入サレテ居ルコトニ依ツテ、或ル程度ノ肥料成分ガソコニ沈澱スルト云フヤウナコトデ、昔カラ濕田ノ儘耕作サレテ居ツタノデアリマスガ、若シ之ヲ干拓スルト云フヤウナコトヲヤツテ見マシテモ、アノ地方ノ實情トシマシテハ、積雪ガ多クシテ二毛作ヲヤルト云フコトハ非常ニ困難デア

ル、隨テ唯干拓ニシタト云フダケデ、ソレガドレダケノ效果ガアルカ、寧ロ水ガ干ルト云フコトニ依ツテ其ノ耕作ノ努力ハ一反歩ニ付テ凡ソ七八人手間ハ餘計掛ツテ來ルノデハナイカ、或ハ干拓ヲシタ部分ダケニ於テハ、土壤ガ吸收シテ居ツテ實ハ水中ノ爲ニ不溶解ニナツテ居ル所ノ肥料ノ溶解等ヲ進促シテ、一年位ハ宜イカモ知レナイガ、長イコトヲ考ヘレバ、ヤハリアノ地方ノ水田ハ其ノ儘耕シテ行クコトガ非常ニ有利ナ

○須永委員 唯新潟縣ノ耕地課長ガ、農林省ノ諒解濟ミダト云フコトヲ發表シタコトニ依ツテ、地元民ガ非常ニ反對ヲシテ居ルヤウデアリマス、私共ガ反對者ノ意見ヲ聞イテ見マシテモ肯カレル點ガアルノデアリマシテ、或ハ此ノ干拓ガ反對民ノ言フ所ニ依リマス、一部新潟市ノ都市計畫ノ一ツノ方法トシテ、水田地帯ヲ干拓シテ置イテ都市計畫ノ地域内ニ組入レル、寧ロ水田ヲシテ宅地ニ變ヘテ行カウト云フヤウナ意見モ相當アルヤウニ承ツテ居ルノデアリマス

○小畑委員 問題ハ第十一條ニ其ノ根本ガアツタノデアリマスガ、十一條ノ讓渡ト云フコトヲ、債權契約ト物權契約トニ區別ヲシマシテ、サウシテ營團ノ承諾ノナカウタ場合ハ、物權行爲ハ成立シナイト云フ説明ハ能クソレデ分リマシタ、ソレカラ隨ヒマシテ物權的ニハ開發營團ノ承諾ヲ得ナカウタナラバ、讓渡ノ效力ヲ生ジナト云フコトデアリマス、隨ヒマシテ又擔保權ノ設定ニ付キマシテモ、開發營團ノ承諾ガナカウタナラバ、物權行爲ハ效力ヲ生ジナイ、斯ウ云フコトデアリマス、即チ讓渡ヲ許サザル物件ハ、擔保ニ供スルコトヲ得ナイト云フ民法ノ規定カラ申シマシテ、サウ云フコトニナル、問題ハ是デハツキリシタノデアリマス、サウ云フコトニナリマスレバ第十二條ノ解釋ガ、極メテ「スムース」ニナサレルノデアリマス、此ノ第十二條ノ五項ニ付テ御答ヘガゴザイマシタガ、先ヅ十一條ノ問題ガハツキリシテ參リマスレバ、私ハ此ノ第十二條ノ五項及ビ六項ノ問題ハ、大シタコトデハナイトス様ニ思フノデアリマス、ソレデ能ク分リマシタ

○須永委員 從來能ク耕地整理等ニ於テ、

○須永委員 從來能ク耕地整理等ニ於テ、

○須永委員 從來能ク耕地整理等ニ於テ、

○須永委員 從來能ク耕地整理等ニ於テ、

○須永委員 從來能ク耕地整理等ニ於テ、

○須永委員 從來能ク耕地整理等ニ於テ、

○須永委員 從來能ク耕地整理等ニ於テ、

○須永委員 從來能ク耕地整理等ニ於テ、

○須永委員 從來能ク耕地整理等ニ於テ、

○須永委員 從來能ク耕地整理等ニ於テ、

○須永委員 從來能ク耕地整理等ニ於テ、

○須永委員 從來能ク耕地整理等ニ於テ、

○石坂(繁)委員 一、二點伺ツテ見タイト

思ヒマス、第十二條第一項ノ出資者ノ持分ヲ處分スル場合ノコトハ、先日一應伺ツタノデアリマスガ、此ノ處分ト云フコトガ例ヘバ商法ノ株式ノ場合ニ、拂込ラシナイ場合ニハ、競賣ノ方法ヲ執ルコトニナツテ居リマスガ、此ノ處分ト云フモノハ、ドウ云フ方法ヲ考ヘテ居ラレルカト云フコトヲ、實ハ岸政府委員ニ伺ツタノデアリマス、併シ其ノ點ノ御答辯ハ、必ズシモ明確デナカツタト思ヒマスノデ、重ネテ其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員ノ本法ニハ商法ノ規定ノ準用ガゴザイマスカラ、必ズシモ競賣ニ依ルコトニ限ル必要ハナイト思ヒマス、話合ヒニ依リマシテ適當ナ方法デアルコトモ出來ル、又必要アル場合ニ於テハ、競賣ニ付スルト云フコトモ出來ル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○石坂(繁)委員 サウシマス、誰カ買ヒ手ヲ探サセテ、ソツチニ讓渡サセルト云フヤウナ方法デ、實際上ノ場合ハサウ云フヤウナコトデモ、ヤラレルト云フコトデスカ

○周東政府委員 其ノ通りデアリマス

○石坂(繁)委員 先程小畑委員ノ質疑ニ依リマシテ、第五十條ノ場合ニ、農地開發營團ガ收用致シマス場合ハ、土地ノ所有權ダケダ、斯ウ云フ風ナ御答辯ガアツタノデアリマス、然ルニ此ノ土地ニ關シマシテハ、小畑君モ指摘サレマシタ通りニ、地上權、永小作權、或ハ入會權ト云フヤウナモノガアルノデアラウト考ヘマス、第五十五條ニ依リマス「土地若ハ土地ニ定着スル物件ノ所有者其ノ他之ニ關シ權利ヲ有スル者」トアリマシテ、又ハ漁業權者若ハ入漁權者其ノ

他此等ノ權利ニ關シ權利ヲ有スル者ニ云々トナツテ居リマスガ、第五十五條ノ「其ノ他之ニ關シ權利ヲ有スル者」ト云フノハ、永小作權、地上權及ビ入會權等ヲ含メテノ意味デアルカドウカ、之ニ付テ御伺ヒシタイ

○周東政府委員 土地收用法ノ第六十三條ノ規定デ、土地物件ノ收用ガアリマシタ場合ニ於テハ、其ノ收用ノ時期ニ於テ、所有權ハ起業者之ヲ取得シ、其ノ他ノ權利ハ消滅スルコトトナツテ居リマスガ、其ノ關係デ實際問題トシテハ、消滅シテシマフノデハナイカト思ヒマス

○石坂(繁)委員 事實上消滅スルカラ、第五十五條ニ依ツテ、補償サセル、斯ウ云フ規定ヲ設ケタノデスカ

○周東政府委員 ソレハ第五十條ニ關スル場合ニ於テ、土地ノ收用規定ヲ準用シテ居ル譯デアリマス、第五十五條、五十六條關係ニ於テハ、土地收用法ノ規定ヲ準用セズンテ、開發所要ノ地區内ニ於テ漁業權、入會權ニ付テ損害ガ起ツタ場合ニ於テノミ、特殊ノ規定ヲ設ケテソレニ依ツテ損害ヲ補償スル、斯ウ云フ規定デアリマス

○石坂(繁)委員 サウスルト第五十條ニ依ツテ、收用法ノ適用ヲ受ケマシテ、自然消滅シタ場合ニハ、其ノ地上權等ニ關シマシテハ、補償ノ點ハドウデアリマスカ

○周東政府委員 是ハ本來土地收用法ノ規定ニ依ツテ、收用審査會等ニ於テ、總テノ補償關係ガ決マルモノダト思ヒマス

○石坂(繁)委員 收用致シマス場合ニ、土地ノ開發營團ハ、所謂企業ノ認可ヲ受ケルト云フ手續ヲ執ツテヤルノカ、或ハ其ノ必要ハナイノカ、其ノ點ヲ一ツ……

○周東政府委員 ソレハ同様ニ事業ノ認定

ヲ受ケルコトニナツテ居リマス

○村上委員長 松浦君

○松浦(伊)委員 本日ノ新聞ヲ見マシタ所ガ、防風林、防潮林、土砂防止林ニ關シテハ、國有ニナツテ之ヲ解除シテ、今度ノ増産計畫ニ充テル、斯ウ云フ風ニ新聞ニ出テ居リマシタガ、是ハ事實デアリマスカドウカ、御尋ネラ致シマス

○岸政府委員 ソレハ事實デゴザイマス

○松浦(伊)委員 唯ソレニ付テハ地方ニハ魚付保安林ト云フノゴザイマス、其ノ魚付保安林ニ對スル價值ト云フモノハ、今ニ的確ニ分ツテ居ラヌデアリマス、或ハ伐採シタ當初ニシマシテモ、魚ノ付ク狀態ガ變ツテ居ラス、斯様ニ見エルノニ魚付保安林ニ限ツテハ、解除ノ意思ヲ表示シテ居ナイ、地方ニハ色々海岸ニ魚付保安林ガゴザイマスガ、是等モ私ハ解除シテ適當ノモノデアルト思フ、國有林ニシテモ民有林ニシテモ、之ヲ解除シタ所デ下流ニ對スル損害ハ來サナイ、下流ノ田畑ニ損害ヲ來サズンテ、極メテ容易ニ土地肥沃ニシテ、作物モ良ク出來ルノデアリマスガ、此ノ際政府ハ此ノ保安林ノ解除ヲナス方針ガアルカ、今日御回答ヲ戴ケナケレバ、明日デモ的確ナルコトヲ御答辯ガ願ヒタイ、若シ之ヲ解除出來ヌトスレバ、其ノ理由ヲ明確ニシテ戴キタイ、斯様ニ考ヘマスノデ御伺ヒ致シマス

○岸政府委員 國有林ニ付テ先程モ御話ノアツタヤウナ所ニ、甘藷等ノ栽培ヲヤラセルト云ツタヤウナコトハ、勿論保安上差支ヘナイ部分ニ付テ、地區々々ニ依ツテ檢討シテヤラナケレバナラヌコトト思ツテ居リマス、是ハ營林局ニ通知シテアルヤウデア

リマスガ、此ノ魚付保安林ノ關係ニ付テハ、私ハ是ハ如何トモ申上ゲ兼ネルノデアリマス、之ニ付テハ山林當局ニ能ク話ヲシテ見タイト思ツテ居リマス

○周東政府委員 魚付保安林ノ問題ハ、ヤハリ場所ニ依リマシテ其ノ魚付保安林トシテ設置サレテ居ルモノガ、實際上魚ヲ集メルヤウナ效果ヲ擧ゲテ居ナイヤウナ場所デシタラ、實際ノ調査ニ基イテ開放サレ得ルカト思ヒマスケレドモ、併シ可ナリ魚付保安林ニ付テハ、地方ノ漁民等ノ間ニヤカマシイ問題ガアリマスカラ、具體的ノ場所ニ付テ能ク研究ヲシテ、サウシテ必要ガナケレバ開放ガ出來ルノデハナイカト思ヒマス

○松浦(伊)委員 地元ニ於テ魚付保安林ノ必要ヲ感ジマシテ、解除スルコトニ反對スルナラバ敢テ解除ヲ御願ヒ申サヌノデアリマスガ、地先漁業者アタリガ同意シテ居ル、然ルニ縣或ハ國ガ之ヲ解除スルコトヲ稍、誰ルヤウナ傾向ガ見エルノデアリマス、實ハ今私ノ村ニ私ガ私財ヲ提供シテ、中堅青年養成ノ實踐道場ヲ造ルベク計畫ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、縣或ハ農林省ガ稍、躊躇シテ、解除スルコトヲ進ンデヤラナイ傾向ガ見エマスノデ、ドウカ明日デモ權ヒマセヌカラ御研究下サイマシテ、的確ナル御答辯ヲ戴クヤウニ御願ヒ致シマス

○村上委員長 是ニテ通告ニ依ル質疑ハ一應終了致シマシタ、併シ之ニ關聯シテ、又ハ補足シテ尙ホ質問ヲ要スルモノガ若干アルカモ知レマセヌ、又大臣ノ出席ヲ求メテ御答辯ヲ願ハナケレバナラヌコトモアリマス、更ニ大臣ガ出席ニナルナラバ質問ヲ致シタイト云フ希望ノ申出モアリマス、更ニ此ノ委員會トシテハ法案ニ對スル意見ヲ決

第六類第二十一號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會議錄 第十回 昭和十六年二月二十一日

定スル必要モアリマスカラ、ソレ等ノ爲ニ  
明日ハ午後一時ヨリ開會スルコトニ致シマ  
シテ、本日ハ是ニテ散會致シマス  
午後五時二十二分散會